

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-真島 知秀 [全学]	全学年	ptt808@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	初めて韓国語に接する学習者を対象に、文字の仕組みや発音の仕方をしっかり学びます。また日常的な会話表現を身につけると同時に、韓国の社会や生活文化に関することも学び、韓国人や韓国社会の理解を深めます。	日本人の観点から韓国語を学習する際のツボをおさえた授業を心がけます。カードを使った活動を多く取り入れて、楽しく分かりやすい説明を行います。毎週グループ活動で反復練習することで、自然と語学力が身に付きます。毎週木曜日はパソコン教室でハンゲルのタイピング練習と、パソコンを使った授業や練習問題も解いていきます。この授業を受けたら韓国がもっと好きになりますよ。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国の文字「ハングル」の読み書きができる。 ・簡単な自己紹介ができる。 ・簡単な挨拶やあいづち表現を理解して話すことができる。 ・身の回りにある基本的な物を韓国語で話すことができる。 ・丁寧な表現を使って話すことができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：コース紹介、自己紹介、あいさつ練習、ニーズ調査	教室用語プリント
	2	基礎 第1～2課：韓国語の文字の仕組みと基本母語	ハングルパーツ組み合わせ課題
	3	基礎 第1～2課：韓国語の文字の仕組みと基本母語（前回の復習と発展）	ハングルパーツ組み合わせ課題
	4	基礎 第3課②：激音と濃音の発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	5	基礎 第3課②：復習と発展	ハングルパーツ組み合わせ課題
	6	基礎 第4課：複合母音の仕組みと発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	7	基礎 第4課：復習と発展	本文プリント、ハングル練習課題
	8	基礎 第5課：終音（パッチム）の仕組みと発音練習	本文プリント、ハングル練習課題
	9	基礎 第5課：復習と発展	本文プリント、ハングル練習課題
	10	基礎 第6課：発音の変化	人名ハングル表記練習課題
	11	基礎 第6課：発音総まとめ	地名ハングル表記練習課題
	12	動画鑑賞（韓国語学習体験）	文型練習課題
	13	第1課：名詞文①「～は～です」	本文プリント
	14	第1課：復習と発展	文型練習課題
	15	第2課：名詞文②「～は～ですか」	本文プリント
	16	第2課：復習と発展	文型練習課題
	17	第3課：名詞文の否定表現「～ではありません」、指示詞「こ・そ・あ・ど」の活用	本文プリント
	18	第3課：復習と発展	文型練習課題
	19	第4課：存在の「あります（います）／ありません（いません）」表現	本文プリント
	20	第4課：復習と発展	文型練習課題
	21	中間確認試験（第1～4課）	文型練習課題
	22	第5課：用言文の丁寧表現①「します／しますか」の表現	本文プリント
	23	第5課：復習と発展	文型練習課題
	24	第6課：用言文の丁寧表現②「します／しますか」よりもくだけた表現	本文プリント
	25	第6課：復習と発展	文型練習課題
	26	第7課：動詞・形容詞の丁寧表現（～です・～ます）	本文プリント
	27	第7課：復習と発展	文型練習課題
	28	中間確認試験（第5～7課）	文型練習課題
	29	動画鑑賞（韓国文化）	文型練習課題
30	総復習	総まとめプリント	
31	期末試験およびフィードバック		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 【改訂版】木内明 著『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）』国書刊行会 （2, 100+税） ※辞書や参考書については、必要に応じて授業で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初日の出席は必須条件。出席しないと登録が取り消される可能性があります。 ・全学科対象ですが定員オーバーの場合は1年次を優先的に受け入れます。その場合2年次以上は学年指定のクラスで受講してください。 ※毎回簡単な課題が出されます。授業以外での学習時間の確保が求められます。 ※辞書機能としてスマートフォンを使用することは大歓迎ですが、授業に関係ないことでの使用は厳しく規制します。 ※状況により授業形式が変更される場合があります。
	<p>評価</p> <p>期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点（30%）により評価する。 授業回数の3分の1以上欠席の場合、期末試験と関係なく不可とする。 ※平常点は積極的なグループ活動が大きな評価内容となります。 ※欠席届は、所定の様式と証明書類を添付の上提出してください。ただし内容によっては公欠・病欠が認められない場合もあります。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>引き続き後期の「韓国語Ⅱ」を履修しましょう！ただし夏休み期間中に何もしないと、これまで学んだ韓国語を忘れてしまうこともあるので、休みの間もなるべくテキストを読み進めて自分で予習復習をしておくことを強くお勧めします。また時間を作って韓国に一度行ってみましょう。授業で聞いたことを自分の目で確かめてくることは大きな刺激になります。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 聖子 [社文・日文]	1年	ptt163@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	初めて韓国語を学習する人でも楽しめる「話せる韓国語」を心かけます。韓国は、日本に最も近い隣国なので、学習した表現を実際に使えるように練習します。文法の解釈はテキストを使用し、韓国語と日本語の文法に関する多くの共通点や相違点の見分けが出来るようにします。	韓国語の学習を通して、その背景にある韓国の文化や社会についても学び、異文化への理解を深めてほしいと思います。その為に、この講義では、ラボ教室のCALLシステム及び教室の機器を利用し、現在の韓国の情報を歌、映画、インターネットを通して紹介します。しかし、新型コロナウイルスの状況に合わせて、内容を変更する時は、予め、1ヶ月毎の月日付の授業計画をお届けするようにします。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国の文字「ハングル」の読み書きができる。 ・簡単な自己紹介ができる。 ・簡単な挨拶やあいづち表現を理解して話すことができる。 ・丁寧な語尾を使って話すことができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	講義内容や目標等の確認：簡単な自己紹介	簡単な自己紹介の暗記
	2	基礎・第1課 韓国語について：「ハングル」の成り立ち	陽母音と陰母音の書き方
	3	基礎・第2課 基本の母音：基本母音字10コのパソコン入力	基本母音10コの暗記
	4	基礎・第3課 基本の子音：分かりやすい子音6コ	子音と母音で「ハングル」作り
	5	基礎・第3課 基本の子音：子音+母音のパソコン入力	「ハングル」作りプリント
	6	基礎・第3課 基本の子音：練習問題	教科書のCDで発音練習
	7	基礎・第4課 複合母音：「ハングル」で名前書き	複合母音プリントで書き練習
	8	基礎・第4課 複合母音：パソコン入力と練習問題	PC Key Boardで「ハングル」練習
	9	基礎・第5課 パッチム：パッチムの読み方	練習問題
	10	基礎・第6課 発音の変化：発音規則の確認	発音の練習
	11	基礎・第6課 発音の変化：民族衣装「韓服」とその名称	発音の練習
	12	基礎・第6課 発音の変化：パソコンで文章入力	「ハングル」で自己紹介書き
	13	第1課：文の分ち書き	第1課単語の読み・書き
	14	第1課：助詞 は/がの違い	第1課の練習問題
	15	第1課：初めて会った時の会話	挨拶の暗記
	16	第2課：です/ますの語尾タイプ1	第2課単語の読み・書き
	17	第2課：あります/ありませんの表現	第2課の練習問題
	18	第3課：です/ますの語尾タイプ2	第3課単語の読み・書き
	19	第3課：ではありませんの表現	第3課の練習問題
	20	第4課：です/ますの語尾練習	第4課単語の読み・書き
	21	第4課：話し相手に合う「さようなら」	第4課の練習問題
	22	第5課：～が好きですの表現	第5課単語の読み・書き
	23	第5課：相手の好みをたずねる表現	第5課の練習問題
	24	韓国映画の前半	第1課～第3課の単語暗記
	25	韓国映画の後半	第4課と第5課の単語暗記
	26	第6課：です/ますの語尾タイプ2の練習	第6課単語の読み・書き
	27	第6課：です/ますの語尾プリント	第6課の練習問題
	28	第7課：自己紹介の文作り	第7課単語の読み・書き
	29	第7課：自己紹介の文暗記	第7課の練習問題
30	総まとめ	質問	
31	学期末試験		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など 『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』（国書刊行会、2,100円+税） 参考文献は必要に応じて講義の中で紹介します。</p>
	<p>学びの手立て 各レッスンの単語や本文の内容の「ハングル」を正確に発音できるように予め教科書のCDを聴いて予習します。 復習は、語順が同じであることを活用して本文の日本語訳を見て、韓国語で言えるようにします。 そして、登録初日の出席は、必修条件です。出席しないと、登録が取り消される可能性があります。 対象学年と学科を守ってください。</p>
	<p>評価 平常点(28%)、課題点(32%)、学期末試験(40%)から総合的に評価します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 前期の教科書の続きを後期で学習しますので、引き続き、韓国語Ⅱを受講することをお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 聖子 [全学科] (2年以上)	2年	ptt163@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>初めて韓国語を学習する人でも楽しめる「話せる韓国語」を心かけます。韓国は、日本に最も近い隣国なので、学習した表現を実際に使えるように練習します。文法の解釈はテキストを使用し、韓国語と日本語の文法に関する多くの共通点や相違点の見分けが出来るようにします。</p>	<p>韓国語の学習を通して、その背景にある韓国の文化や社会についても学び、異文化への理解を深めてほしいと思います。その為に、この講義では、ラボ教室のCALLシステム及び教室の機器を利用し、現在の韓国の情報を歌、映画、インターネットを通して紹介します。しかし、新型コロナウイルスの状況に合わせて、内容を変更する時は、予め、1ヶ月毎の月日付の授業計画をお届けするようにします。</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国の文字「ハングル」の読み書きができる。 ・簡単な自己紹介ができる。 ・簡単な挨拶やあいづち表現を理解して話すことができる。 ・丁寧な語尾を使って話すことができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	講義内容や目標等の確認：簡単な自己紹介	簡単な自己紹介の暗記
	2	基礎・第1課 韓国語について：「ハングル」の成り立ち	陽母音と陰母音の書き方
	3	基礎・第2課 基礎の母音：基本母音10コ	基本母音10コの暗記
	4	基礎・第3課 基本の子音：分かりやすい子音6コ	子音と母音で「ハングル」作り
	5	基礎・第3課 基本の子音：練習問題	教科書のCDで発音練
	6	基礎・第3課 基本の子音：子音+母音のパソコン入力	「ハングル」作りプリント
	7	基礎・第4課 複合母音：パソコン入力と練習問題	PC Key Boardで「ハングル」練習
	8	基礎・第4課 複合母音：「ハングル」で名前書き	複合母音プリントで書き練習
	9	基礎・第5課 パッチム：パッチムの読み方	練習問題
	10	基礎・第6課 発音の変化：発音規則の確認	発音の練習
	11	基礎・第6課 発音の変化：パソコンで文章入力	「ハングル」で自己紹介書き
	12	基礎・第6課 発音の変化：民族衣装「韓服」とその名称	発音の練習
	13	第1課：文の分ち書き	第1課単語の読み・書き
	14	第1課：助詞 は/がの違い	第1課の練習問題
	15	第1課：初めて会った時の会話	挨拶の暗記
	16	第2課：です/ますの語尾タイプ1	第2課単語の読み・書き
	17	第2課：あります/ありませんの表現	第2課の練習問題
	18	第3課：です/ますの語尾タイプ2	第3課単語の読み・書き
	19	第3課：ではありませんの表現	第3課の練習問題
	20	第4課：です/ますの語尾練習	第4課単語の読み・書き
	21	第4課：話し相手に合う「さようなら」	第4課の練習問題
	22	第5課：～が好きですの表現	第5課単語の読み・書き
	23	第5課：相手の好みをたずねる表現	第5課の練習問題
	24	第6課：です/ますの語尾タイプ2の練習	第6課単語の読み・書き
	25	韓国映画の前半	第1課～第3課の単語暗記
	26	韓国映画の後半	第4課と第5課の単語暗記
	27	第6課：です/ますの語尾プリント	第6課の練習問題
	28	第7課：自己紹介の文作り	第7課単語の読み・書き
	29	第7課：自己紹介の文暗記	第7課の練習問題
30	総まとめ	質問	
31	学期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』（国書刊行会、2,100円+税） 参考文献は必要に応じて講義の中で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>各レッスンの単語や本文の内容の「ハングル」を正確に発音できるように予め教科書のCDを聴いて予習します。復習は、語順が同じであることを活用して本文の日本語訳を見て、韓国語で言えるようにします。そして、登録初日の出席は、必修条件です。出席しないと、登録が取り消される可能性があります。対象学年と学科を守ってください。</p>
学 び の 継 続	<p>評価</p> <p>平常点(28%)、課題点(32%)、学期末試験(40%)から総合的に評価します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>前期の教科書の続きを後期で学習しますので、引き続き、韓国語Ⅱを受講することをお勧めします</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-天久 恵珍 [人福]	1年	ptt411@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	一番近い国の言葉として簡単な自己紹介や簡単な挨拶が出来るようにする。又、韓国の独特な文字である「ハングル」を学び、正しい発音を学習を通してしっかり出来るように学ぶ。	隣国の韓国の社会を政治、経済ではなく、音楽、文化を通しより身近な国として紹介していきます。文による堅苦しい表現だけではなく、今若者が使う楽しい表現も授業中に取り入れます。

到達目標
①ハングルの母音と子音の読み書きができる。 ②簡単な自己紹介ができる。 ③身の回りにある基本的な物を韓国語で話すことができる。 ④簡単な挨拶やあいづち表現を理解して話すことができる。 ⑤丁寧な表現を使って話すことができる。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	基礎1：韓国の紹介&沖縄と韓国の関係及び基本母音について	ハングル文字の練習
	2	基礎2：ひらがなとハングルの比べ	ハングル文字の練習
	3	基礎3：基本子音について	練習問題の復習
	4	基礎3：二重子音について	練習問題の復習
	5	基礎4：複合母音について	練習問題の復習
	6	基礎4：日本語のハングル表記について	練習問題の復習
	7	基礎5：パッチムについて	練習問題の復習
	8	基礎5：パッチムに練習	練習問題の復習
	9	基礎6：発音の変化～実際の発音	連音の練習
	10	基礎6：発音の変化～発音の小テスト	発音の練習
	11	基礎7：挨拶について	課題プリントの練習
	12	基礎7：基本挨拶の小テスト	課題プリントの練習
	13	第1課：「～は」「～です」について	課題プリントの練習
	14	第1課：本文	本文の復習
	15	第2課：「～が」「～ですか」について	課題プリントの練習
	16	第2課：本文	本文の復習
	17	第3課：「～ではありません」について	課題プリントの練習
	18	第3課：本文	本文の復習
	19	映画鑑賞	聞き取りの練習
	20	映画鑑賞による小テスト	聞き取りの練習
	21	第4課：「あります・います」について	課題プリントの練習
	22	第4課：本文	本文の復習
	23	第5課：「します」について	課題プリントの練習
	24	第5課：本文	本文の復習
	25	第6課：「あります・います・します」のヨ体について	課題プリントの練習
	26	第6課：本文	本文の復習
	27	第7課：動詞・形容詞の丁寧表現	課題プリントの練習
	28	第7課：本文	本文の復習
	29	総合応用「自己紹介」	課題プリントの練習
30	前期のまとめ	課題プリントの練習	
31	期末テスト	期末テストの解答及び確認	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>「基礎からまなぬ韓国語講座・初級「改訂版」(国書刊行会 2, 100円+税)</p> <p>*辞書、参考書については必要に応じて講義中に紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①履修の心構え：初日の出席は必須条件。出席しないと登録が取り消される可能性あり。 登録前に指定学科と年次を確認し登録すること。 毎回簡単な課題により平常点を評価するため、毎回の出席すること。 さらに、遅刻、私語、携帯使用などは厳しく規制する。</p> <p>②学びを深めるために：毎回の講座の中で本文に対する課題のプリントを復習をすること。</p> <p>③状況により授業形式が変更する事もあります。</p>
	<p>評価</p> <p>期末試験：40%、小テスト：30%、平常点：30%により評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>継続して韓国語Ⅱを履修しましょう。 そのためには、夏休みの期間には前期のテキストを復習することが大事です。 又、韓国の音楽や文化に触れる事もお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-天久 恵珍 [英米・産情]	1年	ptt411@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	一番近い国の言葉として簡単な自己紹介や簡単な挨拶が出来るようにする。又、韓国の独特な文字である「ハングル」を学び、正しい発音を学習を通してしっかり出来るように学ぶ。	隣国の韓国の社会を政治、経済ではなく、音楽、文化を通しより身近な国として紹介していきます。文による堅苦しい表現だけではなく、今若者が使う楽しい表現も授業中に取り入れます。
到達目標	①ハングルの母音と子音の読み書きができる。 ②簡単な自己紹介ができる。 ③身の回りにある基本的な物を韓国語で話すことができる。 ④簡単な挨拶やあいづち表現を理解して話すことができる。 ⑤丁寧な表現を使って話すことができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	基礎1：韓国の紹介&沖縄と韓国の関係及び基本母音について	ハングル文字の練習
	2	基礎2：ひらがなとハングルの比べ	ハングル文字の練習
	3	基礎3：基本子音について	練習問題の復習
	4	基礎3：二重子音について	練習問題の復習
	5	基礎4：複合母音について	練習問題の復習
	6	基礎4：日本語のハングル表記について	練習問題の復習
	7	基礎5：パッチムについて	練習問題の復習
	8	基礎5：パッチムに練習	練習問題の復習
	9	基礎6：発音の変化～実際の発音	連音の練習
	10	基礎6：発音の変化～発音の小テスト	発音の練習
	11	基礎7：挨拶について	課題プリントの練習
	12	基礎7：基本挨拶の小テスト	課題プリントの練習
	13	第1課：「～は」「～です」について	課題プリントの練習
	14	第1課：本文	本文の復習
	15	第2課：「～が」「～ですか」について	課題プリントの練習
	16	第2課：本文	本文の復習
	17	第3課：「～ではありません」について	課題プリントの練習
	18	第3課：本文	本文の復習
	19	映画鑑賞	聞き取りの練習
	20	映画鑑賞による小テスト	聞き取りの練習
	21	第4課：「あります・います」について	課題プリントの練習
	22	第4課：本文	本文の復習
	23	第5課：「します」について	課題プリントの練習
	24	第5課：本文	本文の復習
	25	第6課：「あります・います・します」のヨ体について	課題プリントの練習
	26	第6課：本文	本文の復習
	27	第7課：動詞・形容詞の丁寧表現	課題プリントの練習
	28	第7課：本文	本文の練習
	29	総合応用「自己紹介」	課題プリントの練習
30	前期のまとめ	課題プリントの練習	
31	期末テスト	期末テストの解答及び確認	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>「基礎からまなぬ韓国語講座・初級「改訂版」(国書刊行会 2, 100円+税)</p> <p>*辞書、参考書については必要に応じて講義中に紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①履修の心構え：初日の出席は必須条件。出席しないと登録が取り消される可能性あり。 登録前に指定学科と年次を確認し登録すること。 毎回簡単な課題により平常点を評価するため、毎回の出席すること。 さらに、遅刻、私語、携帯使用などは厳しく規制する。</p> <p>②学びを深めるために：毎回の講座の中で本文に対する課題のプリントを復習をすること。</p> <p>③状況により授業形式が変更する事もあります。</p>
	<p>評価</p> <p>期末試験：40%、小テスト：30%、平常点：30%により評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>継続して韓国語Ⅱを履修しましょう。 そのためには、夏休みの期間には前期のテキストを復習することが大事です。 又、韓国の音楽や文化に触れる事もお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-山川(宋) 雅藍 [地行]	1年	講義の前後に教室で受け付ける。	

学びの準備	ねらい 初めて韓国語を学ぶ学生を対象に、文字の仕組みや発音の仕方をしっかり学びます。簡単な自己紹介や挨拶を身につけると同時に韓国社会や生活文化に関することも学び、韓国人や韓国社会の理解を深めます。	メッセージ 外国語が苦手な学生も大歓迎です。挫折しないで楽しく勉強に取り組むことができるように、分かりやすい授業を心がけます。とにかく、ゆっくり丁寧に教えますが、もし分からないことがあれば気軽に質問してください。
	到達目標 ①韓国の文字「ハングル」の読み書きができる。 ②簡単な自己紹介ができる。 ③身の回りにある基本的な物を韓国語で話すことができる。 ④簡単な挨拶やあいづち表現を理解して話すことができる。 ⑤丁寧な表現を使って話すことができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：コース紹介、シラバス確認、自己紹介	韓国について調べる
	2	基礎1：韓国語について	ハングルについて予習
	3	基礎2：基本の母音	基本母音の復習(ノート)
	4	基礎3：基本の子音①平音	平音の復習(ノート)
	5	基礎3：基本の子音②濃音と激音	濃音と激音の復習(ノート)
	6	基礎3：子音と基本母音の組み合わせ①	グループ活動(課題)
	7	基礎4：複合母音	複合母音を覚える
	8	基礎4：子音と複合母音の組み合わせ②	グループ活動(課題)
	9	基礎5：パッチム①形と発音にていて	パッチムの発音練習
	10	基礎5：パッチム②日本語のハングル表記	人名・地名の練習問題
	11	基礎6：発音の変化①	発音変化の練習問題
	12	基礎6：発音の変化②	小テスト準備
	13	基礎7：あいさつ/小テスト	小テスト確認
	14	会話・第1課－語彙習得と本文発音練習	1課単語プリント
	15	会話・第1課－名詞文①丁寧形：簡単な自己紹介「～は～です」	1課の文型復習と本文暗記
	16	会話・第2課－語彙習得と本文発音練習	2課単語プリント
	17	会話・第2課－名詞文②疑問形：「～ですか」	2課の文型復習と本文暗記
	18	会話・第3課－語彙習得と本文発音練習	3課単語プリント
	19	会話・第3課－名詞文③否定形：「～ではありません」	3課の文型復習と本文暗記
	20	会話・第4課－語彙習得と本文発音練習	4課単語プリント
	21	会話・第4課－存在の表現：「あります、います/ありません、いません」	4課の文型復習と本文暗記
	22	会話・第5課－語彙習得と本文発音練習	5課単語プリント
	23	会話・第5課－丁寧形①「します/しますか」	5課の文型復習と本文暗記
	24	会話・第6課－語彙習得と本文発音練習	6課単語プリント
	25	会話・第6課－丁寧形②「します/しますか」	6課の文型復習と本文暗記
	26	会話・第7課－語彙習得と本文発音練習	7課単語プリント、本文暗記
	27	会話・第7課－丁寧形③：動詞の「～ます」、形容詞の「～です」	小テスト準備
	28	小テスト/韓国映画	小テスト確認
	29	韓国映画	映画で語彙と文型を復習
30	前期のまとめ	期末試験の準備	
31	期末試験	今学期の振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 【改訂版】 木内明 著『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）』国書刊行会 （2, 100+税） ※辞書や参考書については、必要に応じて授業で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録前に指定学科と年次を確認し、必ず指定学科と指定年次(1年次)を守って登録してください。 ・初日の出席は必須条件で、出席しないと登録が取り消される可能性があります。 ・スマートフォンはグループ活動や調べ学習のみ使用可能です。 ・授業でのペア及びグループ活動には積極的に参加してください。 <p>※新型コロナの状況によっては、授業内容を変更する場合があります。</p>
	<p>評価</p> <p>期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点（30%）により評価する。 授業回数の3分の1以上欠席の場合、期末試験と関係なく不可とする。 ※平常点とは、授業への参加度・積極的な発言やペア活動等の授業態度が評価対象です。 ※欠席届は所定の様式と証明書類を添付の上、後日提出してください。ただし内容によっては公欠・病欠が認められない場合もあります。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>引き続き後期の「韓国語Ⅱ」を履修しましょう！夏休み期間中は「韓国語Ⅰ」で学んだ語彙・文法を忘れないように復習してください。また時間を作って韓国ドラマや映画を観ることをお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-山川 (宋) 雅藍 [企シ・日文]	1年	講義の前後に教室で受け付ける。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	初めて韓国語を学ぶ学生を対象に、文字の仕組みや発音の仕方をしっかり学びます。簡単な自己紹介や挨拶を身につけると同時に韓国社会や生活文化に関することも学び、韓国人や韓国社会の理解を深めます。	外国語が苦手な学生も大歓迎です。挫折しないで楽しく勉強に取り組むことができるように、分かりやすい授業を心がけます。とにかく、ゆっくり丁寧に教えますが、もし分からないことがあれば気軽に質問してください。
到達目標	①韓国の文字「ハングル」の読み書きができる。 ②簡単な自己紹介ができる。 ③身の回りにある基本的な物を韓国語で話すことができる。 ④簡単な挨拶やあいづち表現を理解して話すことができる。 ⑤丁寧な表現を使って話すことができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：コース紹介、シラバス確認、自己紹介	韓国について調べる
	2	基礎1：韓国語について	ハングルについて予習
	3	基礎2：基本の母音	基本母音の復習(ノート)
	4	基礎3：基本の子音①平音	平音の復習(ノート)
	5	基礎3：基本の子音②濃音と激音	濃音と激音の復習(ノート)
	6	基礎3：子音と基本母音の組み合わせ①	グループ活動(課題)
	7	基礎4：複合母音	複合母音を覚える
	8	基礎4：子音と複合母音の組み合わせ②	グループ活動(課題)
	9	基礎5：パッチム①形と発音にていて	パッチムの発音練習
	10	基礎5：パッチム②日本語のハングル表記	人名・地名の練習問題
	11	基礎6：発音の変化①	発音変化の練習問題
	12	基礎6：発音の変化②	小テスト準備
	13	基礎7：あいさつ/小テスト	小テスト確認
	14	会話・第1課－語彙習得と本文発音練習	1課単語プリント
	15	会話・第1課－名詞文①丁寧形：簡単な自己紹介「～は～です」	1課の文型復習と本文暗記
	16	会話・第2課－語彙習得と本文発音練習	2課単語プリント
	17	会話・第2課－名詞文②疑問形：「～ですか」	2課の文型復習と本文暗記
	18	会話・第3課－語彙習得と本文発音練習	3課単語プリント
	19	会話・第3課－名詞文③否定形：「～ではありません」	3課の文型復習と本文暗記
	20	会話・第4課－語彙習得と本文発音練習	4課単語プリント
	21	会話・第4課－存在の表現：「あります、います/ありません、いません」	4課の文型復習と本文暗記
	22	会話・第5課－語彙習得と本文発音練習	5課単語プリント
	23	会話・第5課－丁寧形①「します/しますか」	5課の文型復習と本文暗記
	24	会話・第6課－語彙習得と本文発音練習	6課単語プリント
	25	会話・第6課－丁寧形②「します/しますか」	6課の文型復習と本文暗記
	26	会話・第7課－語彙習得と本文発音練習	7課単語プリント、本文暗記
	27	会話・第7課－丁寧形③：動詞の「～ます」、形容詞の「～です」	小テスト準備
	28	小テスト/韓国映画	小テスト確認
	29	韓国映画	映画で語彙と文型を復習
30	前期のまとめ	期末試験の準備	
31	期末試験	今学期の振り返り	

	<p>テキスト・参考文献・資料など 【改訂版】 木内明 著『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）』国書刊行会 （2, 100+税）</p> <p>※辞書や参考書については、必要に応じて授業で紹介します。</p>
<p>学 び の 実 践</p>	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録前に指定学科と年次を確認し、必ず指定学科と指定年次(1年次)を守って登録してください。 ・初日の出席は必須条件で、出席しないと登録が取り消される可能性があります。 ・スマートフォンはグループ活動や調べ学習のみ使用可能です。 ・授業でのペア及びグループ活動には積極的に参加してください。 <p>※新型コロナの状況によっては、授業内容を変更する場合があります。</p>
	<p>評価</p> <p>期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点（30%）により評価する。 授業回数の3分の1以上欠席の場合、期末試験と関係なく不可とする。 ※平常点とは、授業への参加度・積極的な発言やペア活動等の授業態度が評価対象です。 ※欠席届は所定の様式と証明書類を添付の上、後日提出してください。ただし内容によっては公欠・病欠が認められない場合もあります。</p>
<p>学 び の 継 続</p>	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>引き続き後期の「韓国語Ⅱ」を履修しましょう！夏休み期間中は「韓国語Ⅰ」で学んだ語彙・文法を忘れないように復習してください。また時間を作って韓国ドラマや映画を観ることをお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-岸本 孝根[法律]	1年	授業の前後に受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	韓国語の文字の仕組みと発音、日常的な会話表現を習得するとともに、多文化共生社会に適応できるコミュニケーション能力を身につけることを目標とします。	この授業では韓国語を学びながら、自文化・韓国文化への理解を深めていきます。 ペア・グループ活動を通して色々な経験を積みながら、より実践的なコミュニケーション能力を高めていきましょう！

到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ・韓国の文字「ハングル」の読み書きができる。 ・簡単な自己紹介ができる。 ・身の回りにある基本的な物を韓国語で話すことができる。 ・簡単な挨拶やあいづち表現を使って話すことができる。 ・丁寧な表現を使って話すことができる。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：コース紹介、グループ分け、ニーズ調査。	韓国に関することを調べる
	2	基礎・第1～2課：韓国語の文字の仕組み、基本母音(10個)、練習問題。	基本母音の復習
	3	基礎・第3課：基本子音(9個)、濃音(5個)、激音(5個)、練習問題。	基本子音の復習
	4	基礎・第4課：複合母音(11個)、練習問題。	複合母音の復習
	5	基礎・第5課：パッチム→パッチムの形と七つの発音、練習問題。	パッチムの復習
	6	基礎・第5課：日本語のハングル表記→自分の名前、出身地、住んでいる場所。	日本の地名・名前をハングル表記
	7	基礎・第6課：発音変化(有声音化、連音化、流音化、ヒウツ音の変化、濃音化、口蓋音化、鼻音化)	発音変化の復習
	8	基礎・第7課：あいさつ / 第1課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	9	第1課：練習問題の解答・解説、会話練習。 / 職業に関する単語の習得。	会話本文の筆写と発音練習
	10	小テスト / 韓国文化を楽しもう！	韓国関連書籍検索
	11	小テストの返却・解説 / 韓国文化を楽しもう！	発表準備
	12	第2課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	13	第2課：練習問題の解答・解説、会話練習。 / 家族の呼称に関する単語の習得。	会話本文の筆写と発音練習
	14	第3課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	15	第3課：練習問題の解答・解説、会話練習。 / 建物・場所に関する単語の習得。	会話本文の筆写と発音練習
	16	小テスト / 韓国文化を楽しもう！	韓国文化を調べる
	17	小テストの返却・解説 / 韓国文化を楽しもう！	発表準備
	18	第4課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	19	第4課：練習問題の解答・解説、会話練習。 / 趣味に関する単語の習得。	会話本文の筆写と発音練習
	20	第5課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	21	第5課：練習問題の解答・解説、会話練習。 / 学術分野に関する単語の習得。	会話本文の筆写と発音練習
	22	小テスト / 韓国文化を楽しもう！	韓国文化を調べる
	23	小テストの返却・解説 / 韓国文化を楽しもう！	発表準備
	24	第6課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	25	第6課：練習問題の解答・解説、会話練習。	会話本文の筆写と発音練習
	26	第7課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	27	第7課：練習問題の解答・解説、会話練習。 / 乗り物に関する単語の習得。	会話本文の筆写と発音練習
	28	小テスト / 今学期の復習	総まとめ
	29	小テストの返却・解説 / 今学期の復習	総まとめ
30	今学期の復習	総まとめ	
31	期末試験	試験対策	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：木内明著『基礎から学ぶ韓国語講座 初級 改訂版』国書刊行会、2,100円+税 参考文献：必要に応じて授業で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>※法律学科1年次指定クラスであるため、登録前に必ず学科と年次を確認してください。 ※初日も必ず出席すること、出席しないと取り消される可能性があります。 ※体調不良等で欠席する場合は、メールでお知らせください。 ※※モバイル端末は、調べ物学習、Forms等、授業に関することに使用可能です。 ※コミュニケーション能力向上のため、ペア・グループ活動にも積極的に参加してください。 ※新型コロナの影響等により授業の方法が変更となる場合は、大学のメールを介して連絡します。</p>
	<p>評価</p> <p>期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点(30%)により評価します。 授業回数の3分の1以上欠席した場合は不可とします。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>(1) 「韓国語Ⅱ」 (2) 「海外語学・文化セミナー」への参加、協定校への短期交換留学、韓国語能力試験（TOPIK）受験など、 色々なことにチャレンジ・経験しながら好奇心・向上心を持ち続けましょう！</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-岸本 孝根[経済・環政]	1年	授業の前後に受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	韓国語の文字の仕組みと発音、日常的な会話表現を習得するとともに、多文化共生社会に適応できるコミュニケーション能力を身につけることを目標とします。	この授業では韓国語を学びながら、自文化・韓国文化への理解を深めていきます。 ペア・グループ活動を通して色々な経験を積みながら、より実践的なコミュニケーション能力を高めていきましょう！

到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ・韓国の文字「ハングル」の読み書きができる。 ・簡単な自己紹介ができる。 ・身の回りにある基本的な物を韓国語で話すことができる。 ・簡単な挨拶やあいづち表現を使って話すことができる。 ・丁寧な表現を使って話すことができる。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：コース紹介、グループ分け、ニーズ調査。	韓国に関することを調べる
	2	基礎・第1～2課：韓国語の文字の仕組み、基本母音(10個)、練習問題。	基本母音の復習
	3	基礎・第3課：基本子音(9個)、濃音(5個)、激音(5個)、練習問題。	基本子音の復習
	4	基礎・第4課：複合母音(11個)、練習問題。	複合母音の復習
	5	基礎・第5課：パッチム→パッチムの形と七つの発音、練習問題。	パッチムの復習
	6	基礎・第5課：日本語のハングル表記→自分の名前、出身地、住んでいる場所。	日本の地名・名前をハングル表記
	7	基礎・第6課：発音変化(有声音化、連音化、流音化、ヒウツ音の変化、濃音化、口蓋音化、鼻音化)	発音変化の復習
	8	基礎・第7課：あいさつ / 第1課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	9	第1課：練習問題の解答・解説、会話練習。 / 職業に関する単語の習得。	会話本文の筆写と発音練習
	10	小テスト / 韓国文化を楽しもう！	韓国関連書籍検索
	11	小テストの返却・解説 / 韓国文化を楽しもう！	発表準備
	12	第2課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	13	第2課：練習問題の解答・解説、会話練習。 / 家族の呼称に関する単語の習得。	会話本文の筆写と発音練習
	14	第3課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	15	第3課：練習問題の解答・解説、会話練習。 / 建物・場所に関する単語の習得。	会話本文の筆写と発音練習
	16	小テスト / 韓国文化を楽しもう！	韓国文化を調べる
	17	小テストの返却・解説 / 韓国文化を楽しもう！	発表準備
	18	第4課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	19	第4課：練習問題の解答・解説、会話練習。 / 趣味に関する単語の習得。	会話本文の筆写と発音練習
	20	第5課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	21	第5課：練習問題の解答・解説、会話練習。 / 学術分野に関する単語の習得。	会話本文の筆写と発音練習
	22	小テスト / 韓国文化を楽しもう！	韓国文化を調べる
	23	小テストの返却・解説 / 韓国文化を楽しもう！	発表準備
	24	第6課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	25	第6課：練習問題の解答・解説、会話練習。	会話本文の筆写と発音練習
	26	第7課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	27	第7課：練習問題の解答・解説、会話練習。 / 乗り物に関する単語の習得。	会話本文の筆写と発音練習
	28	小テスト / 今学期の復習	総まとめ
	29	小テストの返却・解説 / 今学期の復習	総まとめ
30	今学期の復習	総まとめ	
31	期末試験	試験対策	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：木内明著『基礎から学ぶ韓国語講座 初級 改訂版』国書刊行会、2,100円+税 参考文献：必要に応じて授業で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>※経済学科・地域環境政策学科1年次指定クラスであるため、登録前に必ず学科と年次を確認してください。 ※初日も必ず出席すること、出席しないと取り消される可能性があります。 ※体調不良等で欠席する場合は、メールでお知らせください。 ※モバイル端末は、調べ物学習、Forms等、授業に関することに使用可能です。 ※コミュニケーション能力向上のため、ペア・グループ活動にも積極的に参加してください。 ※新型コロナの影響等により授業の方法が変更となる場合は、大学のメールを介して連絡します。</p>
	<p>評価</p> <p>期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点（30%）により評価します。 授業回数の3分の1以上欠席した場合は不可とします。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>(1) 「韓国語Ⅱ」 (2) 「海外語学・文化セミナー」への参加、協定校への短期交換留学、韓国語能力試験（TOPIK）受験など、 色々なことにチャレンジ・経験しながら好奇心・向上心を持ち続けましょう！</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-天久 恵珍 [英米・産情]	1年	ptt411@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 前期の文法など会話に応用し「丁寧体」「尊敬体」をできるようにします。又、数字を使って買い物などの表現、時間の読み方、日にちなどの表現ができるようにします。さらに、テキストの文法、練習問題も理解し応用ができるようにします。	メッセージ 簡単な会話ができ、韓国学生の最新情報や考え方をメディア、SNSを通じて紹介します。さらに、韓国語の文化、気候、風習などを本文と関わりがあるところも講義中に取り入れます。
	到達目標 ①数字を使って友達と年齢や誕生日などの日時を確認しあうことができる。 ②簡単な表現を使って買い物したり、レストランで注文したりをすることができる。 ③目上の人に対して敬語で簡単な会話をすることができる ④過去表現で簡単な会話ができる。 ⑤相手を誘ったり、丁寧をお願いしたりすることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の復習、後期の内容紹介	課題プリントの練習
	2	第8課：「ヨ体」について	課題プリントの練習
	3	第8課：用言文について	練習問題の復習
	4	第8課：「～しに」について	課題プリントの復習
	5	第8課：本文	本文の練習
	6	第9課：漢数詞について	練習問題の復習
	7	第9課：日にち、金額の教え方について	課題プリントの復習
	8	第9課：本文	本文の練習
	9	第10課：固有数詞について	練習問題の復習
	10	第10課：時間、教え方について	課題プリントの復習
	11	第10課：本文	本文の練習
	12	第11課：敬語について	練習問題の復習
	13	第11課：日本と韓国の尊敬表現について	課題プリントの復習
	14	第11課：本文	本文の練習
	15	映画鑑賞	聞き取りの練習
	16	映画鑑賞と小テスト	聞き取りの練習
	17	第12課：否定文について	練習問題の復習
	18	第12課：仮定形について	課題プリントの復習
	19	第12課：本文	本文の練習
	20	第13課：過去形について	練習問題の復習
	21	第13課：敬語の過去形について	課題プリントの復習
	22	第13課：本文	本文の練習
	23	第14課：勧誘形について	練習問題の復習
	24	第14課：「何の」疑問詞について	課題プリントの復習
	25	第14課：本文	本文の練習
	26	第15課：「～してください」について	練習問題の復習
	27	第15課：「～しています」について	課題プリントの復習
	28	第15課：本文	本文の練習
	29	総合応用	課題プリントの練習
30	後期のまとめ	課題プリントの練習	
31	期末テスト	期末テストの解答及び確認	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>「基礎からまなぬ韓国語講座・初級「改訂版」(国書刊行会 2, 100円+税)</p> <p>*辞書、参考書については必要に応じて講義中に紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①必ず韓国語Ⅰを履修すること。 ②履修の心構え：初日の出席は必須条件。出席しないと登録が取り消される可能性あり。 登録前に指定学科と年次を確認し登録すること。 毎回簡単な課題により平常点を評価するため、毎回の出席すること。 さらに、遅刻、私語、携帯使用などは厳しく規制する。 ③学びを深めるために：毎回の講座に中で本文に対する課題のプリントを復習をすること。 ④状況により授業形式が変更する事もあります。</p>
	<p>評価</p> <p>期末試験：40%、小テスト：30%、平常点：30%により評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>継続して韓国語Ⅲを受講することをお勧めします。 韓国の交換留学及び韓国能力検定試験の受験もお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-天久 恵珍 [人福]	1年	ptt411@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	前期の文法など会話に応用し「丁寧体」「尊敬体」をできるようにします。又、数字を使って買い物などの表現、時間の読み方、日にちなどの表現ができるようにします。さらに、テキストの文法、練習問題も理解し応用ができるようにします。	簡単な会話ができ、韓国学生の最新情報や考え方をメディア、SNSを通じて紹介します。さらに、韓国語の文化、気候、風習などを本文と関わりがあるところも講義中に取り入れます。

到達目標
①数字を使って友達と年齢や誕生日などの日時を確認しあうことができる。 ②簡単な表現を使って買い物したり、レストランで注文したりすることができる。 ③目上の人に対して敬語で簡単な会話をすることができる。 ④過去表現で簡単な会話ができる。 ⑤相手を誘ったり、丁寧をお願いしたりすることができる。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の復習、後期の内容紹介	課題プリントの練習
	2	第8課：「ヨ体」について	課題プリントの練習
	3	第8課：用言文の表現	練習問題の復習
	4	第8課：「～しに」について	課題プリントの復習
	5	第8課：本文	本文の練習
	6	第9課：漢数詞について	練習問題の復習
	7	第9課：日にち、金額の教えについて	課題プリントの復習
	8	第9課：本文	本文の練習
	9	第10課：固有数詞について	練習問題の復習
	10	第10課：時間、教え方について	課題プリントの復習
	11	第10課：本文	本文の練習
	12	第11課：敬語について	練習問題の復習
	13	第11課：日本と韓国の尊敬表現について	課題プリントの復習
	14	第11課：本文	本文の練習
	15	映画鑑賞	聞き取りの練習
	16	映画鑑賞と小テスト	聞き取りの練習
	17	第12課：否定文について	練習問題の復習
	18	第12課：仮定形について	課題プリントの復習
	19	第12課：本文	本文の練習
	20	第13課：過去形について	練習問題の復習
	21	第13課：敬語の過去形について	課題プリントの復習
	22	第13課：本文	本文の練習
	23	第14課：勧誘形について	練習問題の復習
	24	第14課：「何の」疑問詞について	課題プリントの復習
	25	第14課：本文	本文の練習
	26	第15課：「～してください」について	練習問題の復習
	27	第15課：「～しています」について	課題プリントの復習
	28	第15課：本文	本文の練習
	29	総合応用	課題プリントの練習
30	後期のまとめ	課題プリントの練習	
31	期末テスト	期末テストの解答及び確認	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 「基礎からまなぬ韓国語講座・初級「改訂版」(国書刊行会 2, 100円+税) * 辞書、参考書については必要に応じて講義中に紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て ①必ず、韓国語Ⅰを履修すること。 ②履修の心構え：初日の出席は必須条件。出席しないと登録が取り消される可能性あり。 登録前に指定学科と年次を確認し登録すること。 毎回簡単な課題により平常点を評価するため、毎回の出席すること。 さらに、遅刻、私語、携帯使用などは厳しく規制する。 ③学びを深めるために：毎回の講座に中で本文に対する課題のプリントを復習をすること。 ④状況により授業形式が変更する事もあります。</p>
	<p>評価 期末試験：40%、小テスト：30%、平常点：30%により評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 継続して韓国語Ⅲを受講することをお勧めします。 韓国の交換留学及び韓国能力検定試験の受験もお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-山川(宋) 雅藍 [企シ・日文]	1年	講義の前後に教室で受け付ける。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	「韓国語Ⅰ」に引き続き、韓国語の基礎構造を着実に積んでいくことで、「聞いて話す」「読んで書く」という語学技能を自分のものにしていきます。また韓国と沖縄の社会や文化の違いを比較し、韓国語をより深く学びます。「韓国語Ⅰ」と「韓国語Ⅱ」の学習を通じて、韓国語能力試験(初級)およびハングル能力検定試験(初級)合格を目指していきます。	外国語に一度挫折した経験がある学生でも楽しく勉強に取り組むことができるように、分かりやすい授業を心がけます。ゆっくり丁寧に教えますが、もし分からないことがあれば気軽に質問してください。毎回授業に来るのが楽しみになりますよ。
到達目標	①数字を使って年齢や誕生日などの日時を話すことができる。 ②簡単な表現を使って買い物したり、レストランで注文したりすることができる。 ③目上の人に対して敬語で簡単な会話をするすることができる。 ④過去表現で簡単な会話をするすることができる。 ⑤相手を誘ったり、丁寧をお願いしたりすることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：今学期の内容紹介、グループ分け	前学期の復習プリント
	2	前学期の復習	前学期の復習プリント
	3	第8課：用言の「?体」について①～ます	8課語彙プリント
	4	第8課：用言の「?体」について②～です	8課練習問題予習
	5	第8課：本文と練習問題	小テスト準備
	6	小テスト①	小テスト確認
	7	第9課：漢数詞(電話番号/日にち/金額)	9課語彙プリント
	8	第9課：本文と練習問題	9課復習と本文暗記
	9	第10課：固有数詞(年齢/物の数/時間)	10課語彙プリント
	10	第10課：本文と練習問題	小テスト準備
	11	小テスト②	小テスト確認
	12	第11課：敬語①尊敬形のルール、本文	11課語彙プリント
	13	第11課：敬語②敬語の特殊例、練習問題	11課復習と本文暗記
	14	第12課：動詞や形容詞の否定文	12課語彙プリント
	15	第12課：本文と練習問題	12課復習と本文暗記
	16	第13課：過去形①動詞や形容詞の過去形	13課過去形プリント
	17	第13課：過去形②敬語の過去形	13課語彙プリントと復習
	18	第13課：本文と練習問題	小テスト準備
	19	小テスト③	小テスト確認
	20	小テスト①～③の確認	グループ活動準備
	21	第14課：勧誘表現①	14課語彙プリント
	22	第14課：勧誘表現②	14課復習と本文暗記
	23	韓国映画	映画で語彙と文型を復習
	24	韓国映画	グループ活動
	25	第15課：現在進行形	15課語彙プリント
	26	第15課：依頼表現	15課復習と本文暗記
	27	8～15課の復習	発表準備
	28	韓国文化についてのグループ発表①	発表準備
29	韓国文化についてのグループ発表②	まとめプリント	
30	テスト前の質問タイム/後期のまとめ	期末試験の準備	
31	期末試験	今学期の振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 【改訂版】木内明 著『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）』国書刊行会 （2, 100+税） ※辞書や参考書については、必要に応じて授業で紹介する。</p>
学びの 実践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定学科の1年次で、必ず韓国語 I 単位取得履修済みであることが条件です。 ・授業初日も出席すること、出席しないと登録が取り消される可能性があります。 ・スマートフォンは、グループ活動や調べ学習のみ使用可能です。 ・ペア練習やグループ学習にも積極的に参加し、毎回真剣に取り組んでください。 <p>※新型コロナ等の状況によっては、授業内容を変更する場合があります。</p>
実践	<p>評価</p> <p>期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点（30%）により評価する。 授業回数の3分の1以上欠席の場合、期末試験と関係なく不可とする。 ※平常点とは、授業への参加度・積極的なグループ活動等の授業態度が評価対象です。 ※欠席届は所定の様式と証明書類を添付の上、後日提出してください。ただし内容によっては公欠・病欠が認められない場合もあります。</p>
学びの 継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ※韓国語能力検定試験（TOPIK）を受験して初級合格を目指しましょう。（沖縄では本学で実施されます） ※引き続き「韓国語Ⅲ」を受講することをお勧めします。 ※一年間の短期派遣留学を目指したり、数週間の海外語学・文化セミナーに参加することで、異文化体験をしてみましよう。

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-山川(宋)雅藍[地行]	1年	講義の前後に教室で受け付ける。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	「韓国語Ⅰ」に引き続き、韓国語の基礎構造を着実に積んでいくことで、「聞いて話す」「読んで書く」という語学技能を自分のものにしていきます。また韓国と沖縄の社会や文化の違いを比較し、韓国語をより深く学びます。「韓国語Ⅰ」と「韓国語Ⅱ」の学習を通じて、韓国語能力試験(初級)およびハングル能力検定試験(初級)合格を目指していきます。	外国語に一度挫折した経験がある学生でも楽しく勉強に取り組むことができるように、分かりやすい授業を心がけます。ゆっくり丁寧に教えますが、もし分からないことがあれば気軽に質問してください。毎回授業に来るのが楽しみになりますよ。
到達目標	①数字を使って年齢や誕生日などの日時を話すことができる。 ②簡単な表現を使って買い物したり、レストランで注文したりすることができる。 ③目上の人に対して敬語で簡単な会話をするすることができる。 ④過去表現で簡単な会話をするすることができる。 ⑤相手を誘ったり、丁寧をお願いしたりすることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：今学期の内容紹介、グループ分け	前学期の復習プリント
	2	前学期の復習	前学期の復習プリント
	3	第8課：用言の「ヨ体」について①～ます	8課語彙プリント
	4	第8課：用言の「ヨ体」について②～です	9課練習問題予習
	5	第8課：本文と練習問題	小テスト準備
	6	小テスト①	小テスト確認
	7	第9課：漢数詞(電話番号/日にち/金額)	9課語彙プリント
	8	第9課：本文と練習問題	9課復習と本文暗記
	9	第10課：固有数詞(年齢/物の数/時間)	10課語彙プリント
	10	第10課：本文と練習問題	小テスト準備
	11	小テスト②	小テスト確認
	12	第11課：敬語①尊敬形のルール、本文	11課語彙プリント
	13	第11課：敬語②敬語の特殊例、練習問題	11課復習と本文暗記
	14	第12課：動詞や形容詞の否定文	12課語彙プリント
	15	第12課：本文と練習問題	12課復習と本文暗記
	16	第13課：過去形①動詞や形容詞の過去形	13課過去形プリント
	17	第13課：過去形②敬語の過去形	13課語彙プリントと復習
	18	第13課：本文と練習問題	小テスト準備
	19	小テスト③	小テスト確認
	20	小テスト①～③の確認	グループ活動準備
	21	第14課：勧誘表現①	14課語彙プリント
	22	第14課：勧誘表現②	14課復習と本文暗記
	23	韓国映画	映画で語彙と文型を復習
	24	韓国映画	グループ活動
	25	第15課：現在進行形	15課語彙プリント
	26	第15課：依頼表現	15課復習と本文暗記
	27	8～15課の復習	発表準備
	28	韓国文化についてのグループ発表①	発表準備
29	韓国文化についてのグループ発表②	まとめプリント	
30	テスト前の質問タイム／後期のまとめ	期末試験の準備	
31	期末試験	今学期の振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【改訂版】木内明 著『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）』国書刊行会 （2, 100+税） ※辞書や参考書については、必要に応じて授業で紹介する。</p>
学びの 実践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定学科の1年次で、必ず韓国語Ⅰ単位取得履修済みであることが条件です。 ・授業初日の出席も必須条件で、出席しないと登録が取り消される可能性があります。 ・スマートフォンは、グループ活動や調べ学習のみ使用可能です。 ・ペア練習やグループ学習にも積極的に参加し、毎回真剣に取り組んでください。 <p>※新型コロナ等の状況によっては、授業内容を変更する場合があります。</p>
実践	<p>評価</p> <p>期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点（30%）により評価する。 授業回数の3分の1以上欠席の場合、期末試験と関係なく不可とする。 ※平常点とは、授業への参加度・積極的なグループ活動等の授業態度が評価対象です。 ※欠席届は所定の様式と証明書類を添付の上、後日提出してください。ただし内容によっては公欠・病欠が認められない場合もあります。</p>
学びの 継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ※韓国語能力検定試験（TOPIK）を受験して初級合格を目指しましょう。（沖縄では本学で実施されます） ※引き続き「韓国語Ⅲ」を受講することをお勧めします。 ※一年間の短期派遣留学を目指したり、数週間の海外語学・文化セミナーに参加することで、異文化体験をしてみましよう。

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-岸本 孝根[法律]	1年	授業の前後に受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	韓国語の基礎を固めるとともに、韓国文化の調べ物学習を通して、多文化共生社会に適応できるコミュニケーション能力を身につけることを目標とします。	この授業では語学力の向上はもちろんのこと、韓国文化を調べて発表しながら、自文化・韓国文化への理解を深めていきます。ペア・グループ活動を通して色々な経験を積みながら、より実践的なコミュニケーション能力を高めていきましょう！
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・数字を使って年齢や誕生日などの日時を話すことができる。 ・簡単な表現を使って買い物したり、レストランで注文することができる。 ・目上の人に対して敬語で簡単な会話をすることができる。 ・過去表現で簡単な会話をすることができる。 ・相手を誘ったり、丁寧をお願いすることができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：コース紹介、グループ分け、ニーズ調査。	韓国に関することを調べる
	2	前学期の復習。	前学期の復習
	3	第8課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。ハングル入力法。	練習問題
	4	第8課：練習問題の解答・解説、会話練習。/ 料理・食堂・飲み物に関する単語の習得。	会話本文の筆写と発音練習
	5	第9課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	6	第9課：練習問題の解答・解説、会話練習。/ 漢数詞と助数詞の習得。	会話本文の筆写と発音練習
	7	小テスト / 韓国文化を楽しもう！	韓国文化を調べる
	8	小テストの返却・解説 / 韓国文化を楽しもう！	発表準備
	9	第10課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	10	第10課：練習問題の解答・解説、会話練習。/ 固有数詞と助数詞の習得。	会話本文の筆写と発音練習
	11	第11課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	12	第11課：練習問題の解答・解説、会話練習。/ 外来語に関する単語の習得。	会話本文の筆写と発音練習
	13	小テスト / 韓国文化を楽しもう！	韓国文化を調べる
	14	小テストの返却・解説 / 韓国文化を楽しもう！	発表準備
	15	第12課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	16	第12課：練習問題の解答・解説、会話練習。	会話本文の筆写と発音練習
	17	第13課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	18	第13課：練習問題の解答・解説、会話練習。	会話本文の筆写と発音練習
	19	小テスト / 韓国文化を楽しもう！	韓国文化を調べる
	20	小テストの返却・解説 / 韓国文化を楽しもう！	発表準備
	21	第14課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	22	第14課：練習問題の解答・解説、会話練習。/ 気候・自然に関する単語の習得。	会話本文の筆写と発音練習
	23	第15課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	24	第15課：練習問題の解答・解説、会話練習。	会話本文の筆写と発音練習
	25	小テスト / 韓国文化を楽しもう！	韓国文化を調べる
	26	小テストの返却・解説 / 韓国文化を楽しもう！	発表準備
	27	韓国文化についての発表	発表準備
	28	韓国文化についての発表	発表のリハーサル
	29	今学期の復習	総まとめ
30	今学期の復習	総まとめ	
31	期末試験	試験対策	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：木内明著『基礎から学ぶ韓国語講座 初級 改訂版』国書刊行会、2,100円+税 参考文献：必要に応じて授業で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>※法学科の1年次で、韓国語 I 単位取得済みであることが条件です。 ※初日も必ず出席すること、出席しないと取り消される可能性があります。 ※体調不良等で欠席する場合は、メールでお知らせください。 ※※モバイル端末は、調べ物学習、Forms等、授業に関することに使用可能です。 ※ペア・グループ活動に積極的に参加してください。 ※発表準備等の課題にも、真摯に取り組んでください。 ※新型コロナの影響等により授業の方法が変更となる場合は、大学のメールを介して連絡します。</p>
	<p>評価</p> <p>期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点(30%)により評価します。 授業回数の3分の1以上欠席した場合は不可とします。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>(1) 「韓国語Ⅲ」 (2) 「海外語学・文化セミナー」への参加、協定校への短期交換留学、韓国語能力試験（TOPIK）受験など、 色々なことにチャレンジ・経験しながら好奇心・向上心を持ち続けましょう！</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-岸本 孝根[経済・環政]	1年	授業の前後に受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	韓国語の基礎を固めるとともに、韓国文化の調べ物学習を通して、多文化共生社会に適応できるコミュニケーション能力を身につけることを目標とします。	この授業では語学力の向上はもちろんのこと、韓国文化を調べて発表しながら、自文化・韓国文化への理解を深めていきます。ペア・グループ活動を通して色々な経験を積みながら、より実践的なコミュニケーション能力を高めていきましょう！

到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ・数字を使って年齢や誕生日などの日時を話すことができる。 ・簡単な表現を使って買い物したり、レストランで注文することができる。 ・目上の人に対して敬語で簡単な会話をすることができる。 ・過去表現で簡単な会話をすることができる。 ・相手を誘ったり、丁寧をお願いすることができる。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：コース紹介、グループ分け、ニーズ調査。	韓国に関することを調べる
	2	前学期の復習。	前学期の復習
	3	第8課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。ハングル入力法。	練習問題
	4	第8課：練習問題の解答・解説、会話練習。/ 料理・食堂・飲み物に関する単語の習得。	会話本文の筆写と発音練習
	5	第9課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	6	第9課：練習問題の解答・解説、会話練習。/ 漢数詞と助数詞の習得。	会話本文の筆写と発音練習
	7	小テスト / 韓国文化を楽しもう！	韓国文化を調べる
	8	小テストの返却・解説 / 韓国文化を楽しもう！	発表準備
	9	第10課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	10	第10課：練習問題の解答・解説、会話練習。/ 固有数詞と助数詞の習得。	会話本文の筆写と発音練習
	11	第11課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	12	第11課：練習問題の解答・解説、会話練習。/ 外来語に関する単語の習得。	会話本文の筆写と発音練習
	13	小テスト / 韓国文化を楽しもう！	韓国文化を調べる
	14	小テストの返却・解説 / 韓国文化を楽しもう！	発表準備
	15	第12課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	16	第12課：練習問題の解答・解説、会話練習。	会話本文の筆写と発音練習
	17	第13課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	18	第13課：練習問題の解答・解説、会話練習。	会話本文の筆写と発音練習
	19	小テスト / 韓国文化を楽しもう！	韓国文化を調べる
	20	小テストの返却・解説 / 韓国文化を楽しもう！	発表準備
	21	第14課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	22	第14課：練習問題の解答・解説、会話練習。/ 気候・自然に関する単語の習得。	会話本文の筆写と発音練習
	23	第15課：語句の説明、ダイアログの解説、ポイント、会話練習。	練習問題
	24	第15課：練習問題の解答・解説、会話練習。	会話本文の筆写と発音練習
	25	小テスト / 韓国文化を楽しもう！	韓国文化を調べる
	26	小テストの返却・解説 / 韓国文化を楽しもう！	発表準備
	27	韓国文化についての発表	発表準備
	28	韓国文化についての発表	発表のリハーサル
	29	今学期の復習	総まとめ
30	今学期の復習	総まとめ	
31	期末試験	試験対策	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：木内明著『基礎から学ぶ韓国語講座 初級 改訂版』国書刊行会、2,100円+税 参考文献：必要に応じて授業で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>※経済学科・地域環境政策学科の1年次で、韓国語 I 単位取得済みであることが条件です。 ※初日も必ず出席すること、出席しないと取り消される可能性があります。 ※体調不良等で欠席する場合は、メールでお知らせください。 ※※モバイル端末は、調べ物学習、Forms等、授業に関することに使用可能です。 ※ペア・グループ活動に積極的に参加してください。 ※発表準備等の課題にも、真摯に取り組んでください。 ※新型コロナの影響等により授業の方法が変更となる場合は、大学のメールを介して連絡します。</p>
学 の 継 続	<p>評価</p> <p>期末試験 (40%)、課題・小テスト (30%)、平常点(30%)により評価します。 授業回数の3分の1以上欠席した場合は不可とします。</p>
学 の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>(1) 「韓国語Ⅲ」 (2) 「海外語学・文化セミナー」への参加、協定校への短期交換留学、韓国語能力試験 (TOPIK) 受験など、 色々なことにチャレンジ・経験しながら好奇心・向上心を持ち続けましょう！</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-真島 知秀 [全学]	全学年	ptt808@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>「韓国語Ⅰ」に引き続き、韓国語の基礎構造を着実に積んでいくことで、「聞いて話す」「読んで書く」という語学技能を自分のものにしていきます。また韓国と沖縄の社会や文化の違いを比較し、韓国語をより深く学びます。「韓国語Ⅰ」と「韓国語Ⅱ」の学習を通じて、韓国語能力試験（初級）およびハングル能力検定試験（初級）合格を目指していきます。</p>	<p>ペアワークやグループ学習をふんだんに取り入れた授業を行います。毎回復習から入り、学んだことを徹底的に定着させます。毎回の課題もより実践で使える表現を取り上げて、授業で取り扱えない学習項目にも触れます。季節の歌（クリスマスソング、お正月の歌など）や韓国の生活文化が分かる動画も紹介して学力向上に繋がります。</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・数字を使って年齢や誕生日などの日時を話すことができる。 ・簡単な表現を使って買い物したり、レストランで注文したりすることができる。 ・目上の人に対して敬語で簡単な会話をするすることができる。 ・過去表現で簡単な会話をするすることができる。 ・相手を誘ったり、丁寧をお願いしたりすることができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画	テーマ	時間外学習の内容
	回		
	1	ガイダンス：今学期の内容紹介、自己紹介、ニーズ調査	文型練習課題
	2	前学期の復習(1)	復習プリント
	3	前学期の復習(2)	復習プリント
	4	第8課：用言文の活用(1)	本文プリント
	5	第8課：用言文の活用(2)	文型練習課題
	6	第8課：復習と発展	パソコン学習
	7	第9課：漢数詞の練習（電話番号／誕生日／日時を尋ねる）(1)	本文プリント
	8	第9課：漢数詞の練習（電話番号／誕生日／日時を尋ねる）(2)	文型練習課題
	9	第9課：復習と発展（漢数詞を用いて友達作り）	パソコン学習
	10	第11課：尊敬表現の練習、日本の尊敬表現との比較	パソコン学習
	11	第11課：復習と発展	文型練習課題・パソコン学習
	12	第12課：用言文における否定表現の練習	パソコン学習
	13	第12課：復習と発展	文型練習課題・パソコン学習
	14	中間まとめ（第8～9・11～12課）	まとめプリント
	15	中間確認試験（第8～9・11～12課）	文型練習課題
	16	動画・歌鑑賞	文型練習課題
	17	第10課：固有数詞の練習（年齢／物の数／時間を尋ねる）(1)	本文プリント
	18	第10課：固有数詞の練習（年齢／物の数／時間を尋ねる）(2)	文型練習課題
	19	第10課：復習と発展（固有数詞を用いて「買い物場面」にチャレンジ）	パソコン学習
	20	第13課：過去表現の練習	本文プリント
	21	第13課：復習と発展	文型練習課題・パソコン学習
	22	第14課：勧誘表現「～しよう／～しましょう（か）」の練習	本文プリント
	23	第14課：復習と発展	文型練習課題・パソコン学習
	24	第15課：現在進行形「～している」／依頼の表現「～してください」の練習	本文プリント
	25	第15課：復習と発展	文型練習課題・パソコン学習
	26	中間まとめ（第10課・13～15課）	まとめプリント
	27	中間確認試験（第10課・13～15課）	文型練習課題
	28	動画・歌鑑賞	文型練習課題
	29	総まとめ	総まとめプリント
30	検定試験やこれからの学習について	TOPIKサンプル	
31	期末試験およびフィードバック		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【改訂版】木内明 著『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）』国書刊行会（2, 100+税）</p> <p>※辞書や参考書については、必要に応じて授業で紹介します。 ※パソコン学習教材も製作してありますので、PC教室使用時に説明します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・韓国語 I を履修した学生のみ登録ができます（未履修の学生は登録が取り消されます）。 ・初日の出席は必須条件。出席しないと登録が取り消される可能性があります。 ・全学科対象ですが定員オーバーの場合は1年次を優先的に受け入れます。その場合2年次以上は学年指定のクラスで受講してください。 <p>※毎回簡単な課題が出されます。授業以外での学習時間の確保が求められます。 ※辞書機能としてスマートフォンを使用することは大歓迎ですが、授業に関係ないことでの使用は厳しく規制します。 ※状況により授業形式が変更される場合があります。</p>
評 価	<p>評価</p> <p>期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点（30%）により評価する。 授業回数分の3分の1以上欠席の場合、期末試験と関係なく不可とする。 ※平常点は積極的なグループ活動が大きな評価内容となります。 ※欠席届は、所定の様式と証明書類を添付の上提出してください。ただし内容によっては公欠・病欠が認められない場合もあります。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ※韓国語能力検定試験（TOPIK）を受験して初級合格を目指しましょう。（沖縄では本校で実施されます） ※引き続き「韓国語Ⅲ」を受講することをお勧めします。 ※一年間の短期派遣留学を目指したり、数週間の海外語学・文化セミナーに参加することで、異文化体験をしてみましよう。あなたの人生観がきっと変わりますよ。

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 聖子 [社文・日文]	1年	ptt163@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この講義は、韓国語と日本語の語順がほぼ同じであるというメリットを活かし、「読む」、「書く」ことを楽しむ形式を進めると同時に、教科書の内容を中心に「話す」ことの幅を広げます。韓国は日本に最も近い国なので、学習した表現を実際に使えるように心がけます。	韓国語の学習を通して、その背景にある韓国の文化や社会についても学び、異文化への理解を深めてほしいと思います。その為に、この講義では、ラボ教室のCALLシステム及び教室の機器を利用し、現在の韓国の情報を歌、ドラマ、映画、インターネットを通して紹介します。しかし、新型コロナウイルスの状況に合わせて、内容を変更する時は、予め、1ヶ月毎の月日付の授業計画をお届けします。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・数字を使って年齢や誕生日などの日時を話すことができる。 ・簡単な表現を使って買い物したり、レストランで注文したりすることができる。 ・目上の人に対して敬語で簡単な会話を行うことができる。 ・過去表現で簡単な会話を行うことができる。 ・相手を誘ったり、丁寧をお願いしたりすることができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	講義内容や目標等の確認：反切表の発音	自己紹介 (5文)の暗記
	2	です/ます語尾の復習：語尾の練習	「ハンゲル」読みの復習
	3	DVD「韓国留学150日」	フィードバックのプリント
	4	第8課：目的の語尾	第8課単語の読み・書き
	5	第8課：です/ますの語尾タイプ2の練習	第8課の練習問題
	6	第9課：漢数詞の使い方	第9課単語の読み・書き
	7	第9課：食堂のメニュー読み	第9課の練習問題
	8	第9課：パソコンで「韓国の食べ物」検索、誕生日の歌	1月～12月の読み・書き
	9	第10課：固有数詞の使い方と助数詞	第10課単語の読み・書き
	10	第10課：DVD「韓国の食文化」	時間の読み・書き
	11	第10課：数をたずねる質問文作り	第10課の練習問題
	12	第11課：尊敬語の語尾	第11課単語の読み・書き
	13	第11課：韓国語と日本語の尊敬語の相違点	第11課の練習問題
	14	第12課：否定文の作り	第12課単語の読み・書き
	15	第12課：DVD「K-Pop」歌詞で語尾練習	第12課の練習問題
	16	第13課：過去形	第13課単語の読み・書き
	17	第13課：ウェブで「韓国のキムチ文化」	第13課の練習問題
	18	第14課：勧誘形	第14課単語の読み・書き
	19	第14課：韓国の30分ドラマ	フィードバックのプリント
	20	第14課：曜日、話し相手に合う勧誘形	第14課の練習問題
	21	韓国映画の前半	フィードバックのプリント
	22	第15課：進行形	第15課単語の読み・書き
	23	韓国映画の後半	フィードバックのプリント
	24	第15課：DVD「韓国のお正月」	第15課の練習問題
	25	第15課：話し相手に合う正月の挨拶	語尾プリント
	26	第8課と第9課の復習	単語覚え
	27	DVD「ソウルの名所」、第10課と第11課の復習	フィードバックのプリント
	28	第12課と第13課の復習	単語覚え
	29	第14課と第15課の復習	単語覚え
30	総まとめ	質問	
31	学期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』（国書刊行会、2,100円+税） 参考文献は必要に応じて講義の中で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この講義は、韓国語Ⅰを履修した学生のみ登録ができます。 ・登録初日の出席は必修条件です。出席しないと、登録が取り消される可能性があります。 <p>テキストの各レッスンの単語や本文の内容の「ハングル」を正確に発音できるように、予め教科書のCDを聴いて予習します。復習は、語順が同じであることを活用して本文の日本語訳を韓国語に、韓国語を日本語に言えるようにします。</p>
学 び の 継 続	<p>評価</p> <p>平常点(28%)、課題点(32%)、学期末試験(40%)から総合的に評価します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期の教科書の続きを中級で学習しますので、引き続き、韓国語Ⅲを受講することをお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 聖子 [全学科] (2年以上)	2年	ptt163@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この講義は、韓国語と日本語の語順がほぼ同じであるというメリットを活かし、「読む」、「書く」ことを楽しむ形式を進めると同時に、教科書の内容を中心に「話す」ことの幅を広げます。韓国は日本に最も近い国なので、学習した表現を実際に使えるように心がけます。	韓国語の学習を通して、その背景にある韓国の文化や社会についても学び、異文化への理解を深めてほしいと思います。その為に、この講義では、ラボ教室のCALLシステム及び教室の機器を利用し、現在の韓国の情報を歌、ドラマ、映画、インターネットを通して紹介します。しかし、新型コロナウイルスの状況に合わせて、内容を変更する時は、予め、1ヶ月毎の月日付の授業計画をお届けします。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・数字を使って年齢や誕生日などの日時を話すことができる。 ・簡単な表現を使って買い物したり、レストランで注文したりすることができる。 ・目上の人に対して敬語で簡単な会話をするすることができる。 ・過去表現で簡単な会話をするすることができる。 ・相手を誘ったり、丁寧をお願いしたりすることができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	講義内容や目標等の確認：反切表の発音	自己紹介 (5文)の暗記
	2	です/ます語尾の復習：語尾の練習	「ハンゲル」読みの復習
	3	DVD「韓国留学150日」	フィードバックのプリント
	4	第8課：目的の語尾	第8課単語の読み・書き
	5	第8課：です/ますの語尾タイプ2の練習	第8課の練習問題
	6	第9課：漢数詞の使い方	第9課単語の読み・書き
	7	第9課：食堂のメニュー読み	第9課の練習問題
	8	第9課：パソコンで「韓国の食べ物」検索、誕生日の歌	1月～12月の読み・書き
	9	第10課：固有数詞の使い方と助数詞	第10課単語の読み・書き
	10	第10課：DVD「韓国の食文化」	時間の読み・書き
	11	第10課：数をたずねる質問文作り	第10課の練習問題
	12	第11課：尊敬語の語尾	第11課単語の読み・書き
	13	第11課：韓国語と日本語の尊敬語の相違点	第11課の練習問題
	14	第12課：否定文の作り	第12課単語の読み・書き
	15	第12課：DVD「K-Pop」歌詞で語尾練習	第12課の練習問題
	16	第13課：過去形	第13課単語の読み・書き
	17	第13課：ウェブで「韓国のキムチ文化」	第13課の練習問題
	18	第14課：勧誘形	第14課単語の読み・書き
	19	第14課：韓国の30分ドラマ	フィードバックのプリント
	20	第14課：曜日、話し相手に合う勧誘形	第14課の練習問題
	21	韓国映画の前半	フィードバックのプリント
	22	第15課：進行形	第15課単語の読み・書き
	23	韓国映画の後半	フィードバックのプリント
	24	第15課：DVD「韓国のお正月」	第15課の練習問題
	25	第15課：話し相手に合う正月の挨拶	語尾プリント
	26	第8課と第9課の復習	単語覚え
	27	DVD「ソウルの名所」、第10課と第11課の復習	フィードバックのプリント
	28	第12課と第13課の復習	単語覚え
	29	第14課と第15課の復習	単語覚え
30	総まとめ	質問	
31	学期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』（国書刊行会、2,100円+税） 参考文献は必要に応じて講義の中で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この講義は、韓国語Ⅰを履修した学生のみ登録ができます。 ・登録初日の出席は必修条件です。出席しないと、登録が取り消される可能性があります。 <p>テキストの各レッスンの単語や本文の内容の「ハングル」を正確に発音できるように、予め教科書のCDを聴いて予習します。復習は、語順が同じであることを活用して本文の日本語訳を韓国語に、韓国語を日本語に言えるようにします。</p>
	<p>評価</p> <p>平常点(28%)、課題点(32%)、学期末試験(40%)から総合的に評価します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期の教科書の続きを中級で学習しますので、引き続き、韓国語Ⅲを受講することをお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅲ	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	李 ヒョンジョン[全学]	2年	授業の前後に受け付ける。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この授業では韓国語の中級レベルに進むための段階として、初級レベルで学習した重要ポイントを振り返りつつ新たな文型導入を通して、よりレベルの高い文章表現力や会話運用能力を目指していく。また、文化の触れ合い学習を通して、韓国の社会や文化を客観的にみる力を養っていく。	語学力は日々の積み重ねが上達の鍵となることを忘れず、授業内容のみならず、個別学習にも力を入れていきましょう！

到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ・決まり文句以外の表現を用いたあいさつができる。 ・可能・不可能や希望・許諾など、自分の意思を表す表現ができる。 ・連体形を用いた表現ができる。 ・学習した文型を用いて、適切な会話表現に変えることができる。 ・ある程度まとまりのある文を、読み取ったり、書いたりすることができる。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：コース紹介、シラバス確認、レベルテスト	初級までの振り返り
	2	初級までの復習および自己紹介の課題と練習	課題に取り組む、新語彙を覚える
	3	初級・第16課 可能・不可能の表現「～できる／～できない」＜前半＞	テキストの予習・新語彙を覚える
	4	初級・第16課 可能・不可能の表現「～できる／～できない」＜後半＞	課題に取り組む
	5	第16課のまとめ	16課復習
	6	初級・第17課 願望の意志を表す「～したい」、依頼の表現「～してください」＜前半＞	テキストの予習・新語彙を覚える
	7	初級・第17課 願望の意志を表す「～したい」、依頼の表現「～してください」＜後半＞	課題に取り組む
	8	第17課のまとめ	17課復習
	9	初級・第18課 許諾「～してもいい」、禁止の表現「～しないでください」＜前半＞	テキストの予習・新語彙を覚える
	10	初級・第18課 許諾「～してもいい」、禁止の表現「～しないでください」＜後半＞	課題に取り組む
	11	第18課のまとめ / 小テスト①	18課復習、テスト準備
	12	初級・第19課 義務の表現「～しなければならない」、意志を表す「□」＜前半＞	テキストの予習・新語彙を覚える
	13	初級・第19課 義務の表現「～しなければならない」、意志を表す「□」＜後半＞	課題に取り組む
	14	第19課のまとめ	19課の復習、テスト準備
	15	韓国映画を楽しもう！	映画を通して新語彙・文型を発見
	16	映画の名場面・名セリフを身につけよう！	映画を通して新語彙・文型を発見
	17	初級・第20課 推量・意志・未来を表す「～と思います／するつもりです」＜前半＞	テキストの予習・新語彙を覚える
	18	初級・第20課 推量・意志・未来を表す「～と思います／するつもりです」＜後半＞	課題に取り組む
	19	初級テキストのまとめ / 位置関係および数字等の聞き取り練習	20課の復習
	20	連体形の練習	連体形の復習
	21	連体形のまとめ	課題に取り組む
	22	小テスト②	テスト準備
	23	中級・第1課 動作の原因および様態「～して／～なので」＜前半＞	テキストの予習・新語彙を覚える
	24	中級・第1課 動作の原因および様態「～して／～なので」＜後半＞	課題に取り組む
	25	第1課のまとめ	1課復習
	26	中級・第2課 形容詞・指定詞の連体形、「～するようになる」表現 ＜前半＞	テキストの予習・新語彙を覚える
	27	中級・第2課 形容詞・指定詞の連体形、「～するようになる」表現 ＜後半＞	課題に取り組む
	28	第2課のまとめ	2課復習
29	小テスト③	テスト準備	
30	学期の振り返りと総まとめ	全体の復習、まとめ	
31	期末試験	今学期の振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【テキスト】 木内明著『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）-改定版-』、国書刊行会（2,100円+税） 木内明著『基礎から学ぶ韓国語講座（中級）-改定版-』、国書刊行会（2,100円+税） ※ その他、参考書等については必要に応じて授業で紹介する。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員を超える場合、レベルテストにより調整する。 ・初日の出席は必須。出席しないと登録が取り消される。 ・毎回の授業活動には積極的に参加すること。特に、ペアやグループ活動の場合は自分の役割を果たしながら協力し合う姿勢を持つこと。 ・授業以外の学習時間を確保し、自習および課題にも力を入れること。 ・授業計画は状況により修正する場合がある。 <p>※ より良い学習環境のために、私語およびスマートフォン使用厳禁のルールを守りましょう！</p>
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加度・発言・態度など(30%)、小テスト・課題（30%）、期末試験（40%）により評価する。 ・授業回数の3分1以上欠席の場合は、不可とする。
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後期の「韓国語IV」に進むことで、自分の韓国語力に更に磨きを入れましょう。 ・学内の「韓国語スピーチコンテスト」や「韓国語合宿」などに積極的に参加しましょう。 ・「海外語学・文化セミナー」への参加や、1年間の短期交換留学への挑戦など、韓国語学習を通して得た視野を実体験につなげるような目標を持つことをお勧めします。

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語IV	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	李 ヒョンジョン [全学]	2年	授業全後に受け付ける。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	韓国語の中級学習者としてより高いレベルのコミュニケーション能力を身につけるための文型および語彙選択のスキルアップを目指す。そして、韓国語Ⅰ～Ⅳまでの学習能力を用いて、韓国語能力試験およびハングル能力検定試験の中級合格を目指していく。	語学力は日々の積み重ねが上達の鍵となることを忘れず、授業への積極的な参加はもちろん、自習学習にも力を入れながら、一緒に頑張っていきましょう！
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・会話や文章内での連体形の表れ方を理解する。 ・不規則活用を理解し、会話の中で使いこなせることができる。 ・自分の経験の有無を相手に伝えたり、理由説明を加えたりすることができる。 ・新聞やニュースなど、ある程度まとまった文を理解することができる。 ・日常でよく使われる慣用句を用いて、相手や場面に合わせて適切にコミュニケーションを図ることができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：今学期の流れの確認、レベル確認	自己紹介の練習
	2	前期の振り返り、ペア活動「自己紹介」	韓国語Ⅲまでの振り返り
	3	中級・第3課 動詞・存在詞の現在と過去の連体形 <前半>	第3課の練習
	4	中級・第3課 動詞・存在詞の現在と過去の連体形 <後半>	課題に取り組む
	5	第3課のまとめ	第3課の復習
	6	第4課 逆接表現「～だが」、同時進行「～しながら」<前半>	第4課の練習
	7	第4課 逆接表現「～だが」、同時進行「～しながら」<後半>	課題に取り組む
	8	第4課のまとめ	第4課の復習
	9	第5課 経験の有無を表す表現①「～してみる」、動詞・存在詞の未来連体形 <前半>	第5課の練習
	10	第5課 経験の有無を表す表現①「～してみる」、動詞・存在詞の未来連体形 <後半>	課題に取り組む
	11	第5課のまとめ / 小テスト①	第5課の復習、テスト準備
	12	不規則活用の練習	不規則活用の復習
	13	不規則のまとめ	課題に取り組む
	14	中間レポート・発表	課題に取り組む
	15	第6課 経験の有無を表す表現②「～したことがある」、「～することにする」<前半>	第6課の練習
	16	第6課 経験の有無を表す表現②「～したことがある」、「～することにする」<後半>	課題に取り組む
	17	第6課のまとめ	第6課の復習
	18	第7課 理由の表現「～なので」、推量の表現「～ようだ」「～ように思う」<前半>	第7課の練習
	19	第7課 理由の表現「～なので」、推量の表現「～ようだ」「～ように思う」<後半>	課題に取り組む
	20	第7課のまとめ / 小テスト②	第7課の復習、テスト準備
	21	第8課 逆接等を表す「～んですが」、意志を表す「～しようと」<前半>	第8課の練習
	22	第8課 逆接等を表す「～んですが」、意志を表す「～しようと」<後半>	課題に取り組む
	23	第8課のまとめ	第8課の復習
	24	第9課 「～し始める」表現、「～するなり」表現 <前半>	第9課の練習
	25	第9課 「～し始める」表現、「～するなり」表現 <後半>	課題に取り組む
	26	第9課のまとめ	第9課の復習
	27	第10課 勧誘表現「～しましょうか」、他の勧誘表現との比較 <前半>	第10課の練習
	28	第10課 勧誘表現「～しましょうか」、他の勧誘表現との比較 <後半>	課題に取り組む
29	第10課のまとめ / 小テスト③	第10課の復習、テスト準備	
30	学期の振り返りと総まとめ	全体の復習、まとめ	
31	期末試験およびフィードバック	今学期の振り返り	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【テキスト】 木内明著『基礎から学ぶ韓国語講座（中級）-改定版-』、国書刊行会（2,100円+税） ※ その他、参考書等については必要に応じて授業で紹介する。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初日の出席は必須。出席しないと登録が取り消される。 ・毎回の授業活動には積極的に参加すること。特に、ペアやグループ活動の場合は自分の役割を果たしながら協力し合う姿勢を持つこと。 ・授業以外の学習時間を確保し、自習および課題にも力を入れること。 ・授業計画は状況により修正する場合がある。 <p>※ より良い学習環境のために、私語およびスマートフォン使用厳禁のルールを守りましょう！</p>
実践	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加度・発言・態度など(30%)、小テスト・課題など（30%）、期末試験（40%）により評価する。 ・授業回数の3分1以上欠席の場合は、不可となる。
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学を目指すなら、交換留学候補生や留学経験者(交換・私費)を対象とした「外国語研究Ⅰ」に進むことができます。 ・より韓国に焦点をあてて研究したいと思う人は、共通演習科目「国際理解課題研究」もお勧めです。 ・韓国語能力試験（中級以上）・ハングル能力検定（中級以上）合格を目指しましょう。

※ポリシーとの関連性 留学までの準備及び留学の経験から学んだことを定着させ、社会で活躍するグローバル人材を育成する。

[/演習]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究 I - A	前期	水 5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	月野 楓子	1年	授業後に受け付けます。	

学びの準備	ねらい この授業では、スペイン語圏への留学を準備している学生及び同地域から帰国した学生、スペイン語の継続学習を希望する学生を対象にしている。スペイン語能力の向上を目指すとともに、スペイン語圏の歴史や文化について学び、世界への理解を深めていく。	メッセージ 留学準備中の学生と帰国後の学生が互いに学び合うことのできる場になるよう、授業や課題への積極的な参加を期待します。
	到達目標 ・スペイン語圏の国、地域について説明ができる。 ・スペイン語で文章を作成し、話すことができる。 ・スペイン語の新聞や雑誌等テキストの読解ができる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	授業についての説明
	2	スペイン語圏について各自の関心を発表	発表内容を考えてくること
	3	映像鑑賞、リスニング、議論①	議論のテーマを考えておくこと
	4	映像鑑賞、リスニング、議論②	関心を持った点について調べておく
	5	映像鑑賞、リスニング、議論③	関心を持った点について調べておく
	6	検定練習問題①	授業内で指示する
	7	検定練習問題②	授業内で指示する
	8	検定練習問題③	授業内で指示する
	9	文章読解①	テキストの予習をしておくこと
	10	文章読解②	テキストの予習をしておくこと
	11	文章読解③	テキストの予習をしておくこと
	12	エッセイテーマ発表	エッセイのテーマを考えておくこと
	13	作文練習①	課題を準備してくる
	14	作文練習②	課題を準備してくる
	15	発表会	発表の準備をしてくる
	16	まとめ	授業内で指示する
	テキスト・参考文献・資料など ・適宜資料を配布、参考図書を紹介する。 ・辞書は必ず用意すること。		
	学びの手立て スペイン語圏への関心を持ち授業や課題に取り組むことで、語学の上達とともに世界への理解が深まります。		
	評価 平常点 (50%)、課題 (30%)、発表 (準備を含む) (20%)		

学びの継続	次のステージ・関連科目 外国語研究 検定試験、留学に向けて学習を進めましょう。
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅰ-A	前期	火4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	李 ヒョンジョン	1年	授業後に受け付けます。	

学びの準備	ねらい この授業は、韓国語Ⅳまで履修済みで、主に韓国留学(交換および私費留学)を目指して準備中の人を対象とするものとして、留学に向けた語学力強化と事前学習の場として位置付けられている。	メッセージ 留学は、これまで学んできた韓国語をより極めるためでもあり、異なる社会で日本・沖縄を見つめることによってより自分の視野を広げるためでもあります。留学を通して、グローバル社会で活躍できる人材としての自分を目指しましょう！
	到達目標 ・ニュースや新聞などの内容が理解できる。 ・韓国の社会・文化背景に対する内容を理解し、文章化することができる。 ・韓国と関連する全般的なテーマについて4技能(読む・書く・聞く・話す)を活かすことができる。 ・韓国語能力試験またはハングル能力検定試験の中級～高級(上級)獲得ができる。	

学びの準備	到達目標 ・ニュースや新聞などの内容が理解できる。 ・韓国の社会・文化背景に対する内容を理解し、文章化することができる。 ・韓国と関連する全般的なテーマについて4技能(読む・書く・聞く・話す)を活かすことができる。 ・韓国語能力試験またはハングル能力検定試験の中級～高級(上級)獲得ができる。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス、レベルチェック	自己評価
	2	今学期の設定	自己評価
	3	連体形・不規則用言のまとめ①	連体形・不規則用言の復習・自習
	4	連体形・不規則用言のまとめ②	連体形・不規則用言の復習・自習
	5	連体形・不規則用言のまとめ③	連体形・不規則用言の復習・自習
	6	会話と音声①	会話と音声の練習
	7	フィードバック	会話と音声の練習
	8	中間テスト	テスト準備
	9	使役・受身のまとめ①	使役・受身の復習・自習
	10	使役・受身のまとめ②	使役・受身の復習・自習
	11	会話と音声②	会話と音声の練習
	12	フィードバック	会話と音声の練習
	13	グループ発表の準備①	グループ作業の担当部分準備
	14	グループ発表の準備②	グループ作業の担当部分準備
15	グループ発表による期末テスト	グループ作業の最終チェック	
16	まとめ	今学期の振り返り	

学びの実践	テキスト・参考文献・資料など ・配布プリントおよびCALL教材を使用するため、別途のテキスト指定は無い。 ・授業で扱ってほしい学習リソースがある場合は全員で共有する。 ・その他の参考文献は必要に応じて随時紹介する。
-------	--

学びの実践	学びの手立て ・韓国語Ⅳまで履修済みであること。 ・初日は履修に関する相談およびレベルチェックがあるため、必ず出席すること。 ・上級レベル、そして留学を目指すものとして、日々の自習に力を入れること。
-------	--

学びの実践	評価 ・授業での参加度・発言・態度(30%)、課題・中間テスト(30%)、期末試験(40%)の平均により評価する。 ・授業回数の1/3以上欠席の場合は不可とする。
-------	---

学びの継続	次のステージ・関連科目 ・留学選考に合格した人は、必ず「外国語研究Ⅰ-B」を受講しましょう。 ・留学前に関連の検定試験(中級以上)にチャレンジしましょう。
-------	---

※ポリシーとの関連性 フランス語を学ぶことは日本とは異なる文化を受け入れる素地を育むことを通して国際的な視点を獲得する可能性を高めます。

[/演習]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅰ-A	前期	月2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上江洲 律子	1年	沖国大ポータル Gmailにて質問してください。	

学びの準備	ねらい フランス語の中級クラスを受講した後、さらにフランス語の実践的な能力を高め、フランスおよびフランス語圏を実際に訪れたり、そこで学んだりするために必要な力を培うことを目的とします。	メッセージ フランス語ⅢとⅣを履修した後、フランス語学習の継続を希望する学生や、フランスへの交換留学を目指す学生を対象とします。実践的なフランス語の学習を通して、さらに語学力を向上させていきましょう。
	到達目標 フランス語における実用的なコミュニケーション能力（「読む」「書く」「聞く」「話す」）を高めることを目標とします。また、フランス語を用いて情報を収集したり、発信したりする力を育むことを目指します。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	課題の実施
	2	音読と読解（1）	課題の実施
	3	聞き取りと作文（1）	課題の実施
	4	音読と読解（2）	課題の実施
	5	聞き取りと作文（2）	課題の実施
	6	音読と読解（3）	課題の実施
	7	聞き取りと作文（3）	課題の実施
	8	音読と読解（4）	課題の実施
9	聞き取りと作文（4）	課題の実施	
10	音読と読解（5）	課題の実施	
11	聞き取りと作文（5）	課題の実施	
12	復習（1）	復習	
13	復習（2）	復習	
14	発音試験	復習	
15	筆記試験	復習	
16	まとめ	復習	
	テキスト・参考文献・資料など テキストは授業内で配付します。 ※ただし、フランス語Ⅰ～Ⅳを受講する際に使用していたテキストを毎回持参してください。 ※参考書や辞書については授業内で紹介します。		
	学びの手立て フランス語ⅠとⅡを履修済みであること、あるいは、同等の知識があることが履修条件となります。また、フランス語Ⅲとの同時履修も可能です。 実践的なフランス語力を育む機会として検定試験の受験に挑戦してみましょう。		
	評価 到達目標の達成を確認するために、読解と作文による筆記試験（「読む」「書く」力の確認）および音読と聞き取りによる発音試験（「聞く」「話す」力の確認）を実施します。また、自主学習を促進してその努力を評価するために課題を得意化し、前述の2つの試験の結果に加えて総合的に評価します。 ・計算式＝筆記試験の得点（40％）＋発音試験の得点（40％）＋課題の得点（20％） ※ただし、単位修得のためには授業における3分の2以上の出席を義務づけます。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 この科目の履修後に受講する科目として外国語研究Ⅰ-B（後期）と外国語研究Ⅱ-AとⅡ-B（次年度）が開講されています。また、フランス・レンヌ第二大学で交換留学生として学ぶ機会が設けられています。
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅰ-A	前期	月4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	岡野 薫	1年	メール：k.okanoあつとまあくoku.ac.jp 研究室：5435	

学びの準備	ねらい ドイツ語の中級を受講した後に、さらにその実践的な運用能力を高め、ドイツ語圏に留学（交換・私費）や滞在するために必要な力を身につけます。	メッセージ ドイツ語Ⅲ・Ⅳを履修した後、継続してドイツ語を学びたい学習者、ドイツ語圏への留学を目指す学生を対象としています。ペアワーク、グループワークを中心としたコミュニケーション型授業です。そのため、受講者ひとりひとりが参加することではじめて授業が成立します。みなさんが積極的に参加することで、受講者がたがいに成長できる授業にしましょう。
	到達目標 ドイツ語での発信力や情報収集力を高めます。具体的には、日常生活に必要なことを話せること、相手の話しが聴きとれること、説明書、ホームページやパンフレットを読んで活用できること、申込みや依頼のメールが書けることを目指します。CEFRのA2（独検3級程度）以上を到達目標とします。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	課題（語彙・表現の学習）
	2	会話と聴きとりの練習（1）	課題（語彙・表現の学習）
	3	読解と作文の練習（1）	課題（語彙・表現の学習）
	4	会話と聴きとりの練習（2）	課題（語彙・表現の学習）
	5	読解と作文の練習（2）	課題（語彙・表現の学習）
	6	会話と聴きとりの練習（3）	課題（語彙・表現の学習）
	7	読解と作文の練習（3）	地域調査
	8	地域研究	地域調査・試験対策
	9	定期試験	試験の復習
	10	地域研究	地域調査
	11	会話と聴きとりの練習（4）	課題（語彙・表現の学習）
	12	読解と作文の練習（4）	課題（語彙・表現の学習）
	13	会話と聴きとりの練習（5）	課題（語彙・表現の学習）
	14	読解と作文の練習（5）	地域調査
15	地域研究	地域調査・試験対策	
16	定期試験	試験の復習	

学びの実践	テキスト・参考文献・資料など テキスト：指定しません。初回の授業で詳細は説明します。 参考文献：ドイツ語ⅠからⅣで使用したテキストや辞書。 中島悠爾、平尾浩三、朝倉巧『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』（白水社、2003、ISBN4-560-00492-7） 資料：授業時に随時紹介します。
-------	---

学びの実践	学びの手立て ドイツ語のⅠ・Ⅱの単位を取得していること、あるいは、それと同等の知識を有していることが履修条件です。ドイツ語Ⅲとの同時履修も可能です。後期には独検があるので挑戦してください。言語学習に語彙・表現の習得は欠かせません。授業で学ぶものだけでなく、自分でも気になったものをどんどん覚えてください。書籍、テレビ、ラジオ、映画、音楽、ネット上の動画など、教材はたくさんあります。自分に合ったものを探してください。
-------	---

学びの実践	評価 平常点（毎回の授業参加度，課題提出）30%，試験（小テスト，定期試験）70%
-------	--

学びの継続	次のステージ・関連科目 外国語研究Ⅰ-B（後期），外国語研究Ⅱ-A，Ⅱ-B（次年度） 関連科目：文学，ヨーロッパ研究
-------	---

※ポリシーとの関連性

留学までの準備及び留学の経験から学んだことを定着させ、社会で活躍するグローバル人材を育成する。

[/演習]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究 I - B	後期	水 4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	月野 楓子	1年	授業後に受け付けます。	

学びの準備	ねらい この授業では、スペイン語圏への留学を準備している学生及び同地域から帰国した学生、スペイン語の継続学習を希望する学生を対象にしている。スペイン語能力の向上を目指すとともに、スペイン語圏の歴史や文化について学び、世界への理解を深めていく。	メッセージ 留学準備中の学生と帰国後の学生が互いに学び合うことのできる場になるよう、授業や課題への積極的な参加を期待します。
	到達目標 ・スペイン語圏の国、地域について説明ができる。 ・スペイン語圏の歴史や文化について、関心のあることを文章にできる。 ・ニュース、新聞、雑誌等の記事の内容が理解できる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	授業についての説明
	2	スペイン語圏について各自の関心を発表	内容を考えてくること
	3	発表課題の決定	内容及び構成を用意すること
	4	映像鑑賞、リスニング、議論①	授業内で指示する
	5	映像鑑賞、リスニング、議論②	授業内で指示する
	6	映像鑑賞、リスニング、議論③	授業内で指示する
	7	文章の購読①	テキストの予習をすること
	8	文章の購読②	テキストの予習をすること
9	文章の購読③	テキストの予習をすること	
10	検定練習問題①	授業内で指示する	
11	検定練習問題②	授業内で指示する	
12	作文演習①	課題を事前に用意してくること	
13	作文演習②	課題を事前に用意してくること	
14	作文演習③	課題を事前に用意してくること	
15	発表会	発表のための準備をしておくこと	
16	まとめ	まとめ	
実践	テキスト・参考文献・資料など 教科書は使用せず適宜参考図書を紹介する。		
	学びの手立て スペイン語圏への関心を持ち授業や課題に取り組むことで、語学の上達とともに世界への理解が深まります。		
	評価 平常点 (50%)、課題 (30%)、発表 (準備を含む) (20%)		

学びの継続	次のステージ・関連科目 外国語研究 検定試験、留学に向けて学習を進めましょう。
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究 I - B	後期	木 4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	兼本 敏	1 年	kanemoto@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい ウェブや辞書などあらゆる手段を活用して情報を収集し、日本との違いや共通点を理解できるようにしたい。また自分の意思を伝えたり相手の発話を理解できるように語学力を磨く。	メッセージ 本科目は中国語圏への留学準備中、或いは、中国語IVを履修済みの学生を対象としています。 初日にはクラスの進め方を説明しますので絶対に参加してください。
	到達目標 中国語の表現力を培う目的で短編小説、童話、漫画などを教材に使用し、各自に翻訳とナレーションを課題とします。中国語検定3級以上を目標に設定した講義です。豊富な語彙力と多くの表現を習得します。中国語での会話力を高めるため毎回トピックを提示して数分間の会話をします。	

学びの準備	到達目標 中国語の表現力を培う目的で短編小説、童話、漫画などを教材に使用し、各自に翻訳とナレーションを課題とします。中国語検定3級以上を目標に設定した講義です。豊富な語彙力と多くの表現を習得します。中国語での会話力を高めるため毎回トピックを提示して数分間の会話をします。

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	PC機器の使い方および注意事項
	2	習得度テスト	弱点の把握と課題の発見
	3	課題文①の提示：朗読と質疑応答（中国語）	課題文（中国語）を理解する
	4	関連項目の検索と資料作成	課題文（中国語）を理解する
	5	課題②の提示：朗読と質疑応答（中国語）	課題文（中国語）を理解する
	6	関連項目の検索と資料作成	課題文（中国語）を理解する
	7	第1回 まとめテスト	課題分①②の理解度テスト
	8	プレゼン課題の選択（学内スピーチコンテスト用）	プレゼンの決定（紹介文）
	9	プレゼン原稿の作成（学内スピーチコンテスト用）	プレゼン作成
	10	プレゼン原稿の作成（学内スピーチコンテスト用）	プレゼン作成
	11	プレゼンの実施 質疑応答（学内スピーチコンテスト用）	プレゼン作成
	12	プレゼンの実施 質疑応答（学内スピーチコンテスト用）	プレゼン実施
	13	プレゼンの実施 質疑応答（学内スピーチコンテスト用）	プレゼン実施
	14	総括 質疑応答	理解と修正
	15	第2回 まとめテスト	プレゼン内容のチェックと理解
16	評価と総括	今後の課題発見	

学びの実践	テキスト・参考文献・資料など 特に指定はしませんが辞書は必須です。トピックおよび翻訳する作品は事前に提示しみんなて決定します。
-------	--

学びの実践	学びの手立て 日頃から中国語の発話機会を積極的に探す。中国語版DVDを鑑賞したりカラオケなどで中国語の歌詞と日本語の歌詞で歌うなど中国語の世界に触れるようにする。
-------	--

学びの実践	評価 課題①②で各10%、プレゼン40%、第1回テスト20%、第2回テスト20%
-------	---

学びの継続	次のステージ・関連科目 検定試験や通訳試験に挑戦したり学内外の中国語スピーチコンテストに応募したり、積極的に中国語を使いましょう。
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究 I - B	後期	火 5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	李 ヒョンジョン	1年	授業後に受け付けます。	

学びの準備	ねらい この授業は、主に次年度の韓国留学(交換および私費留学)が決まった人を対象とするもので、留学に向けた語学力強化と事前学習の場として位置付けられている。	メッセージ 留学は、これまで学んできた韓国語をより極めるためでもあり、異なる社会で日本・沖縄を見つめることによってより自分の視野を広げるためでもあります。留学を通して、グローバル社会で活躍できる人材としての自分を目指しましょう！
	到達目標 ・ニュースや新聞などの内容が理解できる。 ・韓国の社会・文化背景に対する内容を理解し、文章化することができる。 ・韓国と関連する全般的なテーマについて4技能(読む・書く・聞く・話す)を活かすことができる。 ・韓国語能力試験またはハングル能力検定試験の中級～高級(上級)獲得ができる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス、レベルチェック	自己評価
	2	今学期の設定	自己評価
	3	ニュース①	新語彙・文型チェック
	4	音声トレーニングと録音①	新語彙・文型チェック
	5	フィードバック	音声練習
	6	ニュース②	新語彙・文型チェック
	7	音声トレーニングと録音②	新語彙・文型チェック
	8	フィードバック	音声練習
9	中間テスト	テスト準備	
10	ニュース③	新語彙・文型チェック	
11	音声トレーニングと録音③	新語彙・文型チェック	
12	フィードバック	音声練習	
13	グループ発表の準備①	グループ発表の担当部分準備	
14	グループ発表の準備②	グループ発表の担当部分準備	
15	グループ発表の準備③	グループ発表の最終チェック	
16	グループ発表による期末テストとまとめ	最終確認	
実践	テキスト・参考文献・資料など ・主に配布プリントを使用するため、別途のテキスト指定は無い。 ・授業で扱ってほしい学習リソースがある場合は全員で共有する。 ・その他、参考文献は必要に応じて随時紹介する。		
	学びの手立て ・初日は履修に関する相談があるため、必ず出席すること。 ・上級レベルとして、留学を目指すものとして、日々の自習に心掛けること。 ・韓国語関連行事の企画に積極的に参加すること。		
	評価 ・授業での参加度・発言・態度(30%)、課題・中間テスト(40%)、期末試験(30%)の平均により評価する。 ・授業回数の1/3以上欠席の場合は不可となる。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 ・留学選考に合格した人は、留学済みの人と協同で、留学準備に徹しましょう。 ・留学前に関連の検定試験(中級以上)にチャレンジしましょう。
-------	---

※ポリシーとの関連性

フランス語を学ぶことは、日本とは異なる文化を受け入れる素地を育むことを通して、国際的な視点を獲得する可能性を高めます。

[/演習]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究 I-B	後期	月 2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上江洲 律子	1年	沖国大ポータルGmailにて質問してください。	

学びの準備	ねらい 外国語研究 I-Aから引き続き、フランス語の実践的な能力を高め、フランスおよびフランス語圏を実際に訪れたり、そこで学んだりするために必要な力を培うことを目的とします。	メッセージ フランスへの交換留学から帰国した学生や、交換留学を目指す学生をはじめ、フランス語Ⅲ・Ⅳを履修した後、フランス語の継続的な学習を希望する学生を対象とします。実践的なフランス語の学習を通して、さらに語学力を向上させていきましょう。
	到達目標 フランス語における実用的なコミュニケーション能力（「読む」「書く」「聞く」「話す」）を高めることを目標とします。また、フランス語を用いて情報を収集したり、発信したりする力を育むことを目指します。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	課題の実施
	2	フランス語のニュース動画の聞き取り、ニュース記事の音読と読解（1）	課題の実施
	3	フランス語のニュース動画の聞き取り、ニュース記事の音読と読解（2）	課題の実施
	4	フランス語のニュース動画の聞き取り、ニュース記事の音読と読解（3）	課題の実施
	5	フランス語のニュース動画の聞き取り、ニュース記事の音読と読解（4）	課題の実施
	6	フランス語のニュース動画の聞き取り、ニュース記事の音読と読解（5）	課題の実施
	7	フランス語のニュース動画の聞き取り、ニュース記事の音読と読解（6）	課題の実施
	8	フランス語のニュース動画の聞き取り、ニュース記事の音読と読解（7）	課題の実施
	9	フランス語のニュース動画の聞き取り、ニュース記事の音読と読解（8）	課題の実施
	10	フランス語のニュース動画の聞き取り、ニュース記事の音読と読解（9）	課題の実施
	11	フランス語のニュース動画の聞き取り、ニュース記事の音読と読解（10）	課題の実施
	12	フランスについての発表（1）ガイダンス	発表の準備
	13	フランスについての発表（2）準備	発表の準備
	14	フランスについての発表（3）発表①	復習
15	フランスについての発表（4）発表②	復習	
16	まとめ	復習	
実践	テキスト・参考文献・資料など テキストは授業内で配付します。 ※ただし、これまでフランス語の授業を受講する際に使用していたテキストを毎回持参してください。 ※参考書や辞書については授業内で紹介します。		
	学びの手立て 外国語研究 I-Aを履修済みであること、あるいは、同等の知識があることが履修条件となります。また、フランス語Ⅳとの同時履修も可能です。 実践的なフランス語力を育む機会として検定試験の受験に挑戦してみましょう。		
	評価 到達目標の達成を確認するために（「読む」「書く」「聞く」「話す」力を総合的に評価するために）、フランス語による「フランスについての発表」を実施します。また、課題も評価に加味します。 ・計算式＝発表の評価（60％）＋課題の評価（40％） ※ただし、単位修得のためには授業における3分の2以上の出席を義務づけます。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 この科目の履修後に受講する科目として外国語研究Ⅱ-AとⅡ-B（次年度）が開講されています。また、フランス・レンヌ第二大学で交換留学生として学ぶ機会が設けられています。
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅰ-B	後期	水5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	岡野 薫	1年	メール：k.okanoあつとまあくokuu.ac.jp 研究室：5435	

学びの準備	ねらい 外国語研究Ⅰ-Aの後に、さらにその実践的な運用能力を高め、ドイツ語圏に留学（交換・私費）や滞在するために必要な力を身につけます。	メッセージ ドイツ語Ⅲ・Ⅳを履修した後、継続してドイツ語を学びたい学習者、ドイツ語圏への留学を目指す学生を対象としています。ペアワーク、グループワークを中心としたコミュニケーション型授業です。そのため、受講者ひとりひとりが参加することではじめて授業が成立します。みなさんが積極的に参加することで、受講者がたがいに成長できる授業にしましょう。
	到達目標 ドイツ語での発信力や情報収集力を高めます。具体的には、日常生活に必要なことを話せること、相手の話しが聴きとれること、説明書、ホームページやパンフレットを読んで活用できること、申込みや依頼のメールが書けることを目指します。CEFRのA2（独検3級程度）以上を到達目標とします。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	課題（語彙・表現の学習）
	2	会話と聴きとりの練習（1）	課題（語彙・表現の学習）
3	読解と作文の練習（1）	課題（語彙・表現の学習）	
4	会話と聴きとりの練習（2）	課題（語彙・表現の学習）	
5	読解と作文の練習（2）	課題（語彙・表現の学習）	
6	会話と聴きとりの練習（3）	課題（語彙・表現の学習）	
7	読解と作文の練習（3）	課題（語彙・表現の学習）	
8	地域研究	地域調査・課題	
9	地域研究	地域調査・課題	
10	地域研究	地域研究・課題	
11	会話と聴きとりの練習（4）	課題（語彙・表現の学習）	
12	読解と作文の練習（4）	課題（語彙・表現の学習）	
13	会話と聴きとりの練習（5）	課題（語彙・表現の学習）	
14	読解と作文の練習（5）	課題（語彙・表現の学習）	
15	地域研究	地域調査・試験対策	
16	定期試験	試験の復習	
	テキスト・参考文献・資料など 指定しません。初回の授業で詳細は説明します。 参考文献：ドイツ語ⅠからⅣで使用したテキストや辞書。 中島悠爾、平尾浩三、朝倉巧『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』（白水社、2003、ISBN4-560-00492-7） 資料：授業時に随時紹介します。		
	学びの手立て ドイツ語のⅠからⅢの単位を取得していること、あるいは、それと同等の知識を有していることが履修条件です。ドイツ語Ⅳとの同時履修も可能です。独検があるので挑戦してください。言語学習に語彙・表現の習得は欠かせません。授業で学ぶものだけでなく、自分でも気になったものをどんどん覚えてください。書籍、テレビ、ラジオ、映画、音楽、ネット上の動画など、教材はたくさんあります。自分に合ったものを探してください。		
	評価 平常点（毎回の授業参加度）15%、試験（課題、定期試験）85%		

学びの継続	次のステージ・関連科目 外国語研究Ⅱ-A、Ⅱ-B（次年度） 関連科目：文学、ヨーロッパ研究
-------	--

※ポリシーとの関連性

留学までの準備及び留学の経験から学んだことを定着させ、社会で活躍するグローバル人材を育成する。

[/ 演習]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅱ-A	前期	水5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	月野 楓子	2年	授業後に受け付けます。	

学びの準備	ねらい この授業では、スペイン語圏への留学を準備している学生及び同地域から帰国した学生、スペイン語の継続学習を希望する学生を対象にしている。スペイン語能力の向上を目指すとともに、スペイン語圏の歴史や文化について学び、世界への理解を深めていく。	メッセージ 留学準備中の学生と帰国後の学生が互いに学び合うことのできる場になるよう、授業や課題への積極的な参加を期待します。
	到達目標 ・スペイン語圏の国、地域について説明ができる。 ・スペイン語で文章を作成し、話すことができる。 ・スペイン語の新聞や雑誌等テキストの読解ができる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	授業についての説明
	2	スペイン語圏について各自の関心を発表	内容をまとめておくこと
	3	映像鑑賞、リスニング、議論①	授業内で指示する
	4	映像鑑賞、リスニング、議論②	議論のテーマを考えてくること
	5	映像鑑賞、リスニング、議論③	議論のテーマを考えてくること
	6	検定試験練習問題①	授業内で指示する
	7	検定試験練習問題②	授業内で指示する
	8	検定試験練習問題③	授業内で指示する
	9	文章の購読①	予習をしてくること
	10	文章の購読②	予習をしてくること
	11	文章の購読③	予習をしてくること
	12	作文演習①	課題の準備をしてくること
	13	作文演習②	課題の準備をしてくること
	14	作文演習③	課題の準備をしてくること
	15	発表会	発表の準備をしておくこと
	16	まとめ	授業内で指示する
	テキスト・参考文献・資料など 適宜資料を配布、参考図書を紹介する。		
	学びの手立て スペイン語圏への関心を持ち授業や課題に取り組むことで、語学の上達とともに世界への理解が深まります。		
	評価 平常点 (50%)、課題 (30%)、発表 (準備を含む) (20%)		

学びの継続	次のステージ・関連科目 検定試験と学内スピーチコンテストに挑戦すること。留学に向けて学習を進めましょう。
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅱ-A	前期	火4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	李 ヒョンジョン	2年	授業後に受け付けます。	

学びの準備	ねらい この授業は、韓国留学(交換および私費留学)を経験した人の語学力保持および更なる上達の場として位置づけられている。	メッセージ 留学は、これまで学んできた韓国語をより極めるためでもあり、異なる社会で日本・沖縄を見つめることによってより自分の視野を広げるためでもあります。留学を通して得た力を用いて、グローバル社会で活躍できる自分を目指しましょう！
	到達目標 ・ニュースや新聞などの時事的な内容はもちろん、アカデミック分野の内容に関しても理解できる。 ・韓国の社会・文化背景に対する内容を全般的に理解し、文章化することができる。 ・韓国と関連するテーマについて4技能(読む・書く・聞く・話す)を十分活かすことができる。 ・韓国語能力試験またはハングル能力検定試験の高級(上級)獲得ができる。	

学びの準備	到達目標 ・ニュースや新聞などの時事的な内容はもちろん、アカデミック分野の内容に関しても理解できる。 ・韓国の社会・文化背景に対する内容を全般的に理解し、文章化することができる。 ・韓国と関連するテーマについて4技能(読む・書く・聞く・話す)を十分活かすことができる。 ・韓国語能力試験またはハングル能力検定試験の高級(上級)獲得ができる。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス、レベルチェック	自己評価
	2	今学期の設定	自己評価
	3	ビジネス韓国語と会話練習①	新語彙・文型チェック
	4	ビジネス韓国語と会話練習②	新語彙・文型チェック
	5	音声録音1回目とフィードバック	フィードバック内容の確認
	6	ビジネス韓国語と会話練習③	新語彙・文型チェック
	7	ビジネス韓国語と会話練習④	新語彙・文型チェック
	8	音声録音2回目とフィードバック	フィードバック内容の確認
	9	中間テスト	テスト内容のチェック
	10	翻訳・通訳の世界①	翻訳・通訳の練習
	11	翻訳・通訳の世界②	翻訳・通訳の練習
	12	翻訳・通訳の世界③	翻訳・通訳の練習
	13	翻訳・通訳の世界④	翻訳・通訳の練習
	14	課題とまとめ①	課題の準備
15	課題とまとめ②	まとめ	
16	期末試験	最終確認	

学びの実践	テキスト・参考文献・資料など ・配布プリントおよびCALL教材を使用するため、別途のテキスト指定は無い。 ・授業で扱ってほしい学習リソースがある場合は全員で共有する。 ・長渡陽一(2009)『韓国語の発音と抑揚トレーニング』アルク ・川越菜穂子(2012)『こだわり韓国語』三修社 ・その他、必要に応じて紹介する。

学びの実践	学びの手立て ・初日は履修に関する相談およびレベルチェックがあるため、必ず出席すること。 ・上級レベルとして、日々の自習に心掛けること。 ・韓国語関連行事の企画に積極的に参加すること。

学びの実践	評価 ・授業での参加度・発言・態度(30%)、課題・中間テスト(30%)、期末試験(40%)の平均により評価する。 ・授業回数の1/3以上欠席の場合は不可とする。

学びの継続	次のステージ・関連科目 ・関連検定試験の合格(上級)を目指しましょう。 ・より韓国に焦点を当てて考察したいと思う人は、共通演習科目「国際理解課題研究」もお勧めです。
-------	--

※ポリシーとの関連性

フランス語を学ぶことは、日本とは異なる文化を受け入れる素地を育むことを通して、国際的な視点を獲得する可能性を高めます。

[/演習]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅱ-A	前期	月2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上江洲 律子	2年	沖国大ポータルのGmailにて質問してください。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	外国語研究Ⅰ-AとⅠ-Bを受講した後、引き続きフランス語の実践的な能力を高め、フランスおよびフランス語圏で学んだり、フランス語で自由にコミュニケーションを行うために必要な力を培うことを目的とします。	フランスへの交換留学から帰国した学生を対象とします。目下、フランスへの交換留学を目指している学生や、継続的なフランス語学習を希望する学生とともに学びながら、留学で培った語学力を維持するだけでなく、さらに高めることを目指しましょう。
到達目標	フランス語における実用的なコミュニケーション能力（「読む」「書く」「聞く」「話す」）を高めることを目標とします。また、フランス語を用いて情報を収集したり、発信したりする力を育むことを目指します。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	課題の実施
	2	音読と読解（1）	課題の実施
	3	聞き取りと作文（1）	課題の実施
	4	音読と読解（2）	課題の実施
	5	聞き取りと作文（2）	課題の実施
	6	音読と読解（3）	課題の実施
	7	聞き取りと作文（3）	課題の実施
8	音読と読解（4）	課題の実施	
9	聞き取りと作文（4）	課題の実施	
10	音読と読解（5）	課題の実施	
11	聞き取りと作文（5）	課題の実施	
12	復習（1）	復習	
13	復習（2）	復習	
14	発音試験	復習	
15	筆記試験	復習	
16	まとめ	復習	
テキスト・参考文献・資料など	<p>テキストは授業内で配付します。 ※ただし、これまでフランス語の授業を受講する際に使用していたテキストを毎回持参してください。 ※参考書や辞書については授業内で紹介します。</p>		
学びの手立て	<p>外国語研究Ⅰ-A～Ⅰ-Bを履修済みであること、あるいは、同等の知識があることが履修条件となります。 実践的なフランス語力を育む機会として、検定試験の受験に挑戦してみましょう。</p>		
評価	<p>到達目標の達成を確認するために、読解と作文による筆記試験（「読む」「書く」力の確認）および音読と聞き取りによる発音試験（「聞く」「話す」力の確認）を実践します。また、自主学習を促進してその努力を評価するために課題を得点化し、前述の2つの試験の結果に加えて総合的に評価します。 ・計算式＝筆記試験の得点（40%）＋発音試験の得点（40%）＋課題の得点（20%） ※ただし、単位修得のためには授業における3分の2以上の出席を義務づけます。</p>		

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この科目の履修後に受講する科目として外国語研究Ⅱ-B（後期）が開講されています。また、フランス語関連の各種検定試験（仏検など）の受験が可能となります。そして、交換留学の後は、フランスの大学あるいは大学院への進学、さらに、フランス語を生かした就職という可能性も広がります。</p>
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅱ-A	前期	月4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	岡野 薫	2年	メール：k.okanoあつとまあくokiu.ac.jp 研究室：5435	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>留学後にドイツ語の実践的な運用能力を高め、ドイツ語圏について学んだり、ドイツ語で会話できる力を身につけます。</p> <p>到達目標 ドイツ語での発信力や情報収集力を高めます。CEFRのA2（独検3級程度）以上を到達目標とします。</p>	<p>ドイツへの交換留学から帰国した学習者を対象とします。ドイツ語に関心のある学習者、これから留学を目指す学習者とともに学びながら、さらに語学力を向上させましょう。コミュニケーションな授業です。そのため、受講者ひとりひとりが参加することではじめて授業が成立します。みなさんが積極的に参加することで、受講者がたがいに成長できる授業にしましょう。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	課題（語彙・表現の学習）
	2	会話と聴きとりの練習（1）	課題（語彙・表現の学習）
	3	読解と作文の練習（1）	課題（語彙・表現の学習）
	4	会話と聴きとりの練習（2）	課題（語彙・表現の学習）
	5	読解と作文の練習（2）	課題（語彙・表現の学習）
	6	会話と聴きとりの練習（3）	課題（語彙・表現の学習）
	7	読解と作文の練習（3）	課題（語彙・表現の学習）
	8	地域研究	地域調査・試験対策
	9	定期試験	試験の復習
	10	地域研究	地域調査
	11	会話と聴きとりの練習（4）	課題（語彙・表現の学習）
	12	読解と作文の練習（4）	課題（語彙・表現の学習）
	13	会話と聴きとりの練習（5）	課題（語彙・表現の学習）
14	読解と作文の練習（5）	課題（語彙・表現の学習）	
15	地域研究	地域調査・試験対策	
16	定期試験	試験の復習	
	テキスト・参考文献・資料など		
	<p>テキスト：指定しません。初回の授業で詳細は説明します。</p> <p>参考文献：ドイツ語ⅠからⅣで使用したテキストや辞書。</p> <p>中島悠爾、平尾浩三、朝倉巧『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』（白水社、2003、ISBN4-560-00492-7）</p> <p>資料：授業時に随時紹介します。</p>		
	学びの手立て		
	<p>外国語研究Ⅰ-AとⅠ-Bを履修済みであること、あるいは、それと同等の知識を有していることが履修条件です。後期には独検があるので挑戦してください。言語学習に語彙・表現の習得は欠かせません。授業で学ぶものだけでなく、自分でも気になったものをどんどん覚えてください。書籍、テレビ、ラジオ、映画、音楽、ネット上の動画など、教材はたくさんあります。自分に合ったものを探してください。</p>		
	評価		
	平常点（毎回の授業参加度，課題提出）30%，試験（小テスト，定期試験）70%		

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>外国語研究Ⅱ-B（後期），ドイツ語圏での就職やドイツ語圏の大学への進学といった可能性もあります。県内外にもさまざまなドイツ関係のコミュニティがあります。「ドイツ」という鍵を手にしたのですから，世界をそれで繋ぎ，解いてください。</p>
-------	---

※ポリシーとの関連性 留学までの準備及び留学の経験から学んだことを定着させ、社会で活躍するグローバル人材を育成する。

[/演習]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅱ-B	後期	水4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	月野 楓子	2年	授業後に受け付けます。	

学びの準備	ねらい この授業では、スペイン語圏への留学を準備している学生及び同地域から帰国した学生、スペイン語の継続学習を希望する学生を対象にしている。スペイン語能力の向上を目指すとともに、スペイン語圏の歴史や文化について学び、世界への理解を深めていく。	メッセージ 留学準備中の学生と帰国後の学生が互いに学び合うことのできる場になるよう、授業や課題への積極的な参加を期待します。
	到達目標 ・スペイン語圏の国、地域について説明ができる。 ・スペイン語圏の歴史や文化について、関心のあることを文章にできる。 ・ニュース、新聞、雑誌等の記事の内容が理解できる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	シラバスを読んでおくこと
	2	スペイン語圏について各自の関心を発表	内容をまとめておくこと
	3	発表課題の決定	テーマ及び構成を考えてくること
	4	映像鑑賞、リスニング、議論①	授業内で指示する
	5	映像鑑賞、リスニング、議論②	授業内で指示する
	6	映像鑑賞、リスニング、議論③	授業内で指示する
	7	文章の購読①	テキストの予習をすること
	8	文章の購読②	テキストの予習をすること
9	文章の購読③	テキストの予習をすること	
10	検定試験練習問題①	授業内で指示する	
11	検定試験練習問題②	授業内で指示する	
12	作文演習①	課題の準備をしてくること	
13	作文演習②	課題の準備をしてくること	
14	作文演習③	課題の準備をしてくること	
15	発表会	発表のための用意をしてくること	
16	まとめ	まとめ	
実践	テキスト・参考文献・資料など 適宜資料を配布、参考図書を紹介する。 辞書は必ず用意すること。		
	学びの手立て スペイン語圏への関心を持ち授業や課題に取り組むことで、語学の上達とともに世界への理解が深まります。		
	評価 平常点 (50%)、課題 (30%)、発表 (準備を含む) (20%)		

学びの継続	次のステージ・関連科目 検定試験と学内スピーチコンテストに挑戦すること。
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅱ－B	後期	木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	兼本 敏	2年	講義時間内、アボはkanemoto@oki.u.ac.jp	

学びの準備	ねらい ウェブや辞書などあらゆる手段を活用して情報を収集し、日本との違いや共通点を理解できるようにしたい。また自分の意思を伝えたり相手の発話を理解できるように語学力を磨く。	メッセージ ある程度の中国語力を有するのが前提です。このクラスでは正確な意味の理解、適切な表現を目指します。中国語の歌、映画、小説、漫画・・・どっぷり浸かってください。また授業は履修者の習得度によりグループ分けして進めます。なお、本科目は中国語圏の留学経験者、或いは、中国語Ⅳを履修済みで語学力の維持を目的とする学生を対象とする。
	到達目標 表現力を培う目的で短編小説、童話、漫画等を教材に、翻訳とナレーションを課題とします。中国語検定3級以上を目標に設定した講義です。語彙力と表現力を強化します。中国語での会話力を高めるため毎回トピックを提示して数分間の会話をします。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	PC機器の使い方および注意事項
	2	習得度テスト	弱点の把握と課題の発見
	3	課題文①の提示：朗読と質疑応答（中国語）	課題文（中国語）を理解
	4	関連項目の検索と資料作成	課題文（中国語）を理解
	5	課題②の提示：朗読と質疑応答（中国語）	課題文（中国語）を理解
	6	関連項目の検索と資料作成	課題文（中国語）を理解
	7	第1回 まとめテスト	課題分①②の理解度テスト
	8	プレゼン原稿の選択	プレゼンの決定
	9	プレゼン原稿の作成	プレゼン作成
	10	プレゼン原稿の作成	プレゼン作成
	11	プレゼンの実施 質疑応答（学内スピーチコンテスト用）	プレゼン作成
	12	プレゼンの実施 質疑応答（学内スピーチコンテスト用）	プレゼン実施
	13	プレゼンの実施 質疑応答（学内スピーチコンテスト用）	プレゼン実施
	14	総括 質疑応答	理解と修正
	15	第2回 まとめテスト	プレゼン内容のチェックと理解
	16	評価と総括	今後の課題発見
	テキスト・参考文献・資料など 特に指定はしませんが辞書は必須です。トピックおよび翻訳する作品は事前に提示しみんなで決定します。		
	学びの手立て 日頃から中国語の発話機会を積極的に探す。中国語版DVDを鑑賞したりカラオケなどで中国語の歌詞と日本語の歌詞で歌うなど中国語の世界に触れるようにする。		
	評価 課題①②で各10%、プレゼン40%、第1回テスト20%、第2回テスト20% 但し、学則が定める出席率を満たさない場合は評価対象とならない。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 検定試験や通訳試験に挑戦、学内外の中国語スピーチコンテストへの参加、積極的に中国語を使いましょう。
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅱ-B	後期	火5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	李 ヒョンジョン	2年	授業後に受け付けます。	

学びの準備	ねらい この授業は、韓国留学(交換および私費留学)を経験した人の語学力保持および更なる上達のため、そして留学予定の後輩たちへの事前指導の場として位置づけられている。	メッセージ 留学は、これまで学んできた韓国語をより極めるためでもあり、異なる社会で日本・沖縄を見つめることによってより自分の視野を広げるためでもあります。留学を通して得た力を用いて、グローバル社会で活躍できる自分を目指しましょう！
	到達目標 ・ニュースや新聞などの時事的な内容はもちろん、アカデミック分野の内容についても理解できる。 ・韓国の社会・文化背景に対する内容を全般的に理解し、文章化することができる。 ・韓国と関連するテーマについて4技能(読む・書く・聞く・話す)を十分活かすことができる。 ・韓国語能力試験またはハングル能力検定試験の高級(上級)獲得ができる。	

学びの準備	到達目標 ・ニュースや新聞などの時事的な内容はもちろん、アカデミック分野の内容についても理解できる。 ・韓国の社会・文化背景に対する内容を全般的に理解し、文章化することができる。 ・韓国と関連するテーマについて4技能(読む・書く・聞く・話す)を十分活かすことができる。 ・韓国語能力試験またはハングル能力検定試験の高級(上級)獲得ができる。
-------	--

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス、レベルチェック	自己評価
	2	今学期の設定	自己評価
	3	ニュース①	新語彙・文型チェック
	4	音声トレーニングと録音①	新語彙・文型チェック
	5	フィードバック	音声練習
	6	ニュース②	新語彙・文型チェック
	7	音声トレーニングと録音②	新語彙・文型チェック
	8	フィードバック	音声練習
	9	中間テスト	論述練習
	10	ニュース③	新語彙・文型チェック
	11	音声トレーニングと録音③	新語彙・文型チェック
	12	フィードバック	音声練習
	13	グループ発表の準備①	グループ作業の担当部分準備
	14	グループ発表の準備②	グループ作業の担当部分準備
	15	グループ発表の準備③	グループ発表の最終チェック
16	グループ発表による期末テストとまとめ	最終確認	

学びの実践	テキスト・参考文献・資料など ・主に配布プリントを使用するため、別途のテキスト指定は無い。 ・授業で扱ってほしい学習リソースがある場合は全員で共有する。 ・長渡陽一(2009)『韓国語の発音と抑揚トレーニング』アルク ・川越菜穂子(2012)『こだわり韓国語』三修社 ・その他、必要に応じて紹介する。
-------	---

学びの実践	学びの手立て ・初日は履修に関する相談およびレベルチェックがあるため、必ず出席すること。 ・上級レベルとして、日々の自習に心掛けること。 ・韓国語関連行事の企画に積極的に参加すること。 ・留学予定の後輩たちへの支援・指導にも力を入れること。
-------	--

学びの実践	評価 ・授業での参加度・発言・態度(30%)、課題・中間テスト(40%)、期末試験(30%)の平均により評価する。 ・授業回数の1/3以上欠席の場合は不可となる。
-------	---

学びの継続	次のステージ・関連科目 ・関連検定試験の合格(上級)を目指しましょう。 ・より韓国に焦点を当てて考察したいと思う人は、共通演習科目「国際理解課題研究」もお勧めです。
-------	--

※ポリシーとの関連性

フランス語を学ぶことは、日本とは異なる文化を受け入れる素地を育むことを通して、国際的な視点を獲得する可能性を高めます。

[/演習]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅱ-B	後期	月2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上江洲 律子	2年	沖国大ポータルのGmailにて質問してください。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	外国語研究Ⅱ-Aから引き続き、フランス語の実践的な能力を高め、フランスおよびフランス語圏で学んだり、フランス語で自由にコミュニケーションを行ったりするために必要な力を培うことを目的とします。	フランスへの交換留学から帰国した学生を対象とします。目下、フランスへの交換留学を目指している学生や、継続的なフランス語学習を希望する学生とともに学びながら、留学で培った語学力を維持するだけでなく、さらに高めることを目指しましょう。
到達目標	フランス語における実用的なコミュニケーション能力（「読む」「書く」「聞く」「話す」）を高めることを目標とします。また、フランス語を用いて情報を収集したり、発信したりする力を育むことを目指します。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	課題の実施
	2	フランス語のニュース動画の聞き取り、ニュース記事の音読と読解（1）	課題の実施
	3	フランス語のニュース動画の聞き取り、ニュース記事の音読と読解（2）	課題の実施
	4	フランス語のニュース動画の聞き取り、ニュース記事の音読と読解（3）	課題の実施
	5	フランス語のニュース動画の聞き取り、ニュース記事の音読と読解（4）	課題の実施
	6	フランス語のニュース動画の聞き取り、ニュース記事の音読と読解（5）	課題の実施
	7	フランス語のニュース動画の聞き取り、ニュース記事の音読と読解（6）	課題の実施
	8	フランス語のニュース動画の聞き取り、ニュース記事の音読と読解（7）	課題の実施
	9	フランス語のニュース動画の聞き取り、ニュース記事の音読と読解（8）	課題の実施
	10	フランス語のニュース動画の聞き取り、ニュース記事の音読と読解（9）	課題の実施
	11	フランス語のニュース動画の聞き取り、ニュース記事の音読と読解（10）	課題の実施
	12	フランスについての発表（1）ガイダンス	発表の準備
	13	フランスについての発表（2）準備	発表の準備
14	フランスについての発表（3）発表①	復習	
15	フランスについての発表（4）発表②	復習	
16	まとめ	復習	
実践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキストは授業内で配付します。 ※ただし、これまでフランス語の授業を受講する際に使用していたテキストを毎回持参してください。 ※参考書や辞書については授業内で紹介します。</p>		
学びの手立て	<p>外国語研究Ⅱ-Aを履修済みであること、あるいは、同等の知識があることが履修条件となります。 実践的なフランス語力を育む機会として検定試験の受験に挑戦してみましょう。</p>		
評価	<p>到達目標の達成を確認するために（「読む」「書く」「聞く」「話す」力を総合的に評価するために）、フランス語による「フランスについての発表」を実施します。また、課題も評価に加味します。 ・計算式＝発表の評価（60%）＋課題の評価（40%） ※ただし、単位修得のためには授業における3分の2以上の出席を義務づけます。</p>		

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>この科目の履修後、フランス語関連の各種検定試験（仏検など）の受験が可能となります。また、交換留学の後には、フランスの大学あるいは大学院への進学、さらに、フランス語を生かした就職という可能性も広がります。</p>
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅱ-B	後期	水5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	岡野 薫	2年	メール：k.okanoあつとまあくokiu.ac.jp 研究室：5435	

学びの準備	ねらい 留学後にドイツ語の実践的な運用能力を高め、ドイツ語圏について学んだり、ドイツ語で会話できる力を身につけます。	メッセージ ドイツへの交換留学から帰国した学習者を対象とします。ドイツ語に関心のある学習者、これから留学を目指す学習者とともに学びながら、さらに語学力を向上させましょう。コミュニカティブな授業です。そのため、受講者ひとりひとりが参加することではじめて授業が成立します。みなさんが積極的に参加することで、受講者がたがいに成長できる授業にしましょう。
	到達目標 ドイツ語での発信力や情報収集力を高めます。CEFRのA2（独検3級程度）以上を到達目標とします。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	課題（語彙・表現の学習）
	2	会話と聴きとりの練習（1）	課題（語彙・表現の学習）
	3	読解と作文の練習（1）	課題（語彙・表現の学習）
	4	会話と聴きとりの練習（2）	課題（語彙・表現の学習）
	5	読解と作文の練習（2）	課題（語彙・表現の学習）
	6	会話と聴きとりの練習（3）	課題（語彙・表現の学習）
	7	読解と作文の練習（3）	課題（語彙・表現の学習）
	8	地域研究	地域調査・課題
9	地域研究	地域調査・課題	
10	地域研究	地域調査・課題	
11	会話と聴きとりの練習（4）	課題（語彙・表現の学習）	
12	読解と作文の練習（4）	課題（語彙・表現の学習）	
13	会話と聴きとりの練習（5）	課題（語彙・表現の学習）	
14	読解と作文の練習（5）	地域調査	
15	地域研究	地域調査・試験対策	
16	定期試験	試験の復習	
	テキスト・参考文献・資料など 指定しません。初回の授業で詳細は説明します。 参考文献：ドイツ語ⅠからⅣで使用したテキストや辞書。 中島悠爾、平尾浩三、朝倉巧『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』（白水社、2003、ISBN4-560-00492-7） 資料：授業時に随時紹介します。		
	学びの手立て 外国語研究Ⅰ-AとⅠ-Bを履修済みであること、あるいは、それと同等の知識を有していることが履修条件です。独検があるので挑戦してください。言語学習に語彙・表現の習得は欠かせません。授業で学ぶものだけでなく、自分でも気になったものをどんどん覚えてください。書籍、テレビ、ラジオ、映画、音楽、ネット上の動画など、教材はたくさんあります。自分に合ったものを探してください。		
	評価 平常点（毎回の授業参加度）15%，試験（課題，定期試験）85%		

学びの継続	次のステージ・関連科目 ドイツ語圏での就職や大学への進学の可能性もあります。県内外にもさまざまなドイツ関係のコミュニティがあります。「ドイツ」という鍵を手にしたのですから、世界をそれで繋ぎ、解いてください。
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-小波津 フェルナンド [法律・地行]	1年	質問や相談など授業終了後に回答します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語を話す国々は21ヶ国、そして、スペイン語を話す人口は5億8千万人です。この講義では、スペイン語の基礎を学び、役に立つ会話を習得し、自己紹介などが出来るようになることを目的とします。また、スペイン語は広い領域で話されているため世界の視野が広がります。教科書とDVDを使用して、スペインとラテンアメリカの社会や文化に関する話題も豊富に取り上げます！</p>	<p>外国語に興味を持たせて、自分は外国語をマスター出来る！そのヒントを与えてくれる科目にしたい！！ スペイン語圏はこんなに面白くて、こんなに日本と違うなと思わせる授業です。但し、せっかく学ぶのであれば、挨拶程度のレベルでは満足しないで下さい。 自らの積極性はとても大切にする授業です！</p>
到達目標	① スペイン語の基礎を学ぶことによってスペイン語の特徴に近い言語（ポルトガル語・イタリア語・フランス語）の特徴も同時に理解するようになる。コミュニケーション・スキルを磨く。	
	② 授業を通して国際社会・異文化の理解を深める。自分の住んでいる地域との違いについて話が出来る。 ③ 外国語が話せますと言えるように目標にします。コミュニケーション能力って何？この授業を通して外国語がどれぐらい話せたら“話せる”という事について議論出来ます。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	スペイン語の世界： 教室で使う挨拶、話す国々、使用状況	スペイン語圏について調べる
	2	スペイン語の特徴： アルファベット	音声を聞いて発音の特徴になれる
	3	母音・子音とその発音	音声を聞いて発音の特徴になれる
	4	注意に必要な綴りと発音	習った単語を発音してみる
	5	アクセント・疑問文と否定文	発音の練習をする
	6	名詞の性と数 (amigo, amiga, amigos, amigas)	スペイン語の単語を調べてみる
	7	冠詞：定冠詞、不定冠詞	練習問題に取り込む
	8	HAYの用法：不特定な人や物が存在しているかどうかを表す	文章を書いてみる
	9	数字。第1課と第2課の復習	練習問題に取り込む
	10	主語人称代名詞	自己紹介、他人の紹介する
	11	動詞SERの直説法現在（出身地、主語の特徴、職業を言う）	練習問題に取り込む
	12	冠詞と形容詞のはたらき	名詞に冠詞と形容詞を付けてみる
	13	名詞と形容詞の関連性	練習問題に取り込む
	14	動詞ESTARの直説法現在：主語の居場所を表す、主語の一時的な状態	文章を書いてみる
	15	SER動詞、ESTAR動詞とHAY動詞の使い分け	練習問題に取り込む
	16	中間試験	復習する
	17	不定語と否定語：alguno (something), ninguno (nothing)	文章を書いてみる
	18	動詞の直説法現在形（規則活用）：-ar動詞	動詞の活用の復習・練習します
	19	動詞の直説法現在形（規則活用）：-er動詞	動詞の活用の復習・練習します
	20	動詞の直説法現在形（規則活用）：-ir動詞	動詞の活用の復習・練習します
	21	前置詞 (a, con, de, en)	前置詞を活かす
	22	所有形容詞 (mi, tu)	所有形容詞を活かす
	23	時間の表し方：Que hora es? 数字をさらに学ぶ	数字の復習、時間を書いてみる
	24	感嘆文	文章を書いてみる
	25	天候表現	文章を書いてみる
	26	目的格人称代名詞	練習問題に取り込む
	27	GUSTAR型動詞	好きな物、場所などについて書く
	28	ENCANTAR、INTERESAR、DOLER動詞の活用	練習問題に取り込む
	29	比較級、最上級、不定詞を用いた命令	文章を書いてみる
30	スペイン語Iの復習とまとめ	理解を深める、質問を準備する	
31	期末試験	復習する	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：朝日出版社 「ディエゴと日本再発見 - 初級スペイン語 - 新版」 ISBN978-4-255-55110-4 C1087 Y2 300E) (スペイン語名：BIENVENIDOS A JAPON! Nueva edicion)</p> <p>参考文献：辞書一冊：電子辞書 か『スペイン語ミニ辞典』（白水社）』 又は『現代スペイン語辞典』（白水社）』 又は 『西和中辞典』（小学館）』</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>① 「履修の心構え」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極性を見せる（質問します）・居眠りはしない（注意されます）・遅刻はしない・欠席しない <p>② 「学びを深めるために」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義の事前に予習ならびに終了後の復習を十分行うこと。 ・発音になれるため、テキストについている音声をきくこと。
学 び の 継 続	<p>評価</p> <p>中間試験50%、期末試験50%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>スペイン語IIが履修できます。スペイン語Iの知識は固定しますと外国語学習の上達が見えてきます。本校ではスペイン語技能検定試験講座あるため学生が文部科学省後援の資格の取れる環境に恵まれています。試験は1年に2回です。さらに、本校はスペインのレオン大学と国外協定校になっているため交換留学・派遣留学（1年）が可能です。希望者は休学することなく、海外の協定校で1年間学べることはこの科目の特徴の一つです。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	月野 楓子 [日文・社文]	1年	授業後に受け付けます。	

学びの準備	ねらい スペイン語の入門クラスです。基礎から学んで新しい言語に触れる楽しさを味わいましょう。	メッセージ スペイン語話者は世界に4億人以上いるといわれます。スペイン語圏の国や地域への関心を持って学ぶことで、言葉だけでなくより広い世界が見えてくることでしょう。授業や課題への積極的な参加を期待します。
	到達目標 ・スペイン語の基礎的な文法が理解できる。 ・スペイン語で簡単な会話ができる、簡単な文章を読むことができる。 ・スペイン語圏の歴史や文化について関心を持つ。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	シラバスを読んでおくこと
	2	スペイン語の世界を知る	スペイン語を話す国々について
	3	アルファベット、発音、アクセント	予習・復習をすること
	4	挨拶、名詞の性と数	予習・復習をすること
	5	冠詞、数字	予習・復習をすること
	6	小テスト①	テストの準備をしておくこと
	7	HAYの使い方	予習・復習をすること
	8	主格人称代名詞	予習・復習をすること
	9	ser動詞	予習・復習をすること
	10	小テスト②	テストの準備をしておくこと
	11	estar動詞	予習・復習をすること
	12	形容詞	予習・復習をすること
	13	感嘆文	予習・復習をすること
	14	ser, estra, hay	予習・復習をすること
	15	-ar動詞	予習・復習をすること
	16	-er動詞	予習・復習をすること
	17	-ir動詞	予習・復習をすること
	18	小テスト③	テストの準備をしておくこと
	19	数字、日付	予習・復習をすること
	20	所有詞、語根母音変化動詞	予習・復習をすること
	21	前置詞、疑問詞	予習・復習をすること
	22	指示詞、序数詞	予習・復習をすること
	23	小テスト④	テストの準備をしておくこと
	24	天候の表現	予習・復習をすること
	25	目的格人称代名詞	予習・復習をすること
	26	買い物をする	予習・復習をすること
	27	不定語、否定語	予習・復習をすること
	28	小テスト⑤	テストの準備をしておくこと
	29	復習①	授業内で指示する
30	復習②	授業内で指示する	
31	期末試験	テストの準備をしておくこと	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト 尚真貴子 / 福地恭子 / 小波津フェルナンド / 又吉パトリシア / 上地リリア 『Bienvenidos a Japon ディエゴと日本再発見』 朝日出版 ・辞書 初回に指示しますが、辞書は必要です。電子辞書でも構いません。
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>授業への積極的な参加を期待します。 遅刻、欠席、課題の未提出等は減点対象です。</p>
	<p>評価</p> <p>平常点 (30%)、小テスト・課題 (50%)、期末テスト (20%)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>スペイン語Ⅱ</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語 I	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上地 リリア [全学]	全学年	ptt139@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語は、世界で5億人の人が話されていると言われます。このスペイン語の基礎を、アルファベットの発音からはじめ、現在形動詞活用を学びながら、スペイン語で自己紹介と簡単な会話ができるようになります。</p>	<p>半年かけてスペイン語の規則活用動詞の現在形の活用を学びます。口頭での受け答え練習や、時には、英語との比較対照を通して、スペイン語の文法的特徴に慣れていきましょう。スペイン、ラテンアメリカの社会や文化に関する話題も取り上げます。</p>
到達目標	<p>(1) スペイン語の簡単な文を作ることができるようになります。 (2) スペイン語の文法的特徴に慣れるようになります。 (3) スペイン語圏の社会や文化に関する話題を理解できるようになります。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	スペイン語の紹介 (1) 言語の特徴	シラバスをよく読むこと
	2	スペイン語の紹介 (2) スペイン語圏の国々の文化紹介	授業の復習
	3	アルファベット	授業の復習
	4	第1課 発音練習	授業の復習
	5	アクセントの位置	授業の復習
	6	アクセントの練習	授業の復習
	7	第2課 名詞の性と数	練習問題の復習
	8	冠詞 (1) (定冠詞)・数字 (1~15)	練習問題の宿題
	9	冠詞 (2) (不定冠詞)	練習問題の宿題
	10	第3課 人称代名詞	授業の復習
	11	ser 動詞の活用 (1) 応用	練習問題の宿題
	12	ser 動詞の活用 (2) 実践	授業の復習
	13	形容詞の生と数 (1) 応用	練習問題の宿題
	14	形容詞の生と数 (2) 練習	授業の復習
	15	疑問文・会話練習	練習問題の復習
	16	estar 動詞の活用 (1) 応用	練習問題の宿題
	17	estar 動詞の活用 (2) 実践	授業の復習
	18	ser / estar 動詞の用法・実践	授業の復習
	19	hay 動詞の使い方	練習問題の宿題
	20	1課～4課の復習・会話練習	テストの勉強
	21	第1回小テスト	テストの見直し
	22	第5 課直説法現在形 -ar 動詞の活用・実践	練習問題の宿題
	23	直説法現在形 -er 動詞の活用・実践	練習問題の宿題
	24	直説法現在形 -ir 動詞の活用・実践	練習問題の宿題
	25	第5課の復習	テストの勉強
	26	第2回小テスト	テストの見直し
	27	所有形容詞 応用・実践	練習問題の宿題
	28	前置詞・自己紹介の練習	授業の復習
	29	会話練習	授業の復習
30	スペイン語 I の総復習	テストの勉強	
31	期末テスト・まとめ	テストの見直し	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『Bienvenidos a Japon』 Makiko Sho, K. Fukuchi, F. Kohatsu, P. Matayoshi, L. Uechi 著 (朝日出版社) 授業の進行状況によって作成したプリントを使用する。</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>必ず復習してから授業に出席する。 積極的に質問をし、授業中に解決すること。 言葉を学ぶためには失敗はかせません。 言語は失敗あつての上達。ミスを気にしないで一緒に頑張りましょう！</p>
	<p>評価</p> <p>小テスト 2回 x 30点 = 60点、宿題提出、発表=10点、期末試験=30点、合計100点。 欠席、遅刻は減点の対象になります。 授業を8回以上欠席した学生には、単位を与えない。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>スペイン語 I を受講した学生はスペイン語 II を取る際には同じ講師を選択してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上地 リリア [人福]	1年	ptt139@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語は、世界で5億人の人が話されていると言われます。このスペイン語の基礎を、アルファベットの発音からはじめ、現在形動詞活用を学びながら、スペイン語で自己紹介と簡単な会話ができるようになります。</p>	<p>半年かけてスペイン語の規則活用動詞の現在形の活用を学びます。口頭での受け答え練習や、時には、英語との比較対象を通して、スペイン語の文法的特徴に慣れていきましょう。スペイン、ラテンアメリカの社会や文化に関する話題を理解できるようになります。</p>
到達目標	<p>(1) スペイン語の簡単な文を作ることができるようになります。 (2) スペイン語の文法的特徴に慣れるようになります。 (3) スペイン語圏の社会や文化に関する話題を理解できるようになります。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	スペイン語の紹介 (1) 言語の特徴	シラバスをよく読むこと
	2	スペイン語の紹介 (2) スペイン語圏の国々の文化紹介	授業の復習
	3	アルファベット	授業の復習
	4	第1課 発音練習	授業の復習
	5	アクセントの位置	授業の復習
	6	アクセントの練習	練習問題の宿題
	7	第2課 名詞の性と数	練習問題の復習
	8	冠詞 (定冠詞)・数字 (1~15)	練習問題の宿題
	9	冠詞 (不定冠詞)	練習問題の宿題
	10	第3課 人称代名詞	授業の復習
	11	ser 動詞の活用 (1) 応用	練習問題の宿題
	12	ser 動詞の活用 (2) 実践	授業の復習
	13	形容詞の生と数 (1) 応用	練習問題の宿題
	14	形容詞の生と数 (2) 練習	練習問題の宿題
	15	疑問文・会話練習	練習問題の復習
	16	estar 動詞の活用 (1) 応用	練習問題の宿題
	17	estar 動詞の活用 (2) 実践	練習問題の復習
	18	ser / estar 動詞の用法・実践	授業の復習
	19	hay 動詞の使い方	練習問題の宿題
	20	1課~4課の復習・会話練習	テストの勉強
	21	第1回小テスト	テストの見直し
	22	第5 課直説法現在形 -ar 動詞の活用・実践	練習問題の宿題
	23	直説法現在形 -er 動詞の活用・実践	練習問題の宿題
	24	直説法現在形 -ir 動詞の活用・実践	練習問題の宿題
	25	第5課の復習	テストの勉強
	26	第2回小テスト	テストの見直し
	27	所有形容詞 応用・実践	練習問題の宿題
	28	前置詞・自己紹介の練習	授業の復習
	29	会話練習	授業の復習
30	スペイン語 I の総復習	テストの勉強	
31	期末テスト・まとめ	テストの見直し	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『Bienvenidos a Japon』 Makiko Sho, F. Kohatsu, P. Matayoshi, L. Uechi 著 (朝日出版社) 授業の進行状況によって作成したプリントを使用する。</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>必ず復習してから授業に出席する。 積極的に質問をし、授業中に解決すること。 言葉を学ぶためには失敗はかせません。 言語は失敗あつての上達。ミスを気にしないで一緒に頑張りましょう！</p>
	<p>評価</p> <p>小テスト 2回 x 30点 = 60点、宿題提出、発表=10点、期末試験=30点、合計100点。 欠席、遅刻は減点の対象になります。 授業を8回以上欠席した学生には、単位を与えない。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>スペイン語 I を受講した学生はスペイン語 II には同じ講師を選択してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-又吉 パトリシア[全学]	2年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>初めてスペイン語を学ぶ学生のための入門クラスです。講義ではテキストとともに副教材として歌や映像などを使ってスペイン語の基礎文法を学ぶだけではなく、スペイン語圏の国々の社会、文化、人々などに興味を持つことを目的とする。さらなるスペイン語圏の出身の留学生や一般の方々とコミュニケーションができることも目指す。</p> <p>到達目標</p> <p>① スペイン語検定6級程度のスペイン語を理解することができる。 ② スペイン語の基礎文法を学び、自己紹介や簡単な会話などができるようになる。 ③ スペイン語圏の国々の文化、習慣などに関心を持つ。</p>	<p>ミスに恐れず、積極的な授業への参加が望まれます。言葉を学ぶためには4技能(話す、書く、読む、聞く)が欠かせません。毎回予習復習をし、語彙や文法をしっかり覚えればスペイン語の学習がより楽しくなります。更にスペイン語は沖縄県では多くの移民を中南米へ送り出したという歴史的な理由から、今日でも経的・文化的な交流が活発です。きっと身近に感じられるでしょう。Animo!</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス・スペイン語の世界及びスペイン語圏の国々の紹介	シラバスをよく読むこと
	2	スペイン語の特徴(アルファベット、発音、アクセント)	音読、意味調べ、練習問題
	3	あいさつ、名詞の性と数、発音の復習	音読、意味調べ、練習問題
	4	冠詞(定冠詞と不定冠詞)	音読、意味調べ、練習問題
	5	HAY動詞、数字0~10 Introducción、第1課と第2課の復習	p. 2~13の復習
	6	第1回テスト: Introducción、第1課と第2課	テスト勉強
	7	主語人称代名詞、SER動詞の直接法現在形の活用	音読、意味調べ、練習問題
	8	SER動詞+名詞 (職業・国籍)	音読、意味調べ、練習問題
	9	形容詞、感嘆文、自己紹介	音読、意味調べ、練習問題
	10	ESTAR動詞、場所を示す単語	音読、意味調べ、練習問題
	11	SER動詞、ESTAR動詞とHAY動詞の使い分け 第3課と第4課の復習	p. 12~21の復習
	12	第2回テスト: 第3課と第4課	テスト勉強
	13	-ar動詞の直説法現在形の活用、前置詞	音読、意味調べ、練習問題
	14	-erと-ir動詞の直説法現在形の活用、疑問詞	音読、意味調べ、練習問題
	15	規則動詞の直説法現在形の活用の復習、数字11~100	動詞の活用と語彙の復習
	16	所有形容詞、家族に関する語彙 (課題: 自己紹介と家族について作文を書く)	音読、意味調べ、練習問題
	17	第5課の復習	p. 22~25の復習
	18	第3回テスト: 第5課	テスト勉強
	19	数字の復習、日付と時刻表現	音読、意味調べ、練習問題
	20	日常生活について会話練習 (動詞の直説法現在形の活用、日付と時刻の復習)	第1回~20回までの復習
	21	値段を尋ねる、数字100~	音読、意味調べ、練習問題
	22	天気表現	音読、意味調べ、練習問題
	23	第6課の復習	p. 26~29の復習
	24	第4回テスト: 第6課	テスト勉強
	25	間接目的格人称代名詞、GUSTAR動詞の活用	音読、意味調べ、練習問題
	26	ENCANTAR、INTERESAR、DOLER動詞の活用 体の部分	音読、意味調べ、練習問題
	27	GUSTAR型動詞 + 比較級	音読、意味調べ、練習問題
	28	口頭テストのための準備 (第1課~第7課の復習とまとめ)	第1課~7課の重要な表現の復習
	29	第7課の復習	p. 30~33の復習
30	第5回テスト: 第7課	前期の学習をふりかえる	
31	課口頭テスト・まとめ	前期のまとめ	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『Bienvenidos a Japon!』-Nueva edicion- ディエゴと日本再発見!-初級スペイン語-新版 著者：尚 真貴子、福地 恭子、小波津 フェルナンド、又吉 パトリシア、上地 リリア（朝日出版社） 定価：2,300円 + 税 「スペイン語ミニ辞典」宮城・宮本編 白水社¥2,800/「西和中辞典」桑名一博、他編 小学科¥5,800/「和西辞典」有本、宮城、他 白水社¥4,500/「現代スペイン語辞典」宮城、山田、他 白水社¥4,000 ※スペイン語電子辞書も使用可</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>① 学科指定と年次を確認してからこのクラスに登録すること。初回に必ず出席すること。 ② 講義中に積極性をアピールする。またペアーやグループワークなどで練習のきにクラスメートと協力し、積極的に取り組むこと。 ③ 課題、レポートなどをまじめに取り組み、期限内に提出すること。 ④ 居眠り、遅刻はしないこと。欠席する場合必ず欠席届を提出すること。 ⑤ 講義時間外にもテキストの音声聞き、語彙、表現、動詞の活用をよく予習・練習すること。 ⑥ その他は最初の講義で説明する。</p>
	<p>評価</p> <p>① QUIZと筆記テスト 60% ② 口頭テスト 10% ③ 宿題及び課題の提出 20% ④ 平常点 10% 注意：授業総時間数の1/3(10回)以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻は減点とする。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>① スペイン語 I、IIを終了した方には中級レベルのスペイン語III（前期）とスペイン語IV（後期）の履修がお勧めです。 ② 毎年6月と10月に実施されるスペイン語技能検定6級また5級に挑戦する。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-又吉 パトリシア [経済・地環・企シ・産情]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>初めてスペイン語を学ぶ学生のための入門クラスです。講義ではテキストとともに副教材として歌や映像などを使ってスペイン語の基礎文法を学ぶだけではなく、スペイン語圏の国々の社会、文化、人々などに興味を持つことを目的とする。さらなるスペイン語圏の出身の留学生や一般の方々とコミュニケーションができることも目指す。</p> <p>到達目標</p> <p>① スペイン語検定6級程度のスペイン語を理解することができる。 ② スペイン語の基礎文法を学び、自己紹介や簡単な会話などができるようになる。 ③ スペイン語圏の国々の文化、習慣などに関心を持つ。</p>	<p>ミスに恐れず、積極的な授業への参加が望まれます。言葉を学ぶためには4技能(話す、書く、読む、聞く)が欠かせません。毎回予習と復習をし、語彙や文法をしっかり覚えればスペイン語の学習がより楽しくなります。更にスペイン語は沖縄県では多くの移民を中南米へ送り出したという歴史的な理由から、今日でも経的・文化的な交流が活発です。きっと身近に感じられるでしょう。Animo!</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス・スペイン語の世界及びスペイン語圏の国々の紹介	シラバスをよく読むこと
	2	スペイン語の特徴(アルファベット、発音、アクセント)	音読、意味調べ、練習問題
	3	あいさつ、名詞の性と数、発音の復習	音読、意味調べ、練習問題
	4	冠詞(定冠詞と不定冠詞)	音読、意味調べ、練習問題
	5	HAY動詞、数字0～10 Introducción、第1課と第2課の復習	p. 2～13の復習
	6	第1回テスト：Introducción、第1課と第2課	テスト勉強
	7	主語人称代名詞、SER動詞の直説法現在形の活用	音読、意味調べ、練習問題
	8	SER動詞+名詞 (職業・国籍)	音読、意味調べ、練習問題
	9	形容詞、感嘆文、自己紹介	音読、意味調べ、練習問題
	10	ESTAR動詞、場所を示す単語	音読、意味調べ、練習問題
	11	SER動詞、ESTAR動詞とHAY動詞の使い分け 第3課と第4課の復習	p. 12～21の復習
	12	第2回テスト：第3課と第4課	テスト勉強
	13	-ar動詞の直説法現在形の活用、前置詞	音読、意味調べ、練習問題
	14	-erと-ir動詞の直説法現在形の活用、疑問詞	音読、意味調べ、練習問題
	15	規則動詞の直説法現在形の活用の復習、数字11～100	動詞の活用と語彙の復習
	16	所有形容詞、家族に関する語彙 (課題：自己紹介と家族について作文を書く)	音読、意味調べ、練習問題
	17	第5課の復習	p. 22～25の復習
	18	第3回テスト：第5課	テスト勉強
	19	数字の復習、日付と時刻表現	音読、意味調べ、練習問題
	20	日常生活について会話練習 (動詞の直説法現在形の活用、日付と時刻の復習)	第1回～20回までの復習
	21	値段を尋ねる、数字100～	音読、意味調べ、練習問題
	22	天気表現	音読、意味調べ、練習問題
	23	第6課の復習	p. 26～29の復習
	24	第4回テスト：第6課	テスト勉強
	25	間接目的格人称代名詞、GUSTAR動詞の活用	音読、意味調べ、練習問題
	26	ENCANTAR、INTERESAR、DOLER動詞の活用 体の部分	音読、意味調べ、練習問題
	27	GUSTAR型動詞 + 比較級	音読、意味調べ、練習問題
	28	口頭テストのための準備 (第1課～第7課の復習とまとめ)	第1課～7課の重要な表現の復習
	29	第7課の復習	p. 30～33の復習
30	第5回テスト：第7課	テスト勉強	
31	課口頭テスト・まとめ	前期の学習をまとめる	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『Bienvenidos a Japon!』-Nueva edicion- ディエゴと日本再発見!-初級スペイン語-新版 著者：尚 真貴子、福地 恭子、小波津 フェルナンド、又吉 パトリシア、上地 リリア（朝日出版社） 定価：2,300円 + 税 「スペイン語ミニ辞典」宮城・宮本編 白水社¥2,800/「西和中辞典」桑名一博、他編 小学科¥5,800/「和西辞典」有本、宮城、他 白水社¥4,500/「現代スペイン語辞典」宮城、山田、他 白水社¥4,000 ※スペイン語電子辞書も使用可</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>① 学科指定と年次を確認してからこのクラスに登録すること。初回に必ず出席すること。 ② 講義中に積極性をアピールする。またペアーやグループワークなどで練習のときにクラスメートと協力し、積極的に取り組むこと。 ③ 課題、レポートなどをまじめに取り組み、期限内に提出すること。 ④ 居眠り、遅刻はしないこと。欠席する場合必ず欠席届を提出すること。 ⑤ 講義時間外にもテキストの音声聞き、語彙、表現、動詞の活用をよく予習・練習すること。 ⑥ その他は最初の講義で説明する。</p>
	<p>評価</p> <p>① QUIZと筆記テスト 60% ② 口頭テスト 10% ③ 宿題及び課題の提出 20% ④ 平常点 10% 注意：授業総時間数の1/3(10回)以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻は減点とする。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>① スペイン語 I、IIを終了した方には中級レベルのスペイン語III（前期）とスペイン語IV（後期）の履修がお勧めです。 ② 毎年6月と10月に実施されるスペイン語技能検定6級また5級に挑戦する。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-小波津 フェルナンド [英米]	1年	質問や相談など授業終了後に回答します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語を話す国々は21ヶ国、そして、スペイン語を話す人口は5億8千万人です。この講義では、スペイン語の基礎を学び、役に立つ会話を習得し、自己紹介などが出来るようになることを目的とします。また、スペイン語は広い領域で話されているため世界の視野が広がります。教科書とDVDを使用して、スペインとラテンアメリカの社会や文化に関する話題も豊富に取り上げます！</p>	<p>外国語に興味を持たせて、自分は外国語をマスター出来る！そのヒントを与えてくれる科目にしたい！！ スペイン語圏はこんなに面白くて、こんなに日本と違うなと思わせる授業です。但し、せっかく学ぶのであれば、挨拶程度のレベルでは満足しないで下さい。 自らの積極性はとても大切にする授業です！</p>
到達目標	<p>① スペイン語の基礎を学ぶことによってスペイン語の特徴に近い言語（ポルトガル語・イタリア語・フランス語）の特徴も同時に理解するようになる。コミュニケーション・スキルを磨く。 ② 授業を通して国際社会・異文化の理解を深める。自分の住んでいる地域との違いについて話が出来る。 ③ 外国語が話せますと言えるように目標にします。コミュニケーション能力って何？この授業を通して外国語がどれぐらい話せたら“話せる”という事について議論出来ます。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	スペイン語の世界： 教室で使う挨拶、話す国々、使用状況	スペイン語圏について調べる
	2	スペイン語の特徴： アルファベット	音声を聞いて発音の特徴になれる
	3	母音・子音とその発音	音声を聞いて発音の特徴になれる
	4	注意に必要な綴りと発音	習った単語を発音してみる
	5	アクセント・疑問文と否定文	発音の練習をする
	6	名詞の性と数 (amigo, amiga, amigos, amigas)	スペイン語の単語を調べてみる
	7	冠詞：定冠詞、不定冠詞	練習問題に取り込む
	8	HAYの用法：不特定な人や物が存在しているかどうかを表す	文章を書いてみる
	9	数字。第1課と第2課の復習	練習問題に取り込む
	10	主語人称代名詞	自己紹介、他人の紹介する
	11	動詞SERの直説法現在（出身地、主語の特徴、職業を言う）	練習問題に取り込む
	12	冠詞と形容詞のはたらき	名詞に冠詞と形容詞を付けてみる
	13	名詞と形容詞の関連性	練習問題に取り込む
	14	動詞ESTARの直説法現在：主語の居場所を表す、主語の一時的な状態	文章を書いてみる
	15	SER動詞、ESTAR動詞とHAY動詞の使い分け	練習問題に取り込む
	16	中間試験	復習する
	17	不定語と否定語：alguno (something), ninguno (nothing)	文章を書いてみる
	18	動詞の直説法現在形（規則活用）：-ar動詞	動詞の活用の復習・練習します
	19	動詞の直説法現在形（規則活用）：-er動詞	動詞の活用の復習・練習します
	20	動詞の直説法現在形（規則活用）：-ir動詞	動詞の活用の復習・練習します
	21	前置詞 (a, con, de, en)	前置詞を活かす
	22	所有形容詞 (mi, tu)	所有形容詞を活かす
	23	時間の表し方：Que hora es? 数字をさらに学ぶ	数字の復習、時間を書いてみる
	24	感嘆文	文章を書いてみる
	25	天候表現	文章を書いてみる
	26	目的格人称代名詞	練習問題に取り込む
	27	GUSTAR型動詞	好きな物、場所などについて書く
	28	ENCANTAR、INTERESAR、DOLER動詞の活用	練習問題に取り込む
	29	比較級、最上級、不定詞を用いた命令	文章を書いてみる
30	スペイン語Iの復習とまとめ	理解を深める、質問を準備する	
31	期末試験	復習する	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：朝日出版社 「ディエゴと日本再発見 - 初級スペイン語 - 新版」 ISBN978-4-255-55110-4 C1087 Y2 300E) (スペイン語名：BIENVENIDOS A JAPON! Nueva edicion)</p> <p>参考文献：辞書一冊：電子辞書 か『スペイン語ミニ辞典』（白水社）』 又は『現代スペイン語辞典』（白水社）』 又は 『西和中辞典』（小学館）』</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>① 「履修の心構え」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極性を見せる（質問します）・居眠りはしない（注意されます）・遅刻はしない・欠席しない <p>② 「学びを深めるために」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義の事前に予習ならびに終了後の復習を十分行うこと。 ・発音になれるため、テキストについている音声をきくこと。
学 び の 継 続	<p>評価</p> <p>中間試験50%、期末試験50%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>スペイン語IIが履修できます。スペイン語Iの知識は固定しますと外国語学習の上達が見えてきます。本校ではスペイン語技能検定試験講座あるため学生が文部科学省後援の資格の取れる環境に恵まれています。試験は1年に2回です。さらに、本校はスペインのレオン大学と国外協定校になっているため交換留学・派遣留学（1年）が可能です。希望者は休学することなく、海外の協定校で1年間学べることはこの科目の特徴の一つです。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-小波津 フェルナンド [英米]	1年	質問や相談など授業終了後に回答します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語Ⅰの続きです。スペイン語の基礎表現を発信できることは目標にします。さらに、スペイン語の文法構想を理解することでスペイン語の読書又は簡単な文章を日本語に訳す事が可能になります。スペイン語の複雑な文法事項に負けず、スペイン語Ⅰと同様、言語の学習と並行して、スペイン語圏世界の社会や文化事情に関するビデオ映像なども可能な限り鑑賞します。</p>	<p>外国語に興味を持たせて、自分は外国語をマスター出来る！そのヒントを与えてくれる科目にしたい！スペイン語圏はこんなに面白くて、こんなに日本と違うなと思わせる授業です。自らの積極性はとても大切にする授業です！但し、せっかく学ぶのであれば、挨拶程度のレベルでは満足しないで下さい。自らの積極性はとても大切にする授業です！</p>

学びの準備	到達目標
	<p>① スペイン語の基礎を学ぶことによってスペイン語の特徴に近い言語（ポルトガル語・イタリア語・フランス語）の特徴も同時に理解する。コミュニケーション・スキルを磨く。 ② 授業を通して国際社会・異文化の理解を深める。自分の住んでいる地域との違いについて考える。 ③ 外国語が話せめすとできるように目標にします。コミュニケーション能力を高める。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の表現と文法の復習 (¡Hola!, ¿Qué tal? ¿Cómo están?)	スペイン語Ⅰの復習をする
	2	語根母音変化動詞 I: 欲する (QUERER) 動詞	動詞の活用の復習・練習します
	3	語根母音変化動詞 II: 出来る (PODER) 動詞	動詞の活用の復習・練習します
	4	語根母音変化動詞 III: 注文する (PEDIR) 動詞	動詞の活用の復習・練習します
	5	語根母音変化動詞 IV: 持つ、～しなければならない (TENER) 動詞	動詞の活用の復習・練習します
	6	IR動詞I: 行く	文章を書いてみる
	7	IR動詞II: 未来形の代用	自分の未来について書いてみる
	8	IR動詞III: ～しましょう!	文章を書いてみる
	9	疑問詞、指示形容詞	疑問文を書いてみる
	10	SABER動詞	知っている事について書く
	11	CONOCER動詞	知っている場所と人について書く
	12	関係代名詞	文章を書いてみる
	13	第8課と第9課の復習	課題に取り込む
	14	普段は何をしていますか?: 日常生活を説明する	日常生活について書く
	15	出身地について説明する	課題に取り込む
	16	中間試験	復習する
	17	再帰動詞I (立つ、起きるなど)	文章を書いてみる
	18	形容詞の副詞化	復習する
	19	再帰動詞II (意味の強調、再起受け身)	文章を書いてみる
	20	現在分詞	文書を書いてみる
	21	進行形、現在分詞の副詞的用法	文章を書いてみる
	22	過去分詞	文書を書いてみる
	23	現在完了、過去分詞の形容詞的用法、受け身の表現	文書を書いてみる
	24	過去の表現。点過去: 『～した』	過去について書いてみる
	25	注意が必要な動詞	文書を書いてみる
	26	線過去: 『～していた、～なのだが』	過去の生活について書く
	27	不規則な線過去形動詞	文書を書いてみる
	28	未来形: 『～するだろう、～だろうか』	予定と希望を書いてみる
29	不規則な未来形動詞	文書を書いてみる	
30	スペイン語Ⅱの復習とまとめ	理解を深める、質問を準備する	
31	期末試験	復習する	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：朝日出版社 「ディエゴと日本再発見 - 初級スペイン語 - 新版」 ISBN978-4-255-55110-4 C1087 Y2 300E) (スペイン語名：BIENVENIDOS A JAPON! Nueva edicion)</p> <p>参考文献：辞書一冊：電子辞書 か『スペイン語ミニ辞典』（白水社）』 又は『現代スペイン語辞典』（白水社）』 又は 『西和中辞典』（小学館）』</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>① 「履修の心構え」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極性を見せる（質問します）・居眠りはしない（注意されます）・遅刻はしない・欠席しない <p>② 「学びを深めるために」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義の事前に予習ならびに終了後の復習を十分行うこと。 ・発音になれるため、テキストについている音声をきくこと。
	<p>評価</p> <p>中間試験50%、期末試験50%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>スペイン語IIIが履修できます。スペイン語IIの知識は固定しますと外国語学習の上達が見えてきます。スペイン語に近い言語構造のヨーロッパ言語に興味があれば、これらの言語の勉強はしやすくなります。この講義の終わるころにスペイン語の文法構造がある程度理解しています。さらに、単語が読めて、発音も出来ますので語彙力が増やせばスペイン語の習得は夢ではないと言えます。海外留学を考えても良い時期です。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-小波津 フェルナンド [法律・地行]	1年	質問や相談など授業終了後に回答します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語Ⅰの続きです。スペイン語の基礎表現を発信できることは目標にします。さらに、スペイン語の文法構想を理解することでスペイン語の読書又は簡単な文章を日本語に訳す事が可能になります。スペイン語の複雑な文法事項に負けず、スペイン語Ⅰと同様、言語の学習と並行して、スペイン語圏世界の社会や文化事情に関するビデオ映像なども可能な限り鑑賞します。</p>	<p>外国語に興味を持たせて、自分は外国語をマスター出来る！そのヒントを与えてくれる科目にしたい！スペイン語圏はこんなに面白くて、こんなに日本と違うなと思わせる授業です。但し、せっかく学ぶのであれば、挨拶程度のレベルでは満足しないで下さい。自らの積極性はとても大切にする授業です！</p>
到達目標	<p>① スペイン語の基礎を学ぶことによってスペイン語の特徴に近い言語（ポルトガル語・イタリア語・フランス語）の特徴も同時に理解する。コミュニケーション・スキルを磨く。 ② 授業を通して国際社会・異文化の理解を深める。自分の住んでいる地域との違いについて考える。 ③ 外国語が話せめすとと言えるように目標にします。コミュニケーション能力を高める。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の表現と文法の復習 (Hola!, Que tal? Como estan?)	スペイン語Ⅰの復習をする
	2	語根母音変化動詞 I: 欲する (QUERER)動詞	動詞の活用の復習・練習します
	3	語根母音変化動詞 II: 出来る (PODER)動詞	動詞の活用の復習・練習します
	4	語根母音変化動詞 III: 注文する (PEDIR)動詞	動詞の活用の復習・練習します
	5	語根母音変化動詞 IV: 持つ、～しなければならない (TENER)動詞	動詞の活用の復習・練習します
	6	IR動詞I: 行く	文章を書いてみる
	7	IR動詞II: 未来形の代用	自分の未来について書いてみる
	8	IR動詞III: ～しましょう!	文章を書いてみる
	9	疑問詞、指示形容詞	疑問文を書いてみる
	10	SABER動詞	知っている事について書く
	11	CONOCER動詞	知っている場所と人について書く
	12	関係代名詞	文章を書いてみる
	13	第8課と第9課の復習	課題に取り込む
	14	普段は何をしていますか?: 日常生活を説明する	日常生活について書く
	15	出身地について説明する	課題に取り込む
	16	中間試験	復習する
	17	再帰動詞I (立つ、起きるなど)	文章を書いてみる
	18	形容詞の副詞化	練習する
	19	再帰動詞II (意味の強調、再帰受け身)	文章を書いてみる
	20	現在分詞	文章を書いてみる
	21	進行形、現在分詞の副詞的用法	文章を書いてみる
	22	過去分詞	文章を書いてみる
	23	現在完了、過去分詞の形容詞的用法、受け身の表現	文章を書いてみる
	24	過去の表現。点過去: 『～した』	過去について書いてみる
	25	注意が必要な動詞	文章を書いてみる
	26	線過去: 『～していた、～なのだが』	過去の生活について書く
	27	不規則な線過去形動詞	文章を書いてみる
	28	未来形: 『～するだろう、～だろうか』	予定と希望を書いてみる
	29	不規則な未来形動詞	文章を書いてみる
30	スペイン語Ⅱの復習とまとめ	理解を深める、質問を準備する	
31	期末試験	復習する	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：朝日出版社 「ディエゴと日本再発見 - 初級スペイン語 - 新版」 ISBN978-4-255-55110-4 C1087 Y2 300E) (スペイン語名：BIENVENIDOS A JAPON! Nueva edicion)</p> <p>参考文献：辞書一冊：電子辞書 か『スペイン語ミニ辞典』（白水社）』 又は『現代スペイン語辞典』（白水社）』 又は 『西和中辞典』（小学館）』</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>① 「履修の心構え」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極性を見せる（質問します）・居眠りはしない（注意されます）・遅刻はしない・欠席しない <p>② 「学びを深めるために」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義の事前に予習ならびに終了後の復習を十分行うこと。 ・発音になれるため、テキストについている音声をきくこと。
	<p>評価</p> <p>中間試験50%、期末試験50%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>スペイン語IIIが履修できます。スペイン語IIの知識は固定しますと外国語学習の上達が見えてきます。スペイン語に近い言語構造のヨーロッパ言語に興味があれば、これらの言語の勉強はしやすくなります。この講義の終わるころにスペイン語の文法構造がある程度理解しています。さらに、単語が読めて、発音も出来ますので語彙力が増やせばスペイン語の習得は夢ではないと言えます。海外留学を考えても良い時期です。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	月野 楓子 [日文・社文]	1年	授業後に受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語Ⅰの続きです。前期で学んだことを踏まえながら、次のステップへと進みます。スペイン語の基礎を一通り学びます。</p>	<p>スペイン語話者は世界に4億人以上いるといわれます。スペイン語圏の国や地域への関心を持って学ぶことで、言葉だけでなくより広い世界が見えてくることでしょう。授業や課題への積極的な参加を期待します。</p>
	到達目標	
	<ul style="list-style-type: none"> ・スペイン語の基礎的な文法が理解できる。 ・スペイン語で簡単な会話ができる、簡単な文章を読むことができる。 ・スペイン語圏の歴史や文化について関心を持つ。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	シラバスを読んでおくこと
	2	前期の学習内容の復習①	授業内で指示する
	3	前期の学習内容の復習②	授業内で指示する
	4	gustar型動詞、interesar	予習・復習をすること
	5	doler、体の部位	予習・復習をすること
	6	比較級	予習・復習をすること
	7	小テスト①	テストの準備をしてくる
	8	不規則な動詞①	予習・復習をすること
	9	不規則な動詞②	予習・復習をすること
	10	動詞tener	予習・復習をすること
	11	小テスト②	テストの準備をしてくる
	12	動詞ir	予習・復習をすること
	13	動詞saberとconocer	予習・復習をすること
	14	関係代名詞	予習・復習をすること
	15	小テスト③	テストの準備をしてくる
	16	再帰動詞	予習・復習をすること
	17	副詞	予習・復習をすること
	18	時間の表現	予習・復習をすること
	19	小テスト④	テストの準備をしてくる
	20	現在分詞	予習・復習をすること
	21	過去分詞	予習・復習をすること
	22	比較表現	予習・復習をすること
	23	小テスト⑤	テストの準備をしてくる
	24	点過去	予習・復習をすること
	25	線過去	予習・復習をすること
	26	点過去と線過去	予習・復習をすること
	27	テキストのdialogo購読①	予習・復習をすること
	28	テキストのdialogo購読②	予習・復習をすること
	29	後期のまとめ①	授業内で指示する
30	後期のまとめ②	授業内で指示する	
31	試験	テストの準備をしてくる	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト 尚真貴子 / 福地恭子 / 小波津フェルナンド / 又吉パトリシア / 上地リリア 『Bienvenidos a Japon ディエゴと日本再発見』 朝日出版 ・辞書 初回に指示します。電子辞書でも構いません。
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>前期の復習をしておきましょう。 遅刻や欠席は減点の対象になります。積極的に参加してください。</p>
	<p>評価</p> <p>平常点 (30%)、小テスト (50%)、期末テスト (20%)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>スペイン語Ⅲ 語学検定試験や学内スピーチコンテストに挑戦すること。留学への挑戦も推奨します。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅱ	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上地 リリア [全学]	全学年	ptt139@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>1. スペイン語の規則動詞の現在形の活用を出来るようになり、簡単な文を作ることができる。</p> <p>2. 口頭での簡単な受け答えをできるようにする。</p> <p>3. スペイン、ラテンアメリカの社会や文化に関する話題も身に着けるようになる。</p>	<p>スペイン語入門Ⅰの続きです。今回は不規則動詞、現在進行形、再帰動詞活用を学びます。日常会話のより高度な段階をめざし、簡単なスペイン語の文章の購読が可能になるまでの語学力の習得を目的にする。また、スペイン語検定試験6級の合格を目指し、スペイン語のスピーチコンテストにも是非参加してください。</p>
到達目標	<p>(1) スペイン語の不規則動詞、現在進行形、過去形の活用ができるようになります。</p> <p>(2) 口頭での受け答えに慣れ、簡単なコミュニケーションができるようになります。</p> <p>(3) スペイン語圏の社会や文化に関する話題を理解できるようになります。</p> <p>(4) スペイン語検定試験の6級の合格できる力が身につきます。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	スペイン語Ⅰの復習(1) 練習と解説	シラバスをよく読むこと
	2	スペイン語Ⅰの復習(2) 補足説明	授業のおさらい
	3	スペイン語検定試験6級対策(1) アクセントの位置～現在形規則動詞活用	練習問題の復習
	4	スペイン語検定試験6級対策(2) 不規則動詞 ser / estar 動詞の応用	練習問題の復習
	5	第6課 時刻の表し方・応用	練習問題の宿題
	6	天候表現・応用	練習問題の宿題
	7	第7課 gustar 動詞活用・応用	練習問題の宿題
	8	比較級・最上級の説明・応用	練習問題の宿題
	9	第8課 querer 動詞活用・応用	練習問題の宿題
	10	語根母音 e - ie に変化する動詞の活用・応用	練習問題の宿題
	11	poder 動詞活用・応用	練習問題の宿題
	12	語根母音 o - ue に変化する動詞の活用・応用	練習問題の宿題
	13	pedir 動詞活用・応用	練習問題の宿題
	14	tener 動詞活用・応用	練習問題の宿題
	15	第6課～第8課の復習	テスト勉強
	16	第1回小テスト	テストの見直し
	17	第9課 ir 動詞活用・応用	練習問題の宿題
	18	saber / conocer 動詞活用・応用曜日、月日の練習	練習問題の宿題
	19	スペイン語で自己紹介の練習	自己紹介の暗記
	20	スペイン語の音読練習	音読内容の暗記
	21	第10課 再帰動詞の活用・応用	練習問題の宿題
	22	第9課と第10課の復習	テスト勉強
	23	第2回小テスト	テストの見直し
	24	第11課 現在分詞・現在進行形 -ar 活用・応用	練習問題の宿題
	25	現在進行形 -er, -ir 動詞活用・応用	練習問題の宿題
	26	過去分詞・現在完了 -ar 動詞活用・応用	練習問題の宿題
	27	現在完了 -er, -ir 動詞活用・応用	練習問題の宿題
	28	点過去形 -ar / -er / -ir 動詞活用・応用	練習問題の宿題
	29	第11の復習	練習の復習
30	スペイン語Ⅱの総復習	テストの勉強	
31	期末試験・まとめ	テストの見直し	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など 『Bienvenidos a Japon』 Makiko Sho, K. Fukuchi, F. Kohatsu, P. Matayoshi, L. Uechi 著 (朝日出版社)</p>
	<p>学びの手立て 必ず復習してから授業に出席する。 授業中に携帯電話、スマートフォンなどの通信機器類の使用は禁止！ 質問や相談など授業時間に回答します。 積極的な授業への参加が望まれます。 言語を学ぶには失敗はつきものです。ミスを恐れずに一緒に頑張りましょう！</p>
	<p>評価 小テスト 30点 x 2回 = 60点、 宿題提出、発表 = 10点 期末試験 = 30点 合計 100点 欠席は減点の対象になります。 授業を8回以上欠席した学生には、単位を与えない。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 スペイン語Ⅱを受講した学生は、スペイン語Ⅲの受講を勧めます。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上地 リリア [人福]	1年	ptt139@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<ol style="list-style-type: none"> 1. スペイン語の規則動詞の現在形の活用を出来るようになり、簡単な分を作ることができる。 2. 口頭での簡単な受け答えをできるようになる。 3. スペイン、ラテンアメリカ社会や文化に関する話題も身につけるようになる。 	<p>スペイン語入門Ⅰの続きです。今回は不規則動詞、現在進行形、過去形の動詞活用を学びます。日常会話のより高度な段階をめざし、簡単なスペイン語の文章の講読が可能になるまでの語学力の習得を目的にする。また、スペイン語検定試験6級の合格を目指し、12月に行われるスペイン語スピーチコンテストにもチャレンジしてみよう。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> (1) スペイン語の不規則動詞、過去形、現在進行形、再帰動詞の活用ができるようになります。 (2) 口頭での受け答えに慣れ、簡単なコミュニケーションができるようになります。 (3) スペイン語圏の社会や文化に関する話題を理解できるようになります。 (4) スペイン語検定試験6級の合格できる力が身につきます。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション・スペイン語Ⅰの復習（1）練習と解説	シラバスをよく読むこと
	2	スペイン語Ⅰの復習（2） 補足説明	授業のおさらい
	3	スペイン語検定試験6級対策（1）アクセントの位置～現在形規則動詞活用	練習問題の復習
	4	スペイン語検定試験6級対策（2）不規則動詞 ser / estar 動詞の応用	練習問題の復習
	5	第6課 時刻の表し方・応用	練習問題の宿題
	6	天候表現・応用	練習問題の宿題
	7	第7課 gustar 動詞活用・応用	練習問題の宿題
	8	比較級・最上級の説明・応用	練習問題の宿題
	9	第8課 querer 動詞活用・応用	練習問題の宿題
	10	語根母音 e - ie に変化する動詞の活用・応用	練習問題の宿題
	11	poder 動詞活用・応用	練習問題の宿題
	12	語根母音 o - ue に変化する動詞の活用・応用	練習問題の復習
	13	pedir 動詞活用・応用	練習問題の復習
	14	tener 動詞活用・応用	練習問題の復習
	15	第6課～第8課の復習	テスト勉強
	16	第1回小テスト	テストの見直し
	17	第9課 ir 動詞活用・応用	練習問題の宿題
	18	saber / conocer 動詞活用・応用曜日、月日の練習	練習問題の宿題
	19	スペイン語で自己紹介の練習	自己紹介の暗記
	20	スペイン語の音読練習	音読内容の暗記
	21	第10課 再帰動詞の活用・応用	練習問題の宿題
	22	第9課と第10課の復習	テスト勉強
	23	第2回小テスト	テストの見直し
	24	第11課 現在分詞・現在進行形 -ar 活用・応用	練習問題の宿題
	25	現在進行形 -er, -ir 動詞活用・応用	練習問題の宿題
	26	過去分詞・現在完了 -ar 動詞活用・応用	練習問題の宿題
	27	現在完了 -er, -ir 動詞活用・応用	練習問題の宿題
	28	点過去形 -ar / -er / -ir 動詞活用・応用	練習問題の宿題
	29	第11の復習	練習の復習
30	スペイン語Ⅱの総復習	テストの勉強	
31	期末試験 ・ まとめ	テストの見直し	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など 「Bienvenidos a Japón」 Makiko Sho, K. Fukuchi, F. Kohatsu, P. Matayoshi, L. Uechi 著 (朝日出版社)</p>
	<p>学びの手立て 必ず復習してから授業に出席する。 授業中に携帯電話、スマートフォンなどの通信機器類の使用は禁止！ 質問や相談など授業時間に回答します。 積極的な授業への参加が望まれます。 言語を学ぶには失敗はつきものです。ミスを恐れずに一緒に頑張りましょう！</p>
	<p>評価 小テスト 30点 x 2回 = 60点、 宿題提出、発表 = 10点 期末試験 = 30点 合計 100点 欠席は減点の対象になります。 授業を8回以上欠席した学生には、単位を与えない。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 スペイン語Ⅱを受講した学生は、スペイン語Ⅲの受講を勧めます。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-又吉 パトリシア[全学]	2年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語Ⅰの続きです。前期で学んだことを基礎にし、不規則動詞の活用を覚える。さらに語彙や表現力をアップし、スペイン語技能検定6級または5級レベルや学内のスペイン語のスピーチコンテストに挑戦すること。</p>	<p>ミスに恐れず、積極的な授業への参加が望まれます。言葉を学ぶためには4技能(話す、書く、読む、聞く)が欠かせません。毎回予習、復習をし語彙や文法をしっかりと覚えればスペイン語の学習がより楽しくなります。QUERER ES PODER!!!</p>
	到達目標	
	<p>① スペイン語の動詞の直説法活用(現在、過去)を覚え、的確に使えるようになる。 ② スペイン語で日常生活での会話を身につけて、スペイン語圏のネイティブとコミュニケーションができるようになる。 ③ スペイン語圏の国々また沖縄や日本の文化、行事や人々の習慣などを話題にし、異文化間理解ができるようになる。 ④ スペイン語技能検定5級程度のスペイン語を理解できるようになる。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	後期のガイダンスと前期で学んだ文法項目と表現の復習	シラバスをよむ、前期の復習
	2	前期の語彙と動詞の活用の復習、スペイン語技能検定6級の練習問題	音読、意味調べ、練習問題
	3	L8: 不規則動詞QUERERの直説法現在形の活用、語彙:洋服、色	音読、意味調べ、練習問題
	4	L8: 不規則動詞QUERERの直説法現在形の活用+動詞	音読、意味調べ、練習問題
	5	L8: 不規則動詞QUERERの復習とPODER動詞の直説法現在形の活用	音読、意味調べ、練習問題
	6	L8: 不規則動詞TENERの直説法現在形の活用、家族の語彙、数字の復習	音読、意味調べ、練習問題
	7	L8: 不規則動詞TENERを使う慣用表現・第8課の復習 (家族また友達への紹介の課題を提出)	p. 36~39の復習
	8	第1回テスト: 第8課・「沖縄県とスペイン語圏の国々の行事の紹介」	テスト勉強
	9	L9: 不規則動詞IR直説法現在形の活用	音読、意味調べ、練習問題
	10	L9: 不規則動詞IR直説法現在形の活用・「映画とおしスペイン語圏の行事の紹介」	音読、意味調べ、練習問題
	11	L9: saberとconocer動詞の違い・L9の復習	p40~43の復習
	12	第2回テスト: 第9課	テスト勉強
	13	L10: 再帰動詞の直説法現在形の活用	音読、意味調べ、練習問題
	14	L10: 再帰動詞の直説法現在形の活用	音読、意味調べ、練習問題
	15	L10: 一日の行動について語る、曜日と時刻の復習	音読、意味調べ、練習問題
	16	L10:再帰動詞の復習・日常生活についての課題を提出	p. 44~47の復習
	17	第3回テスト: 第10課	テスト勉強
	18	L11: 現在分詞と直説法現在形進行形	音読、意味調べ、練習問題
	19	L11: 過去分詞、直説法現在形完了形	音読、意味調べ、練習問題
	20	L11: 現在完了形の活用を使って日記また履歴書を書く練習・L11の復習	p. 48~51の復習
	21	第4回テスト: 第11課	テスト勉強
	22	L8~L11の復習	p. 36~51の復習
	23	スペイン語圏の国々のクリスマスの行事と習慣の紹介	p. 91~93音読、意味調べ
	24	スペイン語圏の国々のお正月の行事と習慣の紹介	p. 91~93音読、意味調べ
	25	L12: 直説法点過去形の活用	音読、意味調べ、練習問題
	26	L12: 不規則動詞の直説法点過去の活用	音読、意味調べ、練習問題
	27	L12: 点過去の復習・直説法線過去過去の活用	音読、意味調べ、練習問題
	28	L12: 点過去形と線過去形の違いと復習	p. 52~55の復習
	29	第5回テスト: 第12課	テスト勉強
30	口頭テスト、まとめ	総合復習	
31	スペイン語検定5級レベルのテスト	前期と後期の学習をまとめる	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『Bienvenidos a Japon!』-Nueva edicion- ディエゴと日本再発見!-初級スペイン語-新版 著者：尚 真貴子、福地 恭子、小波津 フェルナンド、又吉 パトリシア、上地 リリア（朝日出版社） 定価：2,300円 + 税 「スペイン語ミニ辞典」宮城・宮本編 白水社¥2,800/「西和中辞典」桑名一博、他編 小学科¥5,800/「和西辞典」有本、宮城、他 白水社¥4,500/「現代スペイン語辞典」宮城、山田、他 白水社¥4,000 ※スペイン語電子辞書も使用可</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>① 学科指定と年次を確認してからこのクラスに登録すること。初回に必ず出席すること。 ② 講義中に積極性をアピールする。またペアーやグループワークなど練習がお行いますのでクラスメートと協力し、積極的に取り組むこと。 ③ 課題、レポートなどをまじめに取り組み、期限内に提出すること。 ④ 居眠り、遅刻はしないこと。欠席する場合必ず欠席届を提出すること。 ⑤ 講義時間外にもテキストの音声聞き、語彙、表現、動詞の活用をよく予習・練習すること。 ⑥ その他は最初の講義で説明する。</p>
	<p>評価</p> <p>① QUIZと筆記テスト 60% ② 口頭テスト 10% ③ 宿題及び課題の提出 20% ④ 平常点 10% 授業総時間数の1/3(10回)以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻は減点とする。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステージ・関連科目 ① スペイン語 I、IIを終了した方には中級レベルのスペイン語III（前期）とスペイン語IV（後期）の履修がお勧めです。 ② 毎年6月と10月に実施されるスペイン語技能検定6級また5級に挑戦する。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-又吉 パトリシア [経済・地環・企シ・産情]	1年	質問や相談など授業終了後に回答します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語Ⅰの続きです。前期で学んだことを基礎にし、不規則動詞の活用を覚える。さらに語彙や表現力をアップし、スペイン語技能検定6級または5級レベルや学内のスペイン語のスピーチコンテストに挑戦すること。</p>	<p>ミスに恐れず、積極的な授業への参加が望まれます。言葉を学ぶためには4技能(話す、書く、読む、聞く)が欠かせません。毎回予習、復習をし語彙や文法をしっかりと覚えればスペイン語の学習がより楽しくなります。QUERER ES PODER!!!</p>
到達目標	<p>① スペイン語の動詞の直説法活用(現在、過去)を覚え、的確に使えるようになる。 ② スペイン語で日常生活での会話を身につけて、スペイン語圏のネイティブとコミュニケーションができるようになる。 ③ スペイン語圏の国々また沖縄や日本の文化、行事や人々の習慣などを話題にし、異文化間理解ができるようになる。 ④ スペイン語技能検定5級程度のスペイン語を理解できるようになる。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	後期のガイダンスと前期で学んだ文法項目と表現の復習	シラバスをよむ、前期の復習
	2	前期の語彙と動詞の活用の復習、スペイン語技能検定6級の練習問題	音読、意味調べ、練習問題
	3	L8: 不規則動詞QUERERの直説法現在形の活用、語彙:洋服、色	音読、意味調べ、練習問題
	4	L8: 不規則動詞QUERERの直説法現在形の活用+動詞	音読、意味調べ、練習問題
	5	L8: 不規則動詞QUERERの復習とPODER動詞の直説法現在形の活用	音読、意味調べ、練習問題
	6	L8: 不規則動詞TENERの直説法現在形の活用、家族の語彙、数字の復習	音読、意味調べ、練習問題
	7	L8: 不規則動詞TENERを使う慣用表現・第8課の復習 (家族また友達を紹介の課題を提出)	p. 36~39の復習
	8	第1回テスト: 第8課・「沖縄県とスペイン語圏の国々の行事の紹介」	テスト勉強
	9	L9: 不規則動詞IR直説法現在形の活用	音読、意味調べ、練習問題
	10	L9: 不規則動詞IR直説法現在形の活用・「映画とおしスペイン語圏の行事の紹介」	音読、意味調べ、練習問題
	11	L9: saberとconocer動詞の違い・L9の復習	p40~43の復習
	12	第2回テスト: 第9課	テスト勉強
	13	L10: 再帰動詞の直説法現在形の活用	音読、意味調べ、練習問題
	14	L10: 再帰動詞の直説法現在形の活用	音読、意味調べ、練習問題
	15	L10: 一日の行動について語る、曜日と時刻の復習	音読、意味調べ、練習問題
	16	L10:再帰動詞の復習・日常生活についての課題を提出	p. 44~47の復習
	17	第3回テスト: 第10課	テスト勉強
	18	L11: 現在分詞と直説法現在形進行形	音読、意味調べ、練習問題
	19	L11: 過去分詞、直説法現在形完了形	音読、意味調べ、練習問題
	20	L11: 現在完了形の活用を使って日記また履歴書を書く練習・L11の復習	p. 48~51の復習
	21	第4回テスト: 第11課	テスト勉強
	22	L8~L11の復習	p. 36~51の復習
	23	スペイン語圏の国々のクリスマスの行事と習慣の紹介	p. 91~93音読、意味調べ
	24	スペイン語圏の国々のお正月の行事と習慣の紹介	p. 91~93音読、意味調べ
	25	L12: 直説法点過去形の活用	音読、意味調べ、練習問題
	26	L12: 不規則動詞の直説法点過去の活用	音読、意味調べ、練習問題
	27	L12: 点過去の復習・直説法線過去過去の活用	音読、意味調べ、練習問題
	28	L12: 点過去形と線過去形の違いと復習	p. 52~55の復習
29	第5回テスト: 第12課	テスト勉強	
30	口頭テスト、まとめ	総合復習	
31	スペイン語検定5級レベルのテスト	前期と後期の学習をまとめる	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『Bienvenidos a Japon!』-Nueva edicion- ディエゴと日本再発見!-初級スペイン語-新版 著者：尚 真貴子、福地 恭子、小波津 フェルナンド、又吉 パトリシア、上地 リリア（朝日出版社） 定価：2,300円 + 税 「スペイン語ミニ辞典」宮城・宮本編 白水社¥2,800/「西和中辞典」桑名一博、他編 小学科¥5,800/「和西辞典」有本、宮城、他 白水社¥4,500/「現代スペイン語辞典」宮城、山田、他 白水社¥4,000 ※スペイン語電子辞書も使用可</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>① 学科指定と年次を確認してからこのクラスに登録すること。初回に必ず出席すること。 ② 講義中に積極性をアピールする。またペアーやグループワークなどで練習のときにクラスメートと協力し、積極的に取り組むこと。 ③ 課題、レポートなどをまじめに取り組み、期限内に提出すること。 ④ 居眠り、遅刻はしないこと。欠席する場合必ず欠席届を提出すること。 ⑤ 講義時間外にもテキストの音声聞き、語彙、表現、動詞の活用をよく予習・練習すること。 ⑥ その他は最初の講義で説明する。</p>
	<p>評価</p> <p>① QUIZと筆記テスト 60% ② 口頭テスト 10% ③ 宿題及び課題の提出 20% ④ 平常点 10% 授業総時間数の1/3(10回)以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻は減点とする。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステージ・関連科目 ① スペイン語 I、IIを終了した方には中級レベルのスペイン語III（前期）とスペイン語IV（後期）の履修がお勧めです。 ② 毎年6月と10月に実施されるスペイン語技能検定6級また5級に挑戦する。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅲ	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	月野 楓子[全学科]	2年	授業後に受け付けます。	

学びの準備	ねらい スペイン語Ⅱの続きです。スペイン語の基礎を復習しながら、少しずつ応用力をつけていきます。	メッセージ スペイン語話者は世界に4億人以上いるといわれます。スペイン語圏の国や地域への関心を持って学ぶことで、言葉だけでなくより広い世界が見えてくることでしょう。授業や課題への積極的な参加を期待します。
	到達目標 ・スペイン語の基礎的な文法が理解できる。 ・スペイン語で簡単な会話ができる、簡単な文章を読むことができる。 ・スペイン語圏の歴史や文化について関心を持つ。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	シラバスを読んでおくこと
	2	スペイン語圏への関心、スペイン語I・IIの内容について確認	授業内で指示する
	3	スペイン語I・IIの復習①	課題に取り組んでいくこと
	4	スペイン語I・IIの復習②	課題に取り組んでいくこと
	5	スペイン語I・IIの復習③	課題に取り組んでいくこと
	6	未来形、未来完了	予習・復習をすること
	7	過去未来	予習・復習をすること
	8	過去未来完了	予習・復習をすること
	9	未来形まとめ	予習・復習をすること
	10	小テスト①	テストの準備をしておくこと
	11	間接話法①	予習・復習をすること
	12	間接話法②	予習・復習をすること
	13	小テスト②	テストの準備をしておくこと
	14	接続法現在①	予習・復習をすること
	15	接続法現在②	予習・復習をすること
	16	接続法現在完了	予習・復習をすること
	17	接続法過去	予習・復習をすること
	18	接続法過去完了	予習・復習をすること
	19	小テスト③	テストの準備をしておくこと
	20	命令文	予習・復習をすること
	21	条件文	予習・復習をすること
	22	譲歩文	予習・復習をすること
	23	小テスト④	テストの準備をしておくこと
	24	映像鑑賞①	授業内で指示する
	25	映像鑑賞②	授業内で指示する
	26	文章読解①	予習・復習をすること
	27	文章読解②	予習・復習をすること
	28	小テスト⑤	テストの準備をしておくこと
	29	復習①	授業内で指示する
30	復習②	授業内で指示する	
31	試験	テストの準備をしておくこと	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキスト 尚真貴子 / 福地恭子 / 小波津フェルナンド / 又吉パトリシア / 上地リリア 『Bienvenidos a Japon デイエゴと日本再発見』 朝日出版 ・辞書 辞書は必ず用意してください。電子辞書でも構いません。
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>スペイン語I及びIIの復習をしておきましょう。 授業への積極的な参加を期待します。 遅刻や欠席は減点します。</p>
	<p>評価</p> <p>平常点 (30%)、小テスト・課題 (50%)、期末テスト (20%)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>スペイン語IV 語学検定試験や学内スピーチコンテストに挑戦すること。留学への挑戦も推奨します。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅳ	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	月野 楓子[全学科]	2年	授業後に受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語Ⅲまでに学んだことを踏まえながら、次のステップへと進みます。映像鑑賞や文章読解も取り入れ、応用力をつけていきます。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スペイン語の文法が理解できる。 ・スペイン語で簡単な会話ができる、文章を読むことができる。 ・スペイン語圏の歴史や文化について関心を持つ。 	<p>スペイン語話者は世界に4億人以上いるといわれます。スペイン語圏の国や地域への関心を持って学ぶことで、言葉だけでなくより広い世界が見えてくることでしょう。授業や課題への積極的な参加を期待します。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	シラバスを読んでおくこと
	2	スペイン語Ⅲまでの復習①	課題に取り組んでおくこと
	3	スペイン語Ⅲまでの復習②	課題に取り組んでおくこと
	4	スペイン語Ⅲまでの復習③	課題に取り組んでおくこと
	5	小テスト①	テストの準備をしていくこと
	6	文章読解①	予習・復習をすること
	7	文章読解②	予習・復習をすること
	8	文章読解③	予習・復習をすること
	9	文章読解④	予習・復習をすること
	10	小テスト②	テストの準備をしておくこと
	11	作文練習①	課題を準備してくる
	12	作文練習②	課題を準備してくる
	13	作文練習③	課題を準備してくる
	14	作文練習④	課題を準備してくる
	15	小テスト③	テストの準備をしておくこと
	16	映像鑑賞と議論①	授業内で指示する
	17	映像鑑賞と議論②	議論のテーマを考えてくること
	18	映像鑑賞と議論③	議論のテーマを考えてくること
	19	小テスト④	テストの準備をしておくこと
	20	検定練習問題①	授業内で指示する
	21	検定練習問題②	授業内で指示する
	22	検定練習問題③	授業内で指示する
	23	検定練習問題④	授業内で指示する
	24	小テスト⑤	テストの準備をしておくこと
	25	エッセイテーマ発表	テーマを考えてくること
	26	グループワーク①	授業内で指示する
	27	グループワーク②	授業内で指示する
	28	発表会①	発表の準備をしていくこと
	29	発表会②	発表の準備をしていくこと
30	まとめ	授業内で指示する	
31	試験	テストの準備をしていくこと	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストは適宜配布します。これまで使用した教科書も復習に使います。 ・辞書は必ず用意してください。電子辞書でも構いません。
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>スペイン語IIIの復習をしておきましょう。 授業への積極的な参加を期待します。 遅刻や欠席は減点します。</p>
	<p>評価</p> <p>平常点 (30%)、小テスト・課題 (50%)、期末テスト (20%)</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>語学検定試験や学内スピーチコンテストに挑戦すること。留学への挑戦も推奨します。 留学準備と帰国者のために「外国語研究」を開講しています。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-顔 瑾 [人福]	1年	ptt414@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	中国語初級レベルの会話力を身につけ、実際に応用できる中国語の習得を目指します。また中国の生活習慣や社会文化も紹介し、異文化への理解を深めることができるようにします。	初心者でも正確に発音できるように指導します。学生が直面しやすい場面や話しやすい話題、そして覚えやすい表現などを習得でき、実践的な中国語を話せるようにします。指定学科及び学年が優先します。このクラスは総合文化学部(人間福祉学科)の一年次の学生が優先対象です。中国語に興味を持ち、積極的に取り込む学生を歓迎します。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 正しい発音のマスターに重点を置き、聞く・話す・読む・書く訓練を繰り返し、いろいろな場面ですぐ使える簡単な会話能力を身につけることを目標とします。 中国語の基本単語及び基本文型を習得し、自分で中国語の表現をできるようにします。 異文化への理解を深めながら、中国語の表現を介して、自分のコミュニケーション・スキルアップを目指します。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション、中国語について	シラバスをよく読むこと
	2	中国語の発音 声調、音節	CDを聞きながらピンインを確認
	3	中国語の発音 母音①; 挨拶文: こんにちは!	CDを聞きながらピンインを確認
	4	中国語の発音 母音②; 挨拶文: ありがとう	CDを聞きながらピンインを確認
	5	中国語の発音 子音①; 挨拶文: さようなら	CDを聞きながらピンインを確認
	6	中国語の発音 子音②; 挨拶文: ごめんなさい	CDを聞きながらピンインを確認
	7	発音の復習	CDを聞きながらピンインを確認
	8	第1課 これは何?	単語の発音練習
	9	文法: 動詞「是」、いろいろな疑問文	本文の発音練習、文法事項の学習
	10	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	11	第2課 食べますか。	単語の発音練習
	12	文法: 動詞文、代名詞	本文の発音練習、文法事項の学習
	13	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	14	第3課 おいしいですか。	単語の発音練習
	15	文法: 形容詞、反復疑問文	本文の発音練習、文法事項の学習
	16	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	17	第4課 明後日何日ですか。	単語の発音練習
	18	文法: 年月日、曜日の表現	本文の発音練習、文法事項の学習
	19	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	20	第5課 お家はどこですか。	単語の発音練習
	21	文法: 動詞「在」、場所の表現	本文の発音練習、文法事項の学習
	22	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	23	第6課 何人家族ですか。	単語の発音練習
	24	文法: 親族の言い方、数量詞	本文の発音練習、文法事項の学習
	25	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	26	第7課 地下鉄で行く	単語の発音練習
	27	文法: 連動文、「できる」の表現	本文の発音練習、文法事項の学習
	28	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
29	総復習	総復習	
30	総復習	総復習	
31	期末テスト	総復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：身につく中国語 改訂新版 白帝社 参考文献：しゃべっていいとも中国語 朝日出版社 また、授業中に練習用資料を配布したり、中国を紹介する映像を見せたりします。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回出欠確認を行います。 ・予習・復習をしっかり行い、「時間外学習の内容」を予習の課題とします。 ・話すことが目的です。会話練習を積極的に参加し、声を出して練習に取り込めましょう。
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> *普段の授業への取り組み、会話の参加度、課題の提出&完成度：50% *毎課小テスト、期末課題：50% ・学則に従い、総授業時間の1/3以上欠席した場合は単位を与えません
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>関連科目「中国語II」への継続的な学習を薦めます。 「中国語I」で学習した内容の定着を図りながら、より幅広い表現を、より自由に運用できるようにさらなるレベルアップすることができます。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-顔 瑾 [日文]	1年	ptt414@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	中国語初級レベルの会話力を身につけ、実際に応用できる中国語の習得を目指します。また中国の生活習慣や社会文化も紹介し、異文化への理解を深めることができるようにします。	初心者でも正確に発音できるように指導します。学生が直面しやすい場面や話しやすい話題、そして覚えやすい表現などを習得でき、実践的な中国語を話せるようにします。指定学科及び学年が優先します。このクラスは総合文化学部(日本文化学科)の一年次の学生が優先対象です。中国語に興味を持ち、積極的に取り込む学生を歓迎します。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 正しい発音のマスターに重点を置き、聞く・話す・読む・書く訓練を繰り返し、いろいろな場面ですぐ使える簡単な会話能力を身につけることを目標とします。 中国語の基本単語及び基本文型を習得し、自分で中国語の表現をできるようにします。 異文化への理解を深めながら、中国語の表現を介して、自分のコミュニケーション・スキルアップを目指します。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション、中国語について	シラバスをよく読むこと
	2	中国語の発音 声調、音節	CDを聞きながらピンインを確認
	3	中国語の発音 母音①; 挨拶文: こんにちは!	CDを聞きながらピンインを確認
	4	中国語の発音 母音②; 挨拶文: ありがとう	CDを聞きながらピンインを確認
	5	中国語の発音 子音①; 挨拶文: さようなら	CDを聞きながらピンインを確認
	6	中国語の発音 子音②; 挨拶文: ごめんなさい	CDを聞きながらピンインを確認
	7	発音の復習	CDを聞きながらピンインを確認
	8	第1課 これは何?	単語の発音練習
	9	文法: 動詞「是」、いろいろな疑問文	本文の発音練習、文法事項の学習
	10	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	11	第2課 食べますか。	単語の発音練習
	12	文法: 動詞文、代名詞	本文の発音練習、文法事項の学習
	13	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	14	第3課 おいしいですか。	単語の発音練習
	15	文法: 形容詞、反復疑問文	本文の発音練習、文法事項の学習
	16	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	17	第4課 明後日何日ですか。	単語の発音練習
	18	文法: 年月日、曜日の表現	本文の発音練習、文法事項の学習
	19	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	20	第5課 お家はどこですか。	単語の発音練習
	21	文法: 動詞「在」、場所の表現	本文の発音練習、文法事項の学習
	22	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	23	第6課 何人家族ですか。	単語の発音練習
	24	文法: 親族の言い方、数量詞	本文の発音練習、文法事項の学習
	25	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	26	第7課 地下鉄で行く	単語の発音練習
	27	文法: 連動文、「できる」の表現	本文の発音練習、文法事項の学習
	28	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
29	総復習	総復習	
30	総復習	総復習	
31	期末テスト	総復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：身につく中国語 改訂新版 白帝社 参考文献：しゃべっていいとも中国語 朝日出版社 また、授業中に練習用資料を配布したり、中国を紹介する映像を見せたりします。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回出欠確認を行います。 ・予習・復習をしっかり行い、「時間外学習の内容」を予習の課題とします。 ・話すことが目的です。会話練習を積極的に参加し、声を出して練習に取り込めましょう。
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> *普段の授業への取り組み、会話の参加度、課題の提出&完成度：50% *毎課小テスト、期末課題：50% ・学則に従い、総授業時間の1/3以上欠席した場合は単位を与えません
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>関連科目「中国語II」への継続的な学習を薦めます。 「中国語I」で学習した内容の定着を図りながら、より幅広い表現を、より自由に運用できるように、さらなるレベルアップすることができます。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-金田 知子 [企シ・産情]	1年	講義終了後に教室で受け付けます	

学びの準備	ねらい この講義では、中国の標準語である「普通話」を学びます。中国語初級レベルの中国語知識を学びながら、実用中国語コミュニケーション力を身につけられるように指導します。一年を通して、基礎中国語の聞く・話す・読む・書くと言う総合的なスキルを身につけることを目指します。	メッセージ 中国語の発音は難しいとされています。発音を繰り返し練習することに重点を置き、常に個人の発音チェックを行います。中国語学習では単語暗記がとても重要なので、単語の聞き取りテストも実施します。また、教材の内容に合わせ中国の事情なども紹介し、異文化への理解を深めるように工夫します。中国語のクラスは、学科と学年指定を優先します。ご確認ください
	到達目標 具体的な達成目標は以下の通りです。 ① ピンインを正確に発音することと聞き取れること ② 新出単語を暗記すること ③ 簡単な中国語会話ができること ④ 自ら中国語で表現できること ⑤ 異文化への理解を深めること 最終的には、中国語検定試験準4級レベルを身につけることを目標とします。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ウォーミングアップ 中国と中国	自身の達成目標を設定する
	2	発音編①声調・単母音	CDを聞きながら発音練習を行う
	3	練習・チェック小テスト	CDを聞きながら発音練習を行う
	4	複合母音	CDを聞きながら発音練習を行う
	5	練習・チェック小テスト	CDを聞きながら発音練習を行う
	6	子音	CDを聞きながら発音練習を行う
	7	練習・チェック小テスト	CDを聞きながら発音練習を行う
	8	鼻母音	CDを聞きながら発音練習を行う
	9	練習・チェック小テスト	CDを聞きながら発音練習を行う
	10	発音の変化・練習・チェック小テスト	CDを聞きながら発音練習を行う
	11	練習・チェック小テスト	CDを聞きながら発音練習を行う
	12	総合練習・チェック小テスト	CDを聞きながら発音練習を行う
	13	第1課 あなたは中国人ですか？ 単語・文法	単語を暗記し、文法事項を復習する
	14	会話・ドリルA	課題
	15	本文・ドリルB	課題
	16	チェック小テスト	課題
	17	第2課 あなたの専攻は何ですか？ 単語・文法	単語を暗記し、文法事項を復習する
	18	会話・ドリルA	課題
	19	本文・ドリルB	課題
	20	チェック小テスト	課題
	21	第3課 あなたはどこに行きますか？ 単語・文法	単語を暗記し、文法事項を復習する
	22	会話・ドリルA	課題
	23	本文・ドリルB	課題
	24	チェック小テスト	課題
	25	第4課 お忙しいですか？ 単語・文法	単語を暗記し、文法事項を復習する
	26	会話・ドリルA	課題
	27	本文・ドリルB	課題
	28	チェック小テスト	課題
29	総合復習	課題	
30	期末試験		
31	まとめ・目標達成度確認		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 《身につく中国語》改訂新版 楊凱榮・張麗群 著 白帝社 定価〔本体2300円＋税〕</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 中国語学習目標を達成するため、以下の心構えを持って欲しいです。 ① 大きな声で繰り返し発音を練習すること ② 教材のCDとYouTube動画を活用すること ③ 単語を暗記すること ④ 積極的に発音練習に参加すること ⑤ 予習と復習を行うこと</p>
	<p>評価 ①チェック小テスト 50% ②期末試験 50% 以上の割合で総合的に評価します。 大学の規則より、総授業時間の1/3以上欠席した場合には単位を与えません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 基礎中国語の知識とスキルを身につけたら、是非中級クラスの講義を登録し、中国語能力の更なるレベルアップを目指しましょう。また、中国語検定試験にもチャレンジして下さい。 夏休みに本校の海外提携校「天津外国語大学」への短期研修に参加することをお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-金田 知子 [地行]	1年	ptt143@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>この講義では、中国の標準語である「普通話」を学びます。中国語初級レベルの中国語知識を学びながら、実用中国語コミュニケーション力を身につけられるように指導します。一年を通して、基礎中国語の聞く・話す・読む・書くと言う総合的なスキルを身につけることを目指します。</p>	<p>中国語の発音は難しいとされています。発音を繰り返し練習することに重点を置き、常に個人の発音チェックを行います。中国語学習では単語暗記がとて重要なので、単語の聞き取り豆テストも実施します。また、教材の内容に合わせ中国の事情なども紹介し、異文化への理解を深めるように工夫します。中国語のクラスは、学科と学年指定を優先します。ご確認下さい。</p>
到達目標	<p>具体的な達成目標は以下の通りです。 ① ピンインを正確に発音することと聞き取れること ② 新出単語を暗記すること ③ 簡単な中国語会話ができること ④ 自ら中国語で表現できること ⑤ 異文化への理解を深めること 最終的には、中国語検定試験準4級レベルを身につけることを目標とします。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ウォーミングアップ 中国と中国	自身の達成目標を設定する
	2	発音編① 声調・単母音	CDを聞きながら発音練習を行う
	3	練習・チェック小テスト	CDを聞きながら発音練習を行う
	4	発音編② 複合母音	CDを聞きながら発音練習を行う
	5	練習・チェック小テスト	CDを聞きながら発音練習を行う
	6	発音編③ 子音	CDを聞きながら発音練習を行う
	7	練習・チェック小テスト	CDを聞きながら発音練習を行う
	8	発音編④ 鼻母音	CDを聞きながら発音練習を行う
	9	練習・チェック小テスト	CDを聞きながら発音練習を行う
	10	発音の変化・練習	CDを聞きながら発音練習を行う
	11	発音総合練習	CDを聞きながら発音練習を行う
	12	発音チェック小テスト	CDを聞きながら発音練習を行う
	13	第1課 これは何ですか？ 単語・文法	単語を暗記し、文法事項を復習する
	14	会話	課題
	15	ドリル	課題
	16	チェック小テスト	課題
	17	第2課 あなたは何を食べますか？ 単語・文法	単語を暗記し、文法事項を復習する
	18	会話	課題
	19	ドリル	課題
	20	チェック小テスト	課題
	21	第3課 肉まんは美味しいですか？ 単語・文法	単語を暗記し、文法事項を復習する
	22	会話	課題
	23	ドリル	課題
	24	チェック小テスト	課題
	25	第4課 明後日は何日ですか？ 単語・文法	単語を暗記し、文法事項を復習する
	26	会話	課題
	27	ドリル	課題
	28	チェック小テスト	課題
29	総合復習	課題	
30	期末試験		
31	まとめ・目標達成度確認		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 《身につく中国語》改訂新版 楊凱栄・張麗群 著 白帝社 定価〔本体2300円＋税〕</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 中国語学習目標を達成するため、以下の心構えを持って欲しいです。 ① 大きな声で繰り返し発音を練習すること ② 教材のCDとYouTube動画を活用すること ③ 単語を暗記すること ④ 積極的に発音練習に参加すること ⑤ 予習と復習を行うこと</p>
	<p>評価 ①チェック小テスト 50% ②期末試験 50% 以上の割合で総合的に評価します。 大学の規則より、総授業時間の1/3以上欠席した場合には単位を与えません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 基礎中国語の知識とスキルを身につけたら、是非中級クラスの講義を登録し、中国語能力の更なるレベルアップを目指しましょう。また、中国語検定試験にもチャレンジして下さい。 夏休みに本校の海外提携校「天津外国語大学」への短期研修に参加することをお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-車 莉莉 [英米]	1年	学内メールにてご連絡ください	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>●中国語のピンイン（ローマ字表記の発音記号）と四声（イントネーション）の仕組みを知り、正確に発音できます。</p> <p>●基本文法構造を理解し、簡単な文を読めます。</p>	<p>中国語の発音は複雑で、授業が難しいというイメージを持つ方がいると思います。しかし、授業に集中すれば理解し、声に出して練習すれば、だれでもできます。実際の授業では受講者の理解度や習得状況を見ながら、柔軟に調整していくので、安心して受けてください。</p>
	到達目標	
	日本語にない中国語発音の聞き分けができ、比較的によく発音ができるようになります。基本的な文法事項を習得し、簡単な文章を理解し、作成できるようになります。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	受講方法などについてのガイダンス	シラバスを確認、受講の準備
	2	中国語の発音と発音表記“ピンイン”について	復習
	3	中国語単母音と子音その1	復習
	4	中国語複母音と子音その2	復習
	5	子音と母音との組み合わせおよびその読み方	復習
	6	中国語の鼻母音	復習
	7	子音その3、子音と鼻母音との組み合わせ	復習
	8	声調学習	復習
	9	軽声、声調の変化について	復習
	10	間違いやすいピンインの読み方について、決まり文句	復習
	11	ピンイン総合練習	第1課の予習
	12	第1課 単語を読む、文の要素と品詞について	復習
	13	名詞述語文とその否定の言い方	復習
	14	反復疑問文とその他のたずね方	復習
	15	読む、書く、訳すなどの練習	第2課の予習
	16	第2課 単語を読む、文の要素と品詞について	復習
	17	中国語で名前を名乗る、たずねる	復習
	18	形容詞述語文とその否定の言い方、疑問詞「什么」について	復習
	19	読む、書く、訳すなどの練習	第3課の予習
	20	第3課 単語を読む、動詞述語文について	復習
	21	「有」の否定について、基本文型のまとめ	復習
	22	読む、書く、訳すなどの練習	第4課の予習
	23	第4課 単語を読む、人やモノを数える数量詞について	復習
	24	数量をたずねる疑問詞「几」	復習
	25	読む、書く、訳すなどの練習	第5課の予習
	26	第5課 単語を読む、時の表現について	復習
	27	数量をたずねる疑問詞「多～」	復習
	28	読む、書く、訳すなどの練習	復習
	29	学習まとめ	復習
30	総合練習	復習	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>●テキスト 老師好(ラオシーハオ)!—王先生との出会い 守屋 宏則 (著), 陳 浩 (著), 梁 月軍 (著) 郁文堂出版社</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発音勉強の段階では、聞きなれない音が多いため、発音しても上手くいかないことが多いと思います、しかし、根気よく練習に取り組めば、誰だって身につけますので、声を出して、積極的にトレーニングを受けましょう。 2. 分からないことがあれば、必ず講師に質問し、理解できるように努めましょう。 3. 課題や練習などは学習の理解度を示す重要なものです。積極的に取り組んでください。
	<p>評価</p> <p>総合成績を100点満点とします。うち、期末試験45%、小テストや課題練習など45%、その他（授業に関与する積極性など）10%。詳しくは講義初日に説明します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>関連科目は中国語Ⅱです。中国語は基本的に同じクラスで、Ⅰ、Ⅱを連続して履修する科目です。基礎をしっかり固めるには、中国語Ⅱの継続履修が必要です。</p> <p>各クラスの使用教材は異なります、ご注意ください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-車 莉莉 [法律]	1年	学内メールにてご連絡ください。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<ul style="list-style-type: none"> ●中国語のピンイン（ローマ字表記の発音記号）と四声（イントネーション）の仕組みを知り、正確に発音できます。 ●基本文法構造を理解し、簡単な文を読めます。 	中国語の発音は複雑で、授業が難しいというイメージを持つ方がいると思います。しかし、授業に集中すれば理解し、声に出して練習すれば、だれでもできます。実際の授業では受講者の理解度や習得状況を見ながら、柔軟に調整していくので、安心して受けてください。

到達目標	日本語にない中国語の発音が聞き分けができ、比較的に正しく発音ができるようになります。基本的な文法事項を習得し、簡単な文章を理解し、作成できるようになります。
------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	受講方法などについてのガイダンス	シラバスを確認、受講の準備
	2	中国語の発音と発音表記“ピンイン”について	復習
	3	中国語単母音と子音その1	復習
	4	中国語複母音と子音その2	復習
	5	子音と母音との組み合わせおよびその読み方	復習
	6	中国語の鼻母音	復習
	7	子音その3、子音と鼻母音との組み合わせ	復習
	8	声調学習	復習
	9	軽声、声調の変化について	復習
	10	間違いやすいピンインの読み方について、決まり文句	復習
	11	ピンイン総合練習	第1課の予習
	12	第1課 単語を読む、文の要素と品詞について	復習
	13	名詞述語文とその否定の言い方	復習
	14	反復疑問文とその他のたずね方	復習
	15	読む、書く、訳すなどの練習	第2課の予習
	16	第2課 単語を読む、文の要素と品詞について	復習
	17	中国語で名前を名乗る、たずねる	復習
	18	形容詞述語文とその否定の言い方、疑問詞「什么」について	復習
	19	読む、書く、訳すなどの練習	第3課の予習
	20	第3課 単語を読む、動詞述語文について	復習
	21	「有」の否定について、基本文型のまとめ	復習
	22	読む、書く、訳すなどの練習	第4課の予習
	23	第4課 単語を読む、人やモノを数える数量詞について	復習
	24	数量をたずねる疑問詞「几」	復習
	25	読む、書く、訳すなどの練習	第5課の予習
	26	第5課 単語を読む、時の表現について	復習
	27	数量をたずねる疑問詞「多～」	復習
	28	読む、書く、訳すなどの練習	復習
29	学習のまとめ	復習	
30	総合練習	復習	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>老師好(ラオシーハオ)!—王先生との出会い 守屋 宏則(著), 陳 浩(著), 梁 月軍(著) 郁文堂出版社</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発音勉強の段階では、聞きなれない音が多いため、発音しても上手くいかないことが多いと思います、しかし、根気よく練習に取り組めば、誰だって身につけますので、声を出して、積極的にトレーニングを受けましょう。 2. 分からないことがあれば、必ず講師に質問し、理解できるように努めましょう。 3. 課題や練習などは学習の理解度を示す重要なものです。積極的に取り組んでください。
	<p>評価</p> <p>総合成績を100点満点とします。うち、期末試験45%、小テストや課題練習45%、その他(授業に関与する積極性など)10%。詳しくは講義初日に説明します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>関連科目は中国語Ⅱです。中国語は基本的に同じクラスで、Ⅰ、Ⅱを連続して履修する科目です。基礎をしっかりと固めるには、中国語Ⅱの継続履修が必要です。 各クラスの使用教材は異なります、ご注意ください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-運天 亜紀子[社文]	1年	メール等で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この授業は中華人民共和国の標準語である「普通話」の初心者を対象に、中国語の発音、会話、聞き取り、文法、作文等の基礎的な学習を総合的に行うことを目的としています。中国語学習において最も難関とされるのは発音です。従ってこの授業では特に発音訓練とピンイン（中国語の発音記号）をマスターすることにポイントをおきます。	中国語は漢字を用いることや語形変化がないため、私達日本人にとっても学びやすい言語です。最大の難関と言われる発音さえマスターすれば、必ず話せるようになります。中国語を学んで、中国の歴史、経済、中華料理、三国志等々、中国の魅力に自分自身で直接触れましょう。
到達目標	まず、ピンイン（中国語の発音記号）を理解して正しく発音し、聞き取ることができるようにしましょう。また、基本的な文法、文型を理解し、教科書の本文に出てくるような単語、日常会話の決まり文句や作文（短文）を使いこなせるようにしましょう。（中国語検定準4級程度）そして、辞書をよく引き、インターネットを活用するなど、自分でも学べる環境を整えましょう。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション 中国語を学ぶにあたって	シラバスを読む
	2	発音編①「声調と単母音」	CD聞きながらピンインを確認
	3	発音編②「複合母音」	CDを聞きながらピンインを確認
	4	発音編③「子音」	CDを聞きながらピンインを確認
	5	発音編④「鼻音を伴う母音」	CDを聞きながらピンインを確認
	6	発音編⑤「発音編のまとめ」音節表を使って	CDを聞きながらピンインを確認
	7	第1課 人称代名詞、動詞述語文、疑問詞	新出語句と補充語句を予習
	8	対話練習と語法確認	CDを聞きながら発音練習
	9	練習問題と単語テスト	練習問題の予習と単語テストの準備
	10	第2課 指示代名詞、疑問詞疑問文	新出語句と補充語句を予習
	11	対話練習と語法確認	CDを聞きながら発音練習
	12	練習問題と単語テスト	練習問題の予習と単語テストの準備
	13	第3課 形容詞述語文、反復疑問文、語気助詞	新出語句と補充語句予を予習
	14	対話練習と語法確認	CDを聞きながら発音練習
	15	練習問題と単語テスト	練習問題の予習と単語テストの準備
	16	中間テスト	中間テストの準備
	17	第4課 数詞、月日・曜日・時刻の言い方	新出語句と補充語句の予習
	18	対話練習と語法確認	CDを聞きながら発音練習
	19	練習問題と単語テスト	練習問題の予習と単語テストの準備
	20	第1課から第4課までのまとめ問題	第1課から第4課までの復習
	21	第5課 場所を表す指示詞、所在を表す「在」、前置詞	新出語句と補充語句の予習
	22	対話練習と語法確認	CDを聞きながら発音練習
	23	練習問題と単語テスト	練習問題の予習と単語テストの準備
	24	第6課 所有・存在を表す「有」、主述述語文、数詞+量詞+名詞	新出語句と補充語句の練習
	25	対話練習と語法確認	CDを聞きながら発音練習
	26	練習問題と単語テスト	練習問題の予習と単語テストの準備
	27	第7課 連動文、助動詞「能」と「可以」、動詞の重ね型	新出語句と補充語句の練習
	28	対話練習と語法確認	CDを聞きながら発音練習
	29	練習問題と単語テスト	練習問題の予習と単語テストの準備
30	期末テスト	期末テストの準備	
31	期末テストの解答解説	期末テストの復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：『身につく中国語』楊凱栄 張麗群 著（白帝社） 参考文献は授業中紹介する。必要に応じてプリントを配布する。 また、授業の進捗状況によって内容を変更する場合があります。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>初歩から学ぶ中国語は最初の発音練習が重要です。日頃からテキスト付帯のCDやYouTube動画を活用し、繰り返し練習しましょう。また、授業中の発音・会話練習の際にはペアレッスンが中心になります。恥ずかしがらず積極的に取り組むようにしましょう。簡体字に慣れ、単語を覚えるためにも、新しい課に入る際には単語の予習を欠かさず行いましょう。また、無料の中国語学習アプリなどを活用することもお勧めします。</p>
	<p>評価</p> <p>1. 中国語クラスは、学科と学年指定が優先します。 2. 中間、期末テストの成績70%に、単語テストの成績15%、課題等の提出物及び発音チェック15%を総合的に評価します。総授業時間の3分の1以上欠席した場合は単位を与えません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>「中国語Ⅱ」を継続して受講することが望ましい。また、「中国語検定4級」以上の取得を目指して学習を続けてほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-島袋 直樹 [経済・環政]	1年	授業の日に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい 中国語の発音と文法の基本を理解し、簡単な文を作ったり会話ができるようになることを目指します。	メッセージ 授業で学んだことを一つずつ結びつけていくと簡単な文からだんだん複雑な文が作れるようになっていきます。中国語を使ってどんなことを伝えたいのか、どんなことが知りたいのかを考えながら勉強してください。 このクラスは指定学科と指定年次があるので注意してください。
	到達目標 1. 正確な発音ができるようになる。 2. 発音の聞き取りができるようになる。 3. 基本的な単語を覚える。 4. 基本的な文法事項を習得して簡単な文を作ったり会話をするができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業のガイダンス、中国語について	ガイダンスの確認、課題提出
	2	発音（単母音、声調）	授業の復習、課題提出、発音練習
	3	発音（複合母音）	授業の復習、課題提出、発音練習
	4	発音（鼻母音）	授業の復習、課題提出、発音練習
	5	発音（子音、有気音と無気音）	授業の復習、課題提出、発音練習
	6	発音（子音、捲舌音）	授業の復習、課題提出、発音練習
	7	発音（ピンインの書き方の決まり、声調の決まり）	授業の復習、課題提出、発音練習
	8	まとめ	授業の復習、課題提出、発音練習
	9	文の組み立て方	授業の復習、課題提出、発音練習
	10	基本文型①動詞述語文の肯定文（第1課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	11	基本文型①動詞述語文の否定文、副詞（第1課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	12	基本文型①動詞述語文の疑問文①、語気助詞（第1課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	13	基本文型①動詞述語文の疑問文②（第3課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	14	基本文型①動詞述語文の疑問文③（第2課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	15	基本文型①動詞述語文の疑問文④（第3課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	16	まとめ	授業の復習、課題提出、発音練習
	17	「的」の使い方（第3課、第5課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	18	動詞「是」（第2課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	19	基本文型②形容詞述語文の肯定文（第3課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	20	基本文型②形容詞述語文の否定文（第3課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	21	基本文型②形容詞述語文の疑問文①②③④（第3課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	22	少し複雑な主語や目的語（第2課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	23	数字、年月日、曜日、時刻、年齢（第4課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	24	基本文型③名詞述語文の肯定文（第4課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	25	基本文型③名詞述語文の否定文（第4課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	26	基本文型③名詞述語文の疑問文①②③④（第4課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	27	副詞（第2課、第3課、第10課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	28	時間詞	授業の復習、課題提出、発音練習
	29	まとめ	授業の復習、課題提出、発音練習
30	期末テスト	授業の復習、発音練習	
31	授業の総括	授業の復習、発音練習	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>①文法事項を説明したテキストを配布します。 ②『身につく中国語 [改訂新版]』楊凱榮・張麗群著（白帝社）</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>①この授業ではGoogle Classroomを使用します。Google Classroomについての説明や参加方法は授業の時に説明します。 ②Google Classroomでテキストを配布しますので各自プリントアウトして授業に参加してください。 ③授業中にスマホなどの機器を利用してGoogle Classroomやインターネットを使用させる場合があります。 ④この授業は小テストや課題が多く、成績評価もこれらの項目の配点割合が高いので日頃から努力していないと良い評価はもらえません。受け身にならず自分から積極的に取り組んでください。</p>
	<p>評価</p> <p>小テスト・課題80%、期末テスト20%で評価します。 但し、総授業時間数の三分の一以上欠席した場合には単位は与えません。 「中国語Ⅰ」の単位を取得していないと後期の「中国語Ⅱ」は登録できません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期に開講される「中国語Ⅱ」で続きの内容を学習します。 検定試験にも積極的にチャレンジしてください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-島袋 直樹 [全学科]	全学年	授業の日に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい 中国語の発音と文法の基本を理解し、簡単な会話ができるようになることを目指します。	メッセージ 授業で学んだことを一つずつ結びつけていくと簡単な文からだんだん複雑な文が作れるようになっていきます。中国語を使ってどんなことを伝えたいのか、どんなことが知りたいのかを考えながら勉強してください。
	到達目標 1. 正確な発音ができるようになる。 2. 発音の聞き取りができるようになる。 3. 基本的な単語を覚える。 4. 基本的な文法事項を習得して簡単な文を作ったり会話をすることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業のガイダンス、中国語について	ガイダンスの確認、課題提出
	2	発音（単母音、声調）	授業の復習、課題提出、発音練習
	3	発音（複合母音）	授業の復習、課題提出、発音練習
	4	発音（鼻母音）	授業の復習、課題提出、発音練習
	5	発音（子音、有気音と無気音）	授業の復習、課題提出、発音練習
	6	発音（子音、捲舌音）	授業の復習、課題提出、発音練習
	7	発音（ピンインの書き方の決まり、声調の決まり）	授業の復習、課題提出、発音練習
	8	まとめ	授業の復習、課題提出、発音練習
	9	文の組み立て方	授業の復習、課題提出、発音練習
	10	基本文型①動詞述語文の肯定文（第1課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	11	基本文型①動詞述語文の否定文、副詞（第1課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	12	基本文型①動詞述語文の疑問文①、語気助詞（第1課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	13	基本文型①動詞述語文の疑問文②（第3課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	14	基本文型①動詞述語文の疑問文③（第2課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	15	基本文型①動詞述語文の疑問文④（第3課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	16	まとめ	授業の復習、課題提出、発音練習
	17	「的」の使い方（第3課、第5課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	18	動詞「是」（第2課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	19	基本文型②形容詞述語文の肯定文（第3課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	20	基本文型②形容詞述語文の否定文（第3課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	21	基本文型②形容詞述語文の疑問文①②③④（第3課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	22	少し複雑な主語や目的語（第2課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	23	数字、年月日、曜日、時刻、年齢（第4課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	24	基本文型③名詞述語文の肯定文（第4課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	25	基本文型③名詞述語文の否定文（第4課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	26	基本文型③名詞述語文の疑問文①②③④（第4課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	27	副詞（第2課、第3課、第10課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	28	時間詞	授業の復習、課題提出、発音練習
	29	まとめ	授業の復習、課題提出、発音練習
30	期末テスト	授業の復習、発音練習	
31	授業の総括	授業の復習、発音練習	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>①文法事項を説明したテキストを配布します。 ②『身につく中国語 [改訂新版]』楊凱榮・張麗群著（白帝社）</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>①この授業ではGoogle Classroomを使用します。Google Classroomについての説明や参加方法は授業の時に説明します。 ②Google Classroomでテキストを配布しますので各自プリントアウトして授業に参加してください。 ③授業中にスマホなどの機器を利用してGoogle Classroomやインターネットを使用させる場合があります。 ④この授業は小テストや課題が多く、成績評価もこれらの項目の配点割合が高いので日頃から努力していないと良い評価はもらえません。受け身にならず自分から積極的に取り組んでください。</p>
	<p>評価</p> <p>小テスト・課題80%、期末テスト20%で評価します。 但し、総授業時間数の三分の一以上欠席した場合には単位は与えません。 「中国語Ⅰ」の単位を取得していないと後期の「中国語Ⅱ」は登録できません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期に開講される「中国語Ⅱ」で続きの内容を学習します。 検定試験にも積極的にチャレンジしてください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-張 維 真 [全学科(2年次以上)]	2年	msweijena@gmail.com	

学びの準備	ねらい 中国語の基礎的な発音をマスターし、実践的な会話を身につける。授業では特に発音や声調の習得に重点をおく。	メッセージ 授業に毎回参加し、発音のチェックを受けることを要求します。
	到達目標 中国語検定準四級レベルのスキル習得を目標としています。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	教科書全体に目を通す
	2	声調（四声）の紹介と練習	お家で鏡を見て声調を練習する
	3	四声、単母音の練習とチェック	お家で発音を復習する
	4	声調と単母音の復習&複合母音の練習とチェック	同上
	5	中国語の歌「小苹果」鑑賞&鼻音の練習とチェック	同上
	6	子音21個の練習とチェック	同上
	7	子音の唇音、舌尖音、舌根音の練習とチェック	同上
	8	子音の舌面音、巻舌音、舌歯音の練習とチェック	同上
	9	第1課 本文説明&発音練習とチェック	単語暗記
	10	第1課 ポイント1～2説明&発音チェック	同上
	11	第1課 ポイント3～4説明&発音チェック	発音練習
	12	第1課 練習問題とドリル	同上
	13	第2課 本文説明&発音チェック	単語暗記
	14	第2課 ポイント説明&発音チェック	発音練習
	15	第2課 練習問題とドリル	単語暗記
	16	第3課 本文説明&発音チェック	形容詞暗記
	17	第3課 ポイント1～2練習&発音チェック	読み練習
	18	第3課 ポイント3～4説明&発音チェック	単語暗記
	19	第3課 練習問題&ドリル	宿題完成
	20	第4課 本文説明&発音チェック	読み練習
	21	第4課 ポイント説明&発音チェック	同上
	22	第4課 ポイント練習&発音チェック	単語暗記
	23	第5課 本文説明と発音チェック	読み練習
	24	第5課 ポイント説明&会話練習	単語暗記
	25	第5課 単語確認&例文作り&練習	宿題完成
	26	第6課 本文説明&発音チェック	読み練習
	27	第6課 ポイント説明&発音チェック	単語暗記
	28	第6課 練習問題&ドリル	総合復習
	29	第1～6課 復習	同上
30	期末テスト	同上	
31	期末テスト		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 身につく中国語 [改訂新版] 楊凱榮・張麗群 著 白帝社</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て このクラスは学科と学年指定が優先します。</p>
	<p>評価 毎回授業中のチェック&参加度 50% 課題提出 20%、 期末テスト 30%</p> <p>大学の規則により、総授業時間の1/3以上欠席した場合は単位を与えることができません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 後期も続けて勉強することをおすすめします。一年間続けて中国語を学んだ上で日常会話力を身につけることができ、新たな視野でものを見ることができます。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-島袋 直樹 [経済・環政]	1年	授業の日に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい 中国語の発音と文法の基本を理解し、簡単な文を作ったり会話ができるようになることを目指します。	メッセージ 授業で学んだことを一つずつ結びつけていくと簡単な文からだんだん複雑な文が作れるようになっていきます。中国語を使ってどんなことを伝えたいのか、どんなことが知りたいのかを考えながら勉強してください。このクラスは指定学科と指定年次があるので注意してください。「中国語Ⅱ」を登録できるのは「中国語Ⅰを履修済み」或いは同等の語学能力がある学生です。
	到達目標 1. 正確な発音ができるようになる。 2. 発音の聞き取りができるようになる。 3. 基本的な単語を覚える。 4. 基本的な文法事項を習得して簡単な文を作ったり会話をすることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業のガイダンス、発音の復習（単母音、複合母音、鼻母音、声調）	授業の復習、課題提出、発音練習
	2	発音の復習（子音）	授業の復習、課題提出、発音練習
	3	発音の復習（ピンインの書き方の決まり、声調の決まり）	授業の復習、課題提出、発音練習
	4	単語の復習	授業の復習、課題提出、発音練習
	5	文法の復習（文の組み立て方、動詞述語文）	授業の復習、課題提出、発音練習
	6	文法の復習（「的」の使い方、動詞「是」）	授業の復習、課題提出、発音練習
	7	文法の復習（形容詞述語文）	授業の復習、課題提出、発音練習
	8	文法の復習（名詞述語文）	授業の復習、課題提出、発音練習
	9	文法の復習（少し複雑な主語や目的語）	授業の復習、課題提出、発音練習
	10	疑問文⑤選択疑問文（第8課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	11	金額の言い方（第9課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	12	動詞「在」（第5課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	13	人やモノの数え方（第6課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	14	動詞「有」①（第6課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	15	動詞「有」②（第6課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	16	基本文型④主述述語文の肯定文、否定文、疑問文①②③④（第6課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	17	まとめ	授業の復習、課題提出、発音練習
	18	副詞（第1課、第3課、第10課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	19	副詞（第1課、第3課、第10課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	20	語気助詞（第2課、第3課、第9課、第10課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	21	時間詞	授業の復習、課題提出、発音練習
	22	前置詞（第5課、第9課、第10課、第11課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	23	助動詞（第7課、第8課、第14課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	24	動態助詞（第8課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	25	動態助詞（第9課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	26	時間の長さ、回数（第8課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	27	補語（第8課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	28	連動文（第7課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	29	まとめ	授業の復習、課題提出、発音練習
30	テスト	授業の復習、発音練習	
31	授業の総括	授業の復習、発音練習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>①文法事項を説明したテキストを配布します。 ②『身につく中国語 [改訂新版]』楊凱榮・張麗群著（白帝社）</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①この授業ではGoogle Classroomを使用します。Google Classroomについての説明や参加方法は授業の時に説明します。 ②Google Classroomでテキストを配布しますので各自プリントアウトして授業に参加してください。 ③授業中にスマホなどの機器を利用してGoogle Classroomやインターネットを使用させる場合があります。 ④この授業は小テストや課題が多く、成績評価もこれらの項目の配点割合が高いので日頃から努力していないと良い評価はもらえません。受け身にならず自分から積極的に取り組んでください。</p>
	<p>評価</p> <p>小テスト・課題80%、期末テスト20%で評価します。 但し、総授業時間数の三分の一以上欠席した場合には単位は与えません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>「中国語Ⅲ」が開講されるので引き続き受講し学びを深めてください。 検定試験やスピーチコンテストなどにも積極的にチャレンジしてレベルアップを目指してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-運天 亜紀子[社文]	1年	メール等で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この授業は「中国語Ⅰ」で学習した「中国語の発音、会話、聞き取り、文法、作文」等の基礎的な学習を総合的にを行うことを目的としています。特に発音訓練とピンイン（中国語の発音記号）の定着と基本文型を使った会話にポイントをおきます。「中国語Ⅱ」の履修条件として、「中国語Ⅰを履修済み」、或いは同等の基礎がある者を対象とする。	基本文型を暗記することで聴解力、発話力、作文力も向上します。まずは教科書にある基本文の朗読、暗唱を日頃から習慣づけてください。
到達目標	中国語検定4級を目標に、基本文型を習得し、日頃から中国語の会話や映画などに触れ、積極的に自分の意思を発話できるようになることが目標です。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画	テーマ	時間外学習の内容
	回		
	1	オリエンテーション	シラバスを読む
	2	第8課 時点と時間量の表現、経験を表す「過」、選択疑問文、願望の助動詞「想」	新出語句と補充語句の予習
	3	対話練習と語法確認	CDを聴きながら発音練習
	4	練習問題と単語テスト	ドリルの予習と単語テストの準備
	5	第9課 完了の「了」、場所を表す前置詞「在」、貨幣の数え方	新出語句と補充語句の予習
	6	対話練習と語法確認	CDを聴きながら発音練習
	7	練習問題と単語テスト	ドリルの予習と単語テストの準備
	8	第10課 「有点+形容詞」、「動詞+一下」、比較を表す前置詞「比」、不太～	新出語句と補充語句の予習
	9	対話練習と語法確認	CDを聴きながら発音練習
	10	練習問題と単語テスト	ドリルの予習と単語テストの準備
	11	第11課 「有」を用いる連動文、取り立ての「是～的」、方向補語	新出語句と補充語句の予習
	12	対話練習と語法確認	CDを聴きながら発音練習
	13	練習問題と単語テスト	ドリルの予習と単語テストの準備
	14	第8課から第11課までのまとめ	第8課から11課までの復習
	15	中間テスト	中間テストの準備
	16	第12課 動作の進行を表す「在」、使役と持続の表現	新出語句と補充語句の予習
	17	対話練習と語法確認	CDを聴きながら発音練習
	18	練習問題と単語テスト	ドリルの予習と単語テストの準備
	19	第13課 結果補語、受給と受益の「給」、太～了、動詞の連体修飾	新出語句と補充語句の予習
	20	対話練習と語法確認	CDを聴きながら発音練習
	21	練習問題と単語テスト	ドリルの予習と単語テストの準備
	22	第14課 助動詞「会」と「要」、可能補語、形容詞の重ね型	新出語句と補充語句の予習
	23	対話練習と語法確認	CDを聴きながら発音練習
	24	練習問題と単語テスト	ドリルの予習と単語テストの準備
	25	中国映画鑑賞会	アンケートの記入
	26	第15課 「把」構文、受け身を表す前置詞「被」、方位詞、存現文、持続を表す「着」	新出語句と補充語句の予習
	27	対話練習と語法確認	CDを聴きながら発音練習
	28	練習問題と単語テスト	ドリルの予習と単語テストの準備
29	第12課から第15課のまとめ	第12課から15課までの復習	
30	期末テスト	期末テストの準備	
31	期末テストの返却と解答解説	期末テストの見直し	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：『身につく中国語』楊凱栄 張麗群 著（白帝社） 参考文献は授業中紹介する。必要に応じてプリントを配布する。 また、授業の進捗状況によって内容を変更、加減する場合があります。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>初歩から学ぶ中国語は最初の発音練習が重要です。日頃からテキスト付帯のCDを活用し、繰り返し練習しましょう。また、授業中の発音・会話練習が大切になります。恥ずかしがらず積極的に取り組むようにしましょう。簡体字に慣れ、単語を覚えるためにも新しい課に入る際には単語の予習を欠かさず行いましょう。</p>
	<p>評価</p> <p>1. 中国語のクラスは、学科と学年指定が優先します。 2. 中間、期末テストの成績（70％）に、単語テストの成績（15％）、課題などの提出物及び発音チェックの成績（15％）を総合的に評価します。但し、総授業時間数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>「中国語Ⅲ」を継続して受講することが望ましい。また、「中国語検定4級」以上の取得を目指して学習を続けてほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-車 莉莉 [法律]	1年	学内メールにてご連絡ください。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	このクラスは中国語Ⅰ履修済み、あるいは同等の語学力を持つ学生が登録可能なクラスです。 1. ピンインの継続練習を行い、正しい発音が定着するようになります。2. 中国語文の基本文型を記憶し、簡単文章の理解と作成ができるようになります。3. 教科書の場面会話を覚え、相手の簡単な質問に答えられます。	前期を履修した皆さん、短い期間に発音や基本文法を習得し、素晴らしい第一歩を踏み出しました。後期に入って、以前に学習した内容を反復練習しながら、新しいものを学習していくと、さらに飛躍的な上達が実感できます。自信をもって学習に取り組んでください。
到達目標	1. ピンインの読み書きが楽にできます 2. 教科書範囲内では「話して通じる」、「聞いてわかる」レベルの中国語会話力の習得を目指します。 3. 中国語の基本文型をよく記憶したうえ、修飾語を使え、より豊かな表現ができるようになります。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	受講方法などについてのガイダンス	シラバスを確認、受講準備
	2	ピンイン、基本文型など前期の学習内容を見返す	次回の予習
	3	第6課 単語と本文を読む、「時刻」と「時間」について	復習
	4	完了形「了」/～した、中国語の連動文について	復習
	5	数量をたずねる三つの表現	復習
	6	会話、教材練習、リスニング練習	次回の予習
	7	第7課 単語と本文を読む、指示代名詞「这儿，那儿，哪儿」	復習
	8	「在」と「有」の使い分け、中国語の前置詞について	復習
	9	「离、到、从」の相違について	復習
	10	会話、教材練習、リスニング練習	次回の予習
	11	第8課 単語と本文を読む、趣味の表現	復習
	12	経験形「过」/～したことがある、否定を表す「没」について	復習
	13	中国語の離合詞、動詞の重ね型	復習
	14	会話、教材練習、リスニング練習	復習
	15	中間まとめと総合練習	次回の予習
	16	第9課 単語と本文を読む、比較の表現	復習
	17	選択疑問文「A□是B」、自然現象を表す文の語順について	復習
	18	会話、教材練習、リスニング練習	次回の予習
	19	第10課 単語と本文を読む、「和と跟」について	復習
	20	助動詞について、予定を表す「打算+動詞」	復習
	21	願望を表す「想+動詞」、接続詞と複文	復習
	22	会話、教材練習、リスニング練習	次回の予習
	23	第11課 単語と本文を読む、動詞の後につく方向補語	復習
	24	持続形「着」/～してある	復習
	25	会話、教材練習、リスニング練習	次回の予習
	26	第12課 単語と本文を読む、動作の進行の表し方	復習
	27	動詞「给」と前置詞「给」について	復習
	28	会話、教材練習、リスニング練習	復習
	29	まとめと総合練習	復習
30	総合練習	復習	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【テキスト】：「老口好！ ー王先生との出会いー」 郁文堂出版社 守屋 宏則（著），陳 浩（著），梁 月軍（著）</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 後期でも継続的に発音指導が行われます。間違った発音が指摘されたら、直しましょう。 2. 簡単な発表や会話が求められます。話す力を鍛える有効な練習です、積極的に参加しましょう。 3. 課題や練習などは学習の理解度を示す重要なものです。積極的に取り組んでください。
	<p>評価</p> <p>総合成績を100点満点とします。うち、期末試験45%、小テストや課題練習45%、その他（授業に関与する積極性など）10%。詳しくは講義初日に説明します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>関連科目としては：中国語Ⅲ、交換留学先の中国語授業など。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-車 莉莉 [英米]	1年	学内メールにてご連絡ください。	

学びの準備	ねらい このクラスは中国語Ⅰ履修済み、あるいは同等の語学力を持つ学生が登録可能なクラスです。1.ピンインの継続練習を行い、正しい発音が定着するようになります。2.中国語文の基本文型を記憶し、単文章の理解と作成ができるようになります。3.教科書の場面会話を覚え、相手の簡単な質問に答えられます。	メッセージ 前期を履修した皆さん、短い期間に発音や基本文法を習得し、素晴らしい第一歩を踏み出しました。後期に入って、以前に学習した内容を反復練習しながら、新しいものを学習していくと、さらに飛躍的な上達が実感できます。自信をもって学習に取り組んでください。
	到達目標 1.ピンインの読み書きが楽にできます 2.教科書範囲内では、「話して通じる」、「聞いてわかる」レベルの中国語会話力の習得を目指します。3.中国語の基本文型をよく記憶したうえ、修飾語を使え、より豊かな表現ができるようになります。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	受講方法などについてのガイダンス	シラバスを確認、受講の準備
	2	ピンイン、基本文法など前期の学習内容を見返す	次回の予習
	3	第6課 単語と本文を読む、「時刻」と「時間」について	復習
	4	完了形「了」/～した、中国語の連動文について	復習
	5	数量をたずねる三つの表現	復習
	6	会話、教材練習、リスニング練習	次回の予習
	7	第7課 単語と本文を読む、指示代名詞「哪儿、那儿、哪儿」	復習
	8	「在」と「有」の使い分け、中国語の前置詞について	復習
	9	「离、到、从」の相違について	復習
	10	会話、教材練習、リスニング練習	次回の予習
	11	第8課 単語と本文を読む、趣味の表現	復習
	12	経験形「过」/～したことがある、否定を表す「没」について	復習
	13	中国語の離合詞、動詞の重ね型	復習
	14	会話、教材練習、リスニング練習	復習
	15	中間まとめと総合練習	次回の予習
	16	第9課 単語と本文を読む、比較の表現	復習
	17	選択疑問文「A□是B」、自然現象を表す文の語順について	復習
	18	会話、教材練習、リスニング練習	次回の予習
	19	第10課 単語と本文を読む、「和と跟」について	復習
	20	助動詞について、予定を表す「打算+動詞」	復習
	21	願望を表す「想+動詞」、接続詞と複文	復習
	22	会話、教材練習、リスニング練習	次回の予習
	23	第11課 単語と本文を読む、動詞の後につく方向補語	復習
	24	持続形「着」/～してある	復習
	25	会話、教材練習、リスニング練習	次回の予習
	26	第12課 単語と本文を読む、動作の進行の表し方	復習
	27	動詞「给」と前置詞「给」について	復習
	28	会話、教材練習、リスニング練習	復習
	29	まとめと総合練習	復習
30	総合練習	復習	
31	期末試験		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【テキスト】：「老口好！ 一王先生との出会い」 郁文堂出版社 守屋 宏則（著），陳 浩（著），梁 月軍（著）</p>
	<p>学びの手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 後期でも継続的に発音指導が行われます。間違った発音が指摘されたら、直しましょう。 2. 簡単な発表や会話が求められます。話す力を鍛える有効な練習です、積極的に参加しましょう。 3. 課題や練習などは学習の理解度を示す重要なものです。積極的に取り組んでください。
	<p>評価</p> <p>総合成績を100点満点とします。うち、期末試験45%、小テストや課題練習45%、その他（授業に関与する積極性など）10%。詳しくは講義初日に説明します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>関連科目としては：中国語Ⅲ、交換留学先の中国語授業など。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-金田 知子 [企シ・産情]	1年	ptt143@okiu.au.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>この講義では、中国の標準語である「普通話」を学びます。中国語初級レベルの中国語知識を学びながら、実用中国語コミュニケーション能力を身につけられるよう指導します。一年を通して、基礎中国語の聞く・話す・読む・書くと言う総合的なスキルを身につけることを目指します。</p>	<p>前期と同様に発音を繰り返し練習することに重点を置き、常に個人の発音チェックを行います。更に文法事項を理解した上で身近な事柄を中国語で表現できるよう実践練習もします。また、教材の内容に合わせて中国の事情なども紹介し、異文化への理解を深められるよう工夫します。登録条件は「中国語Ⅰ履修済み」或いは同等の語学レベル習得済みの学生のみとなります。</p>
到達目標	<p>具体的な達成目標は以下の通りです。</p> <p>① ピンインを正確に発音することと聞き取れること ② 新出単語を暗記すること ③ 簡単な中国語会話ができること ④ 自ら中国語で表現できること ⑤ 簡単な中国語で文章作成すること</p> <p>最終的には、中国語の正確な発音及び基本文法知識を習得し、よく使う単語とフレーズを覚えて、中国語でのコミュニケーション力高めることを目標とします。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画	テーマ	時間外学習の内容
	回		
	1	前期の復習①	課題
	2	前期の復習②	課題
	3	第5課 お家はどこですか？ 新出単語・文法	単語を暗記し、文法事項を復習する
	4	会話	課題
	5	ドリル	課題
	6	チェック小テスト	課題
	7	第6課 ご家族は何人ですか？ 新出単語・文法	単語を暗記し、文法事項を復習する
	8	会話	課題
	9	ドリル	課題
	10	チェック小テスト	課題
	11	第7課 地下鉄で行きます。 新出単語・文法	単語を暗記し、文法事項を復習する
	12	会話	課題
	13	ドリル	課題
	14	チェック小テスト	課題
	15	第8課 あなたは前門に行ったことがありますか？ 新出単語・文法	単語を暗記し、文法事項を復習する
	16	会話	課題
	17	ドリル	課題
	18	チェック小テスト	課題
	19	第9課 一着でおいくらですか？ 新出単語・文法	単語を暗記し、文法事項を復習する
	20	会話	課題
	21	ドリル	課題
	22	チェック小テスト	課題
	23	第10課 ちょっと眠くなりました。 新出単語・文法	単語を暗記し、文法事項を復習する
	24	会話	課題
	25	ドリル	課題
	26	チェック小テスト	課題
	27	追加文法事項①	単語を暗記し、文法事項を復習する
	28	追加文法事項②	単語を暗記し、文法事項を復習する
29	総合復習	課題	
30	期末試験		
31	まとめ・目標達成度確認		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 《身につく中国語》改訂新版 楊凱栄・張麗群 著 白帝社 定価〔本体2300円＋税〕</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 中国語学習目標を達成するため、以下の心構えを持って欲しいです。 ① 大きな声で繰り返し発音を練習すること ② 教材のCDとYouTube動画を活用すること ③ 単語を暗記すること ④ 積極的に発音練習に参加すること ⑤ 予習と復習を行うこと 注意事項：中国語Ⅱの登録条件は「中国語Ⅰ履修済み」又は同等語学レベル習得済みの学生のみとなります。</p>
	<p>評価 ①チェック小テスト 50% ②期末試験 50% 以上の割合で総合的に評価します。 総授業時間の3分の1以上欠席した場合は単位を与えません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 基礎中国語の知識とスキルを身につけたら、是非中級クラスの講義を登録し、中国語能力の更なるレベルアップを目指しましょう。また、中国語検定試験にもチャレンジして下さい。 夏休みに本校の海外提携校「天津外国語大学」への短期研修に参加することをお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-金田 知子 [地行]	1年	ptt143@okiu.au.jp	

学びの準備	ねらい この講義では、中国の標準語である「普通話」を学びます。中国語初級レベルの中国語知識を学びながら、実用中国語コミュニケーション能力を身につけられるよう指導します。一年を通して、基礎中国語の聞く・話す・読む・書くと言う総合的なスキルを身につけることを目指します。	メッセージ 前期と同様に発音を繰り返し練習することに重点を置き、常に個人の発音チェックを行います。更に文法事項を理解した上で身近な事柄を中国語で表現できるよう実践練習もします。また、教材の内容に合わせて中国の事情なども紹介し、異文化への理解を深められるよう工夫します。登録条件は「中国語Ⅰ履修済み」或いは同等の語学レベル習得済みの学生のみとなります。
	到達目標 具体的な達成目標は以下の通りです。 ① ピンインを正確に発音することと聞き取れること ② 新出単語を暗記すること ③ 簡単な中国語会話ができること ④ 自ら中国語で表現できること ⑤ 簡単な中国語で文章作成すること 最終的には、中国語の正確な発音及び基本文法知識を習得し、よく使う単語とフレーズを覚えて、中国語でのコミュニケーション力高めることを目標とします。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の復習①	課題
	2	前期の復習②	課題
	3	第5課 お家はどこですか？ 新出単語・文法	単語を暗記し、文法事項を理解する
	4	会話	課題
	5	ドリル	課題
	6	チェック小テスト	課題
	7	第6課 ご家族は何人ですか？ 新出単語・文法	単語を暗記し、文法事項を理解する
	8	会話	課題
	9	ドリル	課題
	10	チェック小テスト	課題
	11	第7課 地下鉄で行きます。 新出単語・文法	単語を暗記し、文法事項を理解する
	12	会話	課題
	13	ドリル	課題
	14	チェック小テスト	課題
	15	第8課 あなたは前門に行ったことがありますか？ 新出単語・文法	単語を暗記し、文法事項を理解する
	16	会話	課題
	17	ドリル	課題
	18	チェック小テスト	課題
	19	第9課 一着でおいくらですか？ 新出単語・文法	単語を暗記し、文法事項を理解する
	20	会話	課題
	21	ドリル	課題
	22	チェック小テスト	課題
	23	第10課 ちょっと眠くなりました。 新出単語・文法	単語を暗記し、文法事項を理解する
	24	会話	課題
	25	ドリル	課題
	26	チェック小テスト	課題
	27	追加文法事項と練習①	課題
	28	追加文法事項と練習②	課題
29	総合復習	課題	
30	期末試験		
31	まとめ・目標達成度確認		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 《身につく中国語》改訂新版 楊凱栄・張麗群 著 白帝社 定価〔本体2300円＋税〕</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 中国語学習目標を達成するため、以下の心構えを持って欲しいです。 ① 大きな声で繰り返し発音を練習すること ② 教材のCDとYouTube動画を活用すること ③ 単語を暗記すること ④ 積極的に発音練習に参加すること ⑤ 予習と復習を行うこと 注意事項：中国語Ⅱの登録条件は「中国語Ⅰ履修済み」又は同等語学レベル習得済みの学生のみとなります。</p>
	<p>評価 ①チェック小テスト 50% ②期末試験 50% 以上の割合で総合的に評価します。 大学の規則より、総授業時間の1/3以上欠席した場合には単位を与えません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 基礎中国語の知識とスキルを身につけたら、是非中級クラスの講義を登録し、中国語能力の更なるレベルアップを目指しましょう。また、中国語検定試験にもチャレンジして下さい。 夏休みに本校の海外提携校「天津外国語大学」への短期研修に参加することをお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-顔 瑾 [日文]	1年	ptt414@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>前期に引き続き、中国語初級レベルの会話力を身につけ、実際に応用できる中国語の習得を目指します。前期で学習したポイントを復習・強化しながら、正確な発音の定着、初級レベルの短文の理解と作文、日常会話によるコミュニケーションができることを目標とします。更に、中国語検定試験に向けて、練習や模擬問題を講義中に取り込み、中国語検定試験4級レベルの合格を目指します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国語の表現及び正確な発音を習得し、基本文型、実践できる会話力をしっかり修得することを目標とします。 異文化への理解を深めながら、中国語の表現を介して、自分のコミュニケーション・スキルアップを目指します。 実力をアップし、中国語検定への合格を目指します。 	<p>指定学年・学科が優先します。本クラスは総合文化学部(日本文化学科)の一年次が優先です。「中国語Ⅰ」履修済み、あるいは同等の基礎が有る者が登録できます。初心者でも正確に発音できるように指導します。学生が直面しやすい場面や話しやすい話題、そして覚えやすい表現などを学習し、実践的な中国語を話せるようにします。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション、前期の復習	シラバスをよく読むこと
	2	第8課 前門に行ったことがありますか。	単語の発音練習
	3	文法：経験、時間の幅	本文の発音練習、文法事項の学習
	4	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	5	第9課 いくらですか。	単語の発音練習
	6	文法：金額の表現、完了の表現	本文の発音練習、文法事項の学習
	7	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	8	第10課 少し眠くなった	単語の発音練習
	9	文法：文末の「了」、比較	本文の発音練習、文法事項の学習
	10	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	11	第11課 小説を読む時間がありますか。	単語の発音練習
	12	文法：方向補語、強調文	本文の発音練習、文法事項の学習
	13	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	14	第12課 少し習ったことがあります。	単語の発音練習
	15	文法：動作の進行、使役文	本文の発音練習、文法事項の学習
	16	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	17	第13課 返事をしようと思ったところです。	単語の発音練習
	18	文法：結果補語、動詞の連体修飾	本文の発音練習、文法事項の学習
	19	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	20	第14課 餃子を作れますか。	単語の発音練習
	21	文法：助動詞「できる」の表現。結果補語	本文の発音練習、文法事項の学習
	22	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	23	第15課 包み終わった餃子を持ってきて	単語の発音練習
	24	文法：処置文、受け身	本文の発音練習、文法事項の学習
	25	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	26	第16課 お料理はとても美味しいですね。	単語の発音練習
	27	文法：連動文、「できる」の表現	本文の発音練習、文法事項の学習
	28	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	29	総復習	総復習
30	総復習	総復習	
31	期末テスト	総復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：身につく中国語 改訂新版 白帝社 参考文献：しゃべっていいとも中国語 朝日出版社 また、授業中に練習用資料を配布したり、中国を紹介する映像を見せたりします。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回出欠確認を行います。 ・予習・復習をしっかり行い、「時間外学習の内容」を予習の課題とします。 ・話すことが目的です。会話練習を積極的に参加し、声を出して練習に取り込めましょう。
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> *普段の授業への取り込み、会話の参加度、課題の提出&完成度：50% *毎課小テスト、期末課題：50% ・学則に従い、総授業時間の1/3以上欠席した場合は単位を与えません
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>さらなる中級、上級クラスへの継続的な学習を薦めます。 「中国語II」で学習した内容の定着を図りながら、より幅広い表現を、より自由に運用できるように、実際に役に立つ中国語を身につけることができます。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-顔 瑾 [人福]	1年	ptt414@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>前期に引き続き、中国語初級レベルの会話力を身につけ、実際に応用できる中国語の習得を目指します。前期で学習したポイントを復習・強化しながら、正確な発音の定着、初級レベルの短文の理解と作文、日常会話によるコミュニケーションができることを目標とします。更に、中国語検定試験に向けて、練習や模擬問題を講義中に取り込み、中国語検定試験4級レベルの合格を目指します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国語の表現及び正確な発音を習得し、基本文型、実践できる会話力をしっかり修得することを目標とします。 異文化への理解を深めながら、中国語の表現を介して、自分のコミュニケーション・スキルアップを目指します。 実力をアップし、中国語検定への合格を目指します。 	<p>指定学年・学科を優先します。本クラスは総合文化学部人間福祉学科の一年次の学生が優先です。「中国語Ⅰ」履修済み、あるいは同等の基礎が有る者が登録できます。初心者でも正確に発音できるように指導します。学生が直面しやすい場面や話しやすい話題、そして覚えやすい表現などを学習し、実践的な中国語を話せるようにします。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション、前期の復習	シラバスをよく読むこと
	2	第8課 前門に行ったことがありますか。	単語の発音練習
	3	文法：経験、時間の幅	本文の発音練習、文法事項の学習
	4	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	5	第9課 いくらですか。	単語の発音練習
	6	文法：金額の表現、完了の表現	本文の発音練習、文法事項の学習
	7	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	8	第10課 少し眠くなった	単語の発音練習
	9	文法：文末の「了」、比較	本文の発音練習、文法事項の学習
	10	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	11	第11課 小説を読む時間がありますか。	単語の発音練習
	12	文法：方向補語、強調文	本文の発音練習、文法事項の学習
	13	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	14	第12課 少し習ったことがあります。	単語の発音練習
	15	文法：動作の進行、使役文	本文の発音練習、文法事項の学習
	16	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	17	第13課 返事をしようと思ったところです。	単語の発音練習
	18	文法：結果補語、動詞の連体修飾	本文の発音練習、文法事項の学習
	19	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	20	第14課 餃子を作れますか。	単語の発音練習
	21	文法：助動詞「できる」の表現。結果補語	本文の発音練習、文法事項の学習
	22	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	23	第15課 包み終わった餃子を持ってきて	単語の発音練習
	24	文法：処置文、受け身	本文の発音練習、文法事項の学習
	25	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	26	第16課 お料理はとても美味しいですね。	単語の発音練習
	27	文法：連動文、「できる」の表現	本文の発音練習、文法事項の学習
	28	ドリル・実践会話	ドリル&小テストの準備
	29	総復習	総復習
30	総復習	総復習	
31	期末テスト	総復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：身につく中国語 改訂新版 白帝社 参考文献：しゃべっていいとも中国語 朝日出版社 また、授業中に練習用資料を配布したり、中国を紹介する映像を見せたりします。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回出欠確認を行います。 ・予習・復習をしっかり行い、「時間外学習の内容」を予習の課題とします。 ・話すことが目的です。会話練習を積極的に参加し、声を出して練習に取り込めましょう。
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> *普段の授業への取り込み、会話の参加度、課題の提出&完成度：50% *毎課小テスト、期末課題：50% ・学則に従い、総授業時間の1/3以上欠席した場合は単位を与えません
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>さらなる中級、上級クラスへの継続的な学習を薦めます。 「中国語II」で学習した内容の定着を図りながら、より幅広い表現を、より自由に運用できるように実際に役に立つ中国語を身につけることができます。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-張 維 真 [全学科(2年次以上)]	2年	msweijena@gmail.com	

学びの準備	ねらい 中国語の基礎な発音をマスターし、実践的な会話力を身につける。授業では特に発音や声調の習得に重点をおく。	メッセージ 中国語Ⅰ履修済み、あるいは同等の基礎がある者を対象とする。授業に毎回参加し、発音のチェックを受けることを要求します。
	到達目標 中国語検定四級レベルのスキル習得を目標としている。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス、発音の復習	第1～6の復習
	2	第7課 ポイント1～2説明と発音チェック	発音と読み練習
	3	第7課 ポイント3～4説明と発音チェック	同上
	4	第7課 ポイント5説明と発音チェック	同上
	5	第7課 本文説明&発音練習とチェック	練習問題とドリルを書く
	6	第8課 数字&お金の計算	数字の言い方練習
	7	第8課 曜日&日にちの練習とチェック	曜日&日にちの練習
	8	第8課 時刻の言い方練習とチェック	時刻の言い方練習
	9	第8課 本文説明と読み練習	練習問題とドリルを書く
	10	第9課 ポイント1～2説明と発音チェック	発音と読み練習
	11	第9課 ポイント3～4説明と発音チェック	同上
	12	第9課 本文説明とドリル練習問題	練習問題を書く
	13	第10課 ポイント1～2説明と発音チェック	発音と読み練習
	14	第10課 ポイント3～4説明と発音チェック	同上
	15	第10課 ポイント5説明と発音チェック	同上
	16	第10課 本文説明と発音チェック	練習問題&ドリルを書
	17	第11課 ポイント1～2説明と発音チェック	発音と読み練習
	18	第11課 ポイント3～4説明と発音チェック	同上
	19	第11課 ポイント5～6説明と発音チェック	同上
	20	第11課 本文説明と発音チェック	練習問題&ドリルを書く
	21	第12課 ポイント1～2説明と発音チェック	発音と読み練習
	22	第12課 ポイント3～4説明と発音チェック	同上
	23	第12課 ポイント5説明と発音チェック	同上
	24	第12課 本文説明と発音チェック	練習問題&ドリルを書く
	25	第13課 ポイント1～2説明と発音チェック	発音と読み練習
	26	第13課 ポイント3～5説明と発音チェック	同上
	27	第13課 本文説明と発音チェック	練習問題&ドリルを書く
	28	期末総合復習	発音と読み復習
	29	期末総合復習	同上
30	期末テスト1日目	同上	
31	期末テスト2日目	これからも中国語を続けて頑張る	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 身につく中国語 [改訂新版] 楊凱榮・張麗群 著 白帝社</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て このクラスは学科と学年指定が優先する。登録する条件は中国語I履修済み或いは同等の語学習得済みである。</p>
	<p>評価 授業の参加度とオーラルチェック：50% 練習&ドリル：20% 期末テスト：30% 大学のきそくにより、総授業時間の1/3以上欠席した場合は単位を与えることができません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 中国語検定4級を受けることと続けて勉強することをおすすめする。 。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-島袋 直樹 [全学科]	全学年	授業の日に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい 中国語の発音と文法の基本を理解し、簡単な文を作ったり会話ができるようになることを目指します。	メッセージ 授業で学んだことを一つずつ結びつけていくと簡単な文からだんだん複雑な文が作れるようになっていきます。中国語を使ってどんなことを伝えたいのか、どんなことが知りたいのかを考えながら勉強してください。「中国語Ⅱ」を登録できるのは「中国語Ⅰ」を履修済み 或いは同等の語学能力がある学生です。
	到達目標 1. 正確な発音ができるようになる。 2. 発音の聞き取りができるようになる。 3. 基本的な単語を覚える。 4. 基本的な文法事項を習得して簡単な文を作ったり会話をすることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業のガイダンス、発音の復習（単母音、複合母音、鼻母音、声調）	授業の復習、課題提出、発音練習
	2	発音の復習（子音）	授業の復習、課題提出、発音練習
	3	発音の復習（ピンインの書き方の決まり、声調の決まり）	授業の復習、課題提出、発音練習
	4	単語の復習	授業の復習、課題提出、発音練習
	5	文法の復習（文の組み立て方、動詞述語文）	授業の復習、課題提出、発音練習
	6	文法の復習（「的」の使い方、動詞「是」）	授業の復習、課題提出、発音練習
	7	文法の復習（形容詞述語文）	授業の復習、課題提出、発音練習
	8	文法の復習（名詞述語文）	授業の復習、課題提出、発音練習
	9	文法の復習（少し複雑な主語や目的語）	授業の復習、課題提出、発音練習
	10	疑問文⑤選択疑問文（第8課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	11	金額の言い方（第9課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	12	動詞「在」（第5課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	13	人やモノの数え方（第6課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	14	動詞「有」①（第6課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	15	動詞「有」②（第6課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	16	基本文型④主述述語文の肯定文、否定文、疑問文①②③④（第6課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	17	まとめ	授業の復習、課題提出、発音練習
	18	副詞（第1課、第3課、第10課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	19	副詞（第1課、第3課、第10課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	20	語気助詞（第2課、第3課、第9課、第10課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	21	時間詞	授業の復習、課題提出、発音練習
	22	前置詞（第5課、第9課、第10課、第11課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	23	助動詞（第7課、第8課、第14課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	24	動態助詞（第8課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	25	動態助詞（第9課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	26	時間の長さ、回数（第8課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	27	補語（第8課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	28	連動文（第7課）	授業の復習、課題提出、発音練習
	29	まとめ	授業の復習、課題提出、発音練習
30	テスト	授業の復習、発音練習	
31	授業の総括	授業の復習、発音練習	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>①文法事項を説明したテキストを配布します。 ②『身につく中国語 [改訂新版]』楊凱榮・張麗群著（白帝社）</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>①この授業ではGoogle Classroomを使用します。Google Classroomについての説明や参加方法は授業の時に説明します。 ②Google Classroomでテキストを配布しますので各自プリントアウトして授業に参加してください。 ③授業中にスマホなどの機器を利用してGoogle Classroomやインターネットを使用させる場合があります。 ④この授業は小テストや課題が多く、成績評価もこれらの項目の配点割合が高いので日頃から努力していないと良い評価はもらえません。受け身にならず自分から積極的に取り組んでください。</p>
	<p>評価</p> <p>小テスト・課題80%、期末テスト20%で評価します。 但し、総授業時間数の三分の一以上欠席した場合には単位は与えません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>「中国語Ⅲ」が開講されるので引き続き受講し学びを深めてください。 検定試験やスピーチコンテストなどにも積極的にチャレンジしてレベルアップを目指してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅲ	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	兼本 敏[全学科]	2年	教室にて。アポは：kanemoto@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 「中国語Ⅰ・Ⅱ」に引き続き、話す、聞く、読むといった総合的な能力の向上を図り、これまでに学習した基本文型を駆使して「楽しかった思い出」「私のおススメ」等、中国人を相手に自由会話ができるようになる。	メッセージ 「中国語Ⅲ」では自分の意見を発話できるよう基本文型を活用した実践的な会話形式を想定して学習します。会話文の暗記や質疑応答の練習をしますので、恥ずかしがらずに積極的に取り組みましょう。また、このクラスでは中国人のSAが参加します。SAが皆さんの会話能力の向上の手助けしてくれます
	到達目標 中国の友人を作り中国のことを聞いたり沖縄のことを紹介したりできるよう中国語の基本文型を習得します。学期の終わりにはSAと中国語で気軽に会話できるようになりましょう。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	自己紹介とオリエンテーション	学習目標の確認
	2	授業方法の確認。SAの紹介・評価方法の提示	PCでの中国語入力練習
	3	中国語既習事項の確認	中国語Ⅰ・Ⅱの総復習
	4	習得度テスト	中国語Ⅰ・Ⅱの総復習
	5	個別指導（発音の矯正）	中国語Ⅰ・Ⅱの総復習
	6	第1課「中国へ行こう」 助動詞「可以」「要」、主述述語文	習得度テストを解く
	7	対話練習と語法確認	本文の発音練習
	8	練習問題 習得度確認テスト	練習問題の予習
	9	第2課「ウーロン茶を飲もう」 「原因・理由」の表現、「逆接」を表す「可是」	単語テストの準備
	10	対話練習と語法確認	新出語句を使った作文
	11	練習問題 習得度確認テスト	習得度テストを解く
	12	実力アップトレーニングと単語テスト	本文の発音練習
	13	練習問題 習得度確認テスト	単語テストの準備
	14	第3課「友達を作ろう」 連動文、「是～的」の文	本文暗記と朗読
	15	対話練習と語法確認	本文暗記と朗読
	16	練習問題 習得度確認テスト	習得度テストを解く
	17	実力アップトレーニングと単語テスト	総復習
	18	第1課から第3課までのまとめ	予習
	19	第4課「長城に登ろう」 「了」の3つの用法、副詞「就」	本文の発音練習
	20	対話練習と語法確認	練習問題の予習
	21	対話練習と語法確認	練習問題の予習
	22	練習問題	単語テストの準備
	23	実力アップトレーニングと単語テスト	習得度テストを解く
	24	第5課「漢字を覚えよう」 結果補語、仮定を表す「要是」	本文発音の練習
	25	対話練習と語法確認	練習問題の予習
	26	練習問題	新出語句を使った作文
	27	実力アップトレーニングと単語テスト	習得度テストを解く
	28	学習項目の確認と習得度確認(再チャレンジ)	総復習
29	学習項目の確認と習得度確認(再チャレンジ)	弱点を復習	
30	発音の矯正（録音・再提出）	課題の課の発音練習	
31	個別指導（録音・再提出）	（録音・再提出）	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：《新版》『中国語さらなる一步』竹島金吾 監修 尹景春・竹島毅 著（白水社） 参考文献は授業中紹介する。必要に応じてプリントを配布し、ビデオ、CD、DVD等を使用する。授業の進捗状況によって内容を変更する場合がある。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>このクラスには中国語が堪能なS Aが参加します。積極的に中国語で話しかけて発音の矯正、発話を通じるかなどを試してみましょう。そのためには授業外でも言いたいことや聞きたいことを事前に考え、作文しておくことが大切です。これは授業での学習項目にも通じるものです。</p>
	<p>評価</p> <p>課毎の本文の暗唱チェックと単語テスト（30%）、習得度テスト（30%）、最終課題（40%）で評価します。但し、総授業時間数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えません。 「中国語Ⅲ」の履修条件として、「中国語Ⅱを履修済み」、或いは同等の語学能力がある者を対象とする。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>中国語Ⅳを継続的に履修し、学内外のスピーチコンテストに参加して実践的実力をつけてほしい。 台湾東海大学夏季短期研修（1か月）、台湾東海大学春季短期研修（1か月）、台湾東海大学長期研修（1年）、マカオ大学長期研修（1年）等への参加を通してスキルアップを図ってほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅳ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	兼本 敏[全学科]	2年	授業の前後。アポは；kanemoto@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに引き続き、話す、聞く、読むといった総合的な能力の向上を目指します。SAによる発音指導や会話練習を通して中国語での会話に慣れ親しみ、自信につなげたい。また、講義の要素を取り入れ、短文の読解、文章の翻訳、日常生活に必要な実践的な作文力をつけます。中国語Ⅰ～Ⅲで学習した語彙を定着させ、運用能力を高めます。	初日の講義では、後期の講義に関して大切な説明があります。絶対に参加してください。 「中国語Ⅳ」の履修条件として、「中国語Ⅲを履修済み」、或いは同等の語学能力がある者を対象とする。
到達目標	中国語検定3級程度の語彙力をつけ、辞書を引きながら簡単な長文を読み、正しく理解できるようにしましょう。また、辞書に頼らず簡単な日常会話をスムーズに行い、日記程度の作文が書けるようにしましょう。(中国語検定3級以上の取得をめざしましょう。)	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	講義の進め方と評価方法について 中国語Ⅲの復習(文型・語彙)	講義・評価の説明
	2	第6課「街を歩こう」 存現文(ある・いる)の表現	新出語句の予習
	3	会話練習と語法確認	練習問題の予習
	4	練習問題と会話テスト	習得度問題を解く
	5	第7課「中国映画を見よう」 状態の持続を表す「着」、部分否定	新出語句の予習
	6	会話練習と語法確認	練習問題の予習
	7	練習問題と会話テスト	単語テストの準備
	8	第8課「シルクを買おう」 方向補語、「使役」の表現、疑問詞の不定用法	新出語句の予習
	9	会話練習と語法確認	練習問題の予習
	10	練習問題と会話テスト	習得度問題を解く
	11	第9課「中華を食べよう」 可能補語、強調表現	新出語句の予習
	12	会話練習と語法確認	本文を発音練習
	13	練習問題と会話テスト	習得度問題を解く
	14	第6課～第9課の復習	教科書の復習
	15	中国語スピーチの原稿作成	中国語スピーチの原稿作成
	16	中国語スピーチの原稿作成	中国語スピーチの原稿作成
	17	中国語スピーチの原稿作成	中国語スピーチの原稿作成
	18	中国語スピーチの原稿作成	中国語スピーチの原稿作成
	19	スピーチの実践	発音矯正
	20	スピーチの実践	発音矯正
	21	第10課「太極拳を習おう」 推測を表す「会」、「～了～了」の用法	単語テストの準備
	22	会話練習と語法確認	新出語句の予習
	23	練習問題と会話テスト	練習問題の予習
	24	第11課「水滸伝を楽しもう」 結果補語、受け身を表す「被」	習得度問題を解く
	25	会話練習と語法確認	弱点の再学習
	26	練習問題と単語テスト	同上
	27	第12課「春節を過ごそう」 「快～了」の用法、介詞「把」の使い方	習得度問題を解く
	28	会話練習と語法確認	習得度問題を解く
	29	練習問題と会話テスト	習得度問題を解く
30	総復習(学期末試験)	総復習	
31	学習項目の総復習	振り返りと今後の学習計画	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など テキスト：《新版》『中国語さらなる一歩』竹島金吾 監修 尹景春・竹島毅 著（白水社）。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て このクラスには中国人のS Aが参加します。積極的に中国語で話しかけて自分の発音の矯正、発話が通じるかなどを試してみましょう。また、中国語IVの受講者は「学内外のスピーチコンテスト」への参加を奨励します。SAの力を借りてしっかり取り組みましょう。簡体字に慣れ、単語を覚えるためにも課毎の新しい単語の予習を欠かさず行いましょう。受講の際には辞書を用意しましょう。（電子辞書可）</p>
	<p>評価 毎課の会話文への取り組み（40%）、毎課の会話テストと文型の問題（30%）、学内スピーチコンテスト用原稿（30%）を総合的に評価します。但し、総授業時間数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 中国語検定3級以上の取得を目指して学習に取り組んでほしい。また、台湾東海大学夏季短期研修（1ヶ月）、台湾東海大学春季短期研修（1ヵ月）、台湾東海大学長期研修（1年）、マカオ大学長期研修（1年）等への参加を通してスキルアップを図ってほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-アンドレア スヴォボダ [全学科]	2年	講義終了後に受け付けます。	

学びの準備	ねらい ドイツ語を初めて学ぶ学生のための授業です。授業の柱は、発音、ドイツ語の基本構造の理解、ドイツ語圏への理解の三つです。前期はとくに発音をマスターできるようにしましょう。	メッセージ ドイツ語の発音は基本的にローマ字読みなので難しくはありません。声に出して練習してください。言葉は文化の担い手でもあります。言語の学習を通じてドイツの文化を学んでください。
	到達目標 この授業を受けた人は次の技能と知識を習得できます。 ①正しい発音で、日常生活に使える簡単な会話ができるようになる。 ②ドイツ語の基本構造を理解し、平易な文章を読み、短い作文ができるようになる。 ③ドイツ語圏について具体的なイメージをもち、それを説明することができるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	教科書の購入
	2	発音してみよう	発音の復習・課題
	3	状況にあったあいさつができる、名前を言える	あいさつの復習・課題
	4	アルファベットを発音できる、自分の気分を伝えられる	アルファベットの復習・課題
	5	出身を言える（現在人称変化）	出身の復習・課題
	6	住んでいる場所、専攻を言える	場所・専攻の復習・課題
	7	自己紹介ができ、聞きとることができる	自己紹介の復習・課題
	8	職業を言える	職業の復習・課題
	9	国名や出身国を聞きとることができる（seinの変化）	国名・出身国の復習・課題
	10	どこに住んでいるか当てられる、文章をつなげられる（並列の接続詞）	住んでいる場所の復習・課題
	11	自己紹介を聞いて、誰なのか当てられる	聴解の復習・課題
	12	どの外国語を学んでいるか言える	外国語名の復習・課題
	13	友人を紹介できる（三人称）、電話番号を言える（1から10の数字）	数字の復習・課題
	14	兄弟姉妹がいるかどうか言える（habenの変化）	家族構成の復習・課題
	15	他の人のプロフィールを読んで、必要な情報を得ることができる	読解の復習・課題
	16	定期試験	試験のみなおし
	17	試験の返却と解説	試験のみなおし
	18	第1課から第3課までの復習	試験のみなおしと復習
	19	部屋にある物の名前や色を言うことができる（名詞の性と不定冠詞）	物の名前・色の復習・課題
	20	「～はどこ」物を探すことができる（定冠詞）、11以上の数字を発音できる	定冠詞と数字の復習・課題
	21	食べ物や飲み物の名前を言える、レストランで注文できる	食べ物飲み物名の復習・課題
	22	食習慣について伝えることができる（不規則変化動詞）	食習慣の復習・課題
	23	部屋の名前、様子を説明できる（人称代名詞）	部屋の名前・様子の復習・課題
	24	家具、家電の名前を言える（名詞の複数形）	家具・家電の復習・課題
	25	「彼を訪問します」人称代名詞4格を使うことができる	人称代名詞4格の復習・課題
	26	デパートで売り場を探すことができる、部屋の好みについて話せる	デパート・部屋の復習・課題
	27	自分の家族、家族構成を説明できる（所有冠詞）	家族紹介の復習・課題
	28	他の人の家族、友人について話せる	家族紹介の復習・課題
	29	他の人の家族、友人について聞きとれる	聴解の復習・課題
30	「持っていません」否定冠詞を使うことができる	否定冠詞の復習・課題	
31	定期試験	試験のみなおし	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 新倉真矢子，正木晶子，中野有希子『シュピツェ！1 コミュニケーションで学ぶドイツ語』（朝日出版，2018，ISBN 978-4-255-25422-7） ドイツ語辞書についてはすぐに購入する必要はありません。授業のなかで説明します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 何事もはじめは大変ですが，同時にとても大切でもあります。まずは休まずに継続してみてください。とくに復習に力を入れて，ドイツ語の発音，基本構造，語彙を身につけましょう，そうすると少しずつ文章が理解できるようになったり，簡単な質問を理解してそれに答えることもできるようになります。</p>
	<p>評価 平常点（毎回の授業参加度，課題提出）30%，試験（小テスト，定期試験）70%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 次のステージ：ドイツ語Ⅱ，関連科目：文学，ヨーロッパ研究</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	岡野 薫 [日文・社文]	1年	k.okanoあつとまあくokuu.ac.jp	

学びの準備	ねらい ドイツ語を初めて学ぶ学生のための授業です。授業の柱は、発音、ドイツ語の基本構造の理解、ドイツ語圏への理解の三つです。前期はとくに発音をマスターできるようにしましょう。	メッセージ ドイツ語の発音は基本的にローマ字読みなので難しくはありません。声に出して練習してください。言葉は文化の担い手でもあります。言語の学習を通じてドイツの文化を学んでください。
	到達目標 この授業を受けた人は次の技能と知識を習得できます。 ①正しい発音で、日常生活に使える簡単な会話ができるようになる。 ②ドイツ語の基本構造を理解し、平易な文章を読み、短い作文ができるようになる。 ③ドイツ語圏について具体的なイメージをもち、それを説明することができるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	教科書の購入
	2	発音してみよう	発音の復習・課題
	3	状況にあったあいさつができる、名前を言える	あいさつの復習・課題
	4	アルファベットを発音できる、自分の気分を伝えられる	アルファベットの復習・課題
	5	出身を言える（現在人称変化）	出身の復習・課題
	6	住んでいる場所、専攻を言える	場所・専攻の復習・課題
	7	自己紹介ができ、聞きとることができる	自己紹介の復習・課題
	8	職業を言える	職業の復習・課題
	9	国名や出身国を聞きとることができる（seinの変化）	国名・出身国の復習・課題
	10	どこに住んでいるか当てられる、文章をつなげられる（並列の接続詞）	住んでいる場所の復習・課題
	11	自己紹介を聞いて、誰なのか当てられる	聴解の復習・課題
	12	どの外国語を学んでいるか言える	外国語名の復習・課題
	13	友人を紹介できる（三人称）、電話番号を言える（1から10の数字）	数字の復習・課題
	14	兄弟姉妹がいるかどうか言える（habenの変化）	家族構成の復習・課題
	15	他の人のプロフィールを読んで、必要な情報を得ることができる	読解の復習・課題
	16	定期試験	試験のみなおし
	17	試験の返却と解説	試験のみなおし
	18	第1課から第3課までの復習	試験のみなおしと復習
	19	部屋にある物の名前や色を言うことができる（名詞の性と不定冠詞）	物の名前・色の復習・課題
	20	「～はどこ」物を探すことができる（定冠詞）、11以上の数字を発音できる	定冠詞と数字の復習・課題
	21	食べ物や飲み物の名前を言える、レストランで注文できる	食べ物飲み物名の復習・課題
	22	食習慣について伝えることができる（不規則変化動詞）	食習慣の復習・課題
	23	部屋の名前、様子を説明できる（人称代名詞）	部屋の名前・様子の復習・課題
	24	家具、家電の名前を言える（名詞の複数形）	家具・家電の復習・課題
	25	「彼を訪問します」人称代名詞4格を使うことができる	人称代名詞4格の復習・課題
	26	デパートで売り場を探すことができる、部屋の好みについて話せる	デパート・部屋の復習・課題
	27	自分の家族、家族構成を説明できる（所有冠詞）	家族紹介の復習・課題
	28	他の人の家族、友人について話せる	家族紹介の復習・課題
29	他の人の家族、友人について聞きとれる	聴解の復習・課題	
30	「持っていません」否定冠詞を使うことができる	否定冠詞の復習・課題	
31	定期試験	試験のみなおし	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 新倉真矢子，正木晶子，中野有希子『シュピツェ！1 コミュニケーションで学ぶドイツ語』（朝日出版，2018，ISBN 978-4-255-25422-7） ドイツ語辞書についてはすぐに購入する必要はありません。授業のなかで説明します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 何事もはじめは大変ですが，同時にとても大切でもあります。まずは休まずに継続してみてください。とくに復習に力を入れて，ドイツ語の発音，基本構造，語彙を身につけましょう，そうすると少しずつ文章が理解できるようになったり，簡単な質問を理解してそれに答えることもできるようになります。</p>
	<p>評価 平常点（毎回の授業参加度，課題提出）30%，試験（小テスト，定期試験）70%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 次のステージ：ドイツ語Ⅱ，関連科目：文学，ヨーロッパ研究</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-東江 貴子[経済・環政・企シ・産情・英米]	1年	質問は授業内に受付けます。	

学びの準備	ねらい ドイツ語を初めて学ぶ学生のための授業です。授業の柱は、発音、ドイツ語の基本構造の理解、ドイツ語圏への理解の三つです。前期はとくに発音をマスターできるようにしましょう。	メッセージ ドイツ語の発音は基本的にローマ字読みなので難しくはありません。声に出して練習してください。言葉は文化の担い手でもあります。言語の学習を通じてドイツの文化を学んでください。
	到達目標 この授業を受けた人は次の技能と知識を習得できます。 ①正しい発音で、日常生活に使える簡単な会話ができるようになる。 ②ドイツ語の基本構造を理解し、平易な文章を読み、短い作文ができるようになる。 ③ドイツ語圏について具体的なイメージをもち、それを説明することができるようになる。	

学びの準備	到達目標 この授業を受けた人は次の技能と知識を習得できます。 ①正しい発音で、日常生活に使える簡単な会話ができるようになる。 ②ドイツ語の基本構造を理解し、平易な文章を読み、短い作文ができるようになる。 ③ドイツ語圏について具体的なイメージをもち、それを説明することができるようになる。
-------	---

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	教科書の購入
	2	発音してみよう	発音の復習・課題
	3	状況にあったあいさつができる、名前を言える	あいさつの復習・課題
	4	アルファベットを発音できる、自分の気分を伝えられる	アルファベットの復習・課題
	5	出身を言える（現在人称変化）	出身の復習・課題
	6	住んでいる場所、専攻を言える	場所・専攻の復習・課題
	7	自己紹介ができ、聞きとることができる	自己紹介の復習・課題
	8	職業を言える	職業の復習・課題
	9	国名や出身国を言える	国名・出身国の復習・課題
	10	どこに住んでいるか当てられる、文章をつなげられる（並列の接続詞）	住んでいる場所の復習・課題
	11	自己紹介を聞いて、誰なのか当てられる	聴解の復習・課題
	12	どの外国語を学んでいるか言える	外国語名の復習・課題
	13	友人を紹介できる（三人称）、電話番号を言える（1から10の数字）	数字の復習・課題
	14	規則動詞を使って自分の事が言える	自己紹介復習・課題
	15	他の人のプロフィールを読んで、必要な情報を得ることができる	読解の復習・課題
	16	定期試験	試験のみなおし
	17	試験のみなおしと確認	試験のみなおし
	18	sein動詞を覚える	記憶し復唱する
	19	自分の学部・専攻が言える	長い単語・合成語を発音練習
	20	11以上の数字を発音できる	数字の復習・課題
	21	小テスト（口頭）	発音の復習
	22	食習慣について伝えることができる（不規則変化動詞）	食習慣の復習・課題
	23	haben動詞	記憶し復習する
	24	sein動詞とhaben動詞、規則動詞を使って	動詞の復習
	25	Das ist で友人を紹介する	名前を読む課題
	26	自由に自己紹介できる	書く練習
	27	食文化を紹介する	読む練習
	28	ドイツ人の発音をまねて練習してみよう	音声を聞く復習
	29	形容詞を使って表現する	対になった形容詞を発音・復習
30	正しくはっきりと流暢に音読しよう	単語の復習	
31	定期試験	試験のみなおし	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 新倉真矢子, 正木晶子, 中野有希子『シュピッツェ!1 コミュニケーションで学ぶドイツ語』(朝日出版, 2018, ISBN 978-4-255-25422-7)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 何事もはじめは大変ですが, 同時にとても大切でもあります。まずは休まずに継続してみてください。とくに復習に力を入れて, ドイツ語の発音, 基本構造, 語彙を身につけましょう, そうすると少しずつ文章が理解できるようになったり, 簡単な質問を理解してそれに答えることもできるようになります。</p>
	<p>評価 平常点(毎回の授業参加度, 課題提出)30%, 試験(小テスト, 定期試験)70%、詳細は授業時間内オリエンテーションで伝達します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 次のステージ: ドイツ語Ⅱ, 関連科目: 文学, ヨーロッパ研究</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-東江 貴子 [人福]	1年	質問は授業内に受け付けます	

学びの準備	ねらい ドイツ語を初めて学ぶ学生のための授業です。授業の柱は、発音、ドイツ語の基本構造の理解、ドイツ語圏への理解の三つです。前期はとくに発音をマスターできるようにしましょう。	メッセージ ドイツ語の発音は基本的にローマ字読みなので難しくはありません。声に出して練習してください。言葉は文化の担い手でもあります。言語の学習を通じてドイツの文化を学んでください。
	到達目標 この授業を受けた人は次の技能と知識を習得できます。 ①正しい発音で、日常生活に使える簡単な会話ができるようになる。 ②ドイツ語の基本構造を理解し、平易な文章を読み、短い作文ができるようになる。 ③ドイツ語圏について具体的なイメージをもち、それを説明することができるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	教科書の購入
	2	発音してみよう	発音の復習・課題
	3	状況にあったあいさつができる、名前を言える	あいさつの復習・課題
	4	アルファベットを発音できる、自分の気分を伝えられる	アルファベットの復習・課題
	5	出身を言える（現在人称変化）	出身の復習・課題
	6	住んでいる場所、専攻を言える	場所・専攻の復習・課題
	7	自己紹介ができ、聞きとることができる	自己紹介の復習・課題
	8	職業を言える	職業の復習・課題
	9	国名や出身国を聞きとることができる（seinの変化）	国名・出身国の復習・課題
	10	どこに住んでいるか当てられる、文章をつなげられる（並列の接続詞）	住んでいる場所の復習・課題
	11	自己紹介を聞いて、誰なのか当てられる	聴解の復習・課題
	12	どの外国語を学んでいるか言える	外国語名の復習・課題
	13	友人を紹介できる（三人称）、電話番号を言える（1から10の数字）	数字の復習・課題
	14	兄弟姉妹がいるかどうか言える（habenの変化）	家族構成の復習・課題
	15	他の人のプロフィールを読んで、必要な情報を得ることができる	読解の復習・課題
	16	定期試験	試験のみなおし
	17	試験のみなおしと確認	試験のみなおし
	18	sein動詞を憶える	記憶し復習する
	19	自分の学部・専攻が言える	長い単語・合成語を発音練習
	20	11以上の数字を発音できる	数字の復習・課題
	21	小テスト（口頭）	食べ物飲み物名の復習・課題
	22	食習慣について伝えることができる（不規則動詞）	発音の復習
	23	haben動詞	記憶し復習する
	24	sein動詞とhaben動詞規則動詞を使って	動詞の復習
	25	Das istで友人を紹介する	名前を読む課題
	26	自由に自己紹介できる	書く練習
	27	食文化を紹介する	読む練習
	28	ドイツ人の発音をまねて練習してみよう	音声を聞く復習
	29	形容詞を使って表現する	対になった形容詞を発音・復習
30	正しくはっきりと流暢に発音しよう	単語復習	
31	定期試験	試験のみなおし	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 新倉真矢子, 正木晶子, 中野有希子『シュピッツェ!1 コミュニケーションで学ぶドイツ語』(朝日出版, 2018, ISBN 978-4-255-25422-7)</p>
学びの実践	<p>学びの手立て 何事もはじめは大変ですが, 同時にとても大切でもあります。まずは休まずに継続してみてください。とくに復習に力を入れて, ドイツ語の発音, 基本構造, 語彙を身につけましょう, そうすると少しずつ文章が理解できるようになったり, 簡単な質問を理解してそれに答えることもできるようになります。</p>
学	<p>評価 平常点(毎回の授業参加度, 課題提出)30%, 試験(小テスト, 定期試験)70%、詳細は授業時間内オリエンテーションで伝達します。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目 次のステージ: ドイツ語Ⅱ, 関連科目: 文学, ヨーロッパ研究</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語 I	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-漆谷 球美子 [全学科]	全学年	ptt953@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい この授業は初めてドイツ語を学習する学生を対象としています。ドイツ語の基本構造を理解し、書く・聞く・読む・話すことの習得を目指します。ドイツ語の発音が出来るようになることに重点を置きます。また、ドイツ事情やドイツ文化の一端を知ることが出来ます。	メッセージ 初心者にもわかりやすく教えます。会話練習やグループワークも多いですので、積極的に課題に取り組むようにしてください。また、ドイツ語以外にもドイツ文化や歴史についても学ぶことが出来ます。なお、シラバスはクラスの状況、講義の進捗状況によって変更することがありますので、あらかじめご理解ください。
	到達目標 ドイツ語文法の基礎を習得することができる。 自己紹介、家族紹介など簡単なドイツ語を話すことができる。 ドイツ語圏の文化を学ぶことができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション、ドイツ語の挨拶	ドイツ語のアルファベットの確認
	2	ドイツ語のアルファベット、挨拶、発音、名前を言う (グループワーク)	ドイツ語の挨拶の復習
	3	第1章 挨拶、主語になる人称代名詞 (グループワーク)	人称代名詞の確認
	4	第1章 動詞の現在人称変化	動詞の復習
	5	第1章 ドイツ語の語順、自己紹介 (グループワーク)	動詞の復習
	6	第2・3章 sein, haben 動詞	動詞の復習
	7	第2章 否定疑問文・接続詞	自己紹介の文章作成
	8	第2章 自己紹介 (グループワーク)	自己紹介の会話練習
	9	第3章 他己紹介 (グループワーク)	他己紹介文の作成
	10	第3章 数字	数字の復習
	11	第3章 言語名・不規則動詞 I	動詞の復習
	12	第7章 不規則動詞 II	不規則動詞の復習
	13	第7章 余暇活動 (グループワーク)	趣味を作文する
	14	第7章 趣味を言う (グループワーク)	テストの勉強
	15	中間テスト	テストの振り返り
	16	第4章 名詞の性 (グループワーク)	名詞の性の復習
	17	第4章 1格 (グループワーク)	名詞1格の練習
	18	第4章 4格 (グループワーク)	名詞4格の復習
	19	第4章 否定冠詞	今までの名詞の復習
	20	第4章 メニュー (グループワーク)	ドイツの料理について調べる
	21	第4章 注文の練習 (グループワーク)	数字の復習
	22	第5・8章 3格	名詞3格の復習
	23	第5章 名詞の複数形 (グループワーク)	複数形の復習
	24	第5章 人称代名詞	人称代名詞の復習
	25	第6章 家族を表す言葉	家族を表す言葉の復習
	26	第6章 所有冠詞	家族を紹介する文章作成
	27	第8章 3格と4格の語順	格変化の復習
	28	第8章 3格を用いる動詞	3格の復習
	29	名詞のまとめ	期末テストの対策
30	名詞のまとめ	期末テストの対策	
31	期末テスト	前期の総復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：朝倉真矢子『シュピッツェ！ コミュニケーションで学ぶドイツ語』（朝日出版社）2700円 ISBN 978-4-255-25422-7</p> <p>参考文献：独和辞典 エクセル独和辞典（郁文堂）、アポロン独和辞典（同学社）、アクセス独和辞典（三修社）など。（電子辞書も可）</p> <p>授業では、Microsoft teamsを使用します。word , power pointも必要に応じて活用します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>学科指定を守ってください。 授業をしっかりと聞き、理解してください。わからない箇所は、授業内で質問できる時間を設けているので、その時に聞くようにしてください。</p>
	<p>評価</p> <p>中間テスト30% 期末テスト30% 平常点(積極的な授業参加、課題への取り組み、グループワークなど) 40% で総合的に判断する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>ドイツ語検定、ドイツ語Ⅱ</p>

科目基本情報	科目名 ドイツ語 I	期 別	曜日・時限	単 位
		前期	月 4・木 4	2
	担当者 -漆谷 球美子 [法律・地行]	対象年次	授業に関する問い合わせ	
		1 年	ptt953@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい この授業は、ドイツ語を初めて学習する学生を対象にします。ドイツ語の基本構造を理解し、読み、書き、聞き、話すの習得を目指します。また、ドイツ事情やドイツ文化の一端を知ることが出来ます。	メッセージ 初心者にもわかりやすく教えます。会話練習やグループワークも多いですので、積極的に課題に取り組むようにしてください。また、ドイツ語以外にもドイツ文化や歴史についても学ぶことが出来ます。ドイツに関心を持つことが重要です。なお、シラバスはクラスの状況、講義の進捗状況によって変更することがありますので、あらかじめご理解ください。
	到達目標 ドイツ語文法の基礎を習得することができる。 自己消化、家族紹介など、簡単なドイツ語を話すことができる。 ドイツ文化を学ぶことができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション、ドイツ語の挨拶	ドイツ語のアルファベットの確認
	2	ドイツ語のアルファベット、挨拶、発音、名前を言う (グループワーク)	ドイツ語の挨拶の復習
	3	第1章 挨拶、主語になる人称代名詞 (グループワーク)	人称代名詞の確認
	4	第1章 動詞の現在人称変化	動詞の復習
	5	第1章 ドイツ語の語順、自己紹介 (グループワーク)	動詞の復習
	6	第2・3章 sein, haben 動詞	動詞の復習
	7	第2章 否定疑問文・接続詞	自己紹介の文章作成
	8	第2章 自己紹介 (グループワーク)	自己紹介の会話練習
	9	第3章 他己紹介 (グループワーク)	他己紹介文の作成
	10	第3章 数字	数字の復習
	11	第3章 言語名・不規則動詞 I	動詞の復習
	12	第7章 不規則動詞 II	不規則動詞の復習
	13	第7章 余暇活動 (グループワーク)	趣味を作文する
	14	第7章 趣味を言う (グループワーク)	テストの勉強
	15	中間テスト	テストの振り返り
	16	第4章 名詞の性 (グループワーク)	名詞の性の復習
	17	第4章 1格 (グループワーク)	名詞1格の練習
	18	第4章 4格 (グループワーク)	名詞4格の復習
	19	第4章 否定冠詞	今までの名詞の復習
	20	第4章 メニュー (グループワーク)	ドイツの料理について調べる
	21	第4章 注文の練習 (グループワーク)	数字の復習
	22	第5・8章 3格	名詞3格の復習
	23	第5章 名詞の複数形 (グループワーク)	複数形の復習
	24	第5章 人称代名詞	人称代名詞の復習
	25	第6章 家族を表す言葉	家族を表す言葉の復習
	26	第6章 所有冠詞	家族を紹介する文章作成
	27	第8章 3格と4格の語順	格変化の復習
	28	第8章 3格を用いる動詞	3格の復習
	29	名詞のまとめ	期末テストの対策
30	名詞のまとめ	期末テストの対策	
31	期末テスト	前期の総復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：朝倉真矢子『シュピッツェ！ コミュニケーションで学ぶドイツ語』（朝日出版社）2700円 ISBN 978-4-255-25422-7</p> <p>参考文献：独和辞典 エクセル独和辞典（郁文堂）、アポロン独和辞典（同学社）、アクセス独和辞典（三修社）など。（電子辞書も可）</p> <p>授業では、Microsoft teamsを使用します。word , power pointも必要に応じて活用します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>学科指定を守ってください。授業をしっかりと聞き、理解してください。わからない箇所は、授業内で質問できる時間を設けているので、その時に聞くようにしてください。</p>
	<p>評価</p> <p>中間テスト30% 期末テスト30% 平常点(積極的な授業参加、課題への取り組み, グループワークなど) 40% で総合的に評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>ドイツ語Ⅱ、ドイツ語検定</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-アンドレア スヴォボダ [全学科]	2年	講義終了後に受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	「ドイツ語Ⅰ」の受講者を対象とした授業です。授業の柱は、語彙や表現の習得、ドイツ語の基本構造の理解、ドイツ語圏への理解の三つです。後期は語彙や表現を身につけて、独検4級に合格できる程度のドイツ語力を目指します。	ドイツ語の発音は基本的にローマ字読みなので難しくはありません。声に出して練習してください。言葉は文化の担い手でもあります。言語の学習を通じてドイツの文化を学んでください。

到達目標	この授業を受けた人は次の技能と知識を習得できます。 ①正しい発音で、日常生活に使う語彙を覚え、簡単な表現ができるようになる。 ②ドイツ語の基本構造を理解し、平易な文章を読み、短い作文ができるようになる。 ④ドイツ語圏について具体的なイメージをもち、それを説明することができるようになる。
------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンスと前期の復習	復習に力をいれてください
	2	趣味を言える	趣味の復習・課題
	3	曜日や頻度を伝えられる	曜日・頻度の復習・課題
	4	一週間の予定を話せる	1週間の予定の復習・課題
	5	自分や友人の行動について話せる（不規則変化動詞）	行動の表現の復習・課題
	6	メールを読み、必要な情報を得られる	読解の復習・課題
	7	服装、アクセサリの名前を言える	持ち物の復習・課題
	8	「その服が気に入った」服装などの好みを話せる（人称代名詞）	好みの表現の復習・課題
	9	「その帽子は私の弟のもです」誰のものか伝えられる（所有冠詞）	所有冠詞の復習・課題
	10	宗教改革はいつ始まりましたか？西暦を言える（1000以上の数字）	数字の復習・課題
	11	休暇中にしたいことを言える	課外活動の復習・課題
	12	「できる」、「しなくちゃ」表現の幅を広げられる（話法の助動詞）	話法の助動詞の復習・課題
	13	できること、してはいけないことなどを聞きとれる	聴解の復習・課題
	14	ホテルの予約ができる	予約の復習・課題、試験対策
	15	定期試験	試験のみなおし
	16	試験の返却と解説	試験のみなおしと復習
	17	第7課から第9課までの復習	前半の復習・課題
	18	物がどこにあるか言える（前置詞）	前置詞の復習・課題
	19	道を尋ね、道を教えられる	道案内の復習・課題
	20	交通手段、目的地やいる場所を伝えられる	交通手段の復習・課題
	21	どこに行くか話することができる	場所の復習・課題
	22	時刻を言うことができる	時刻の復習・課題
	23	一日の活動を伝えられる	一日の活動の復習・課題
	24	時刻を聞きとれる	時刻の復習・課題
	25	観光の予定を立てられる	観光用語の復習・課題
	26	季節、月名を言える	季節・月名の復習・課題
	27	天候を表現できる	天候の復習・課題
	28	昨日のことを話せる（現在完了形）	現在完了形の復習・課題
	29	週末のできごとを話せる	できごとの復習
30	休暇中のできごとを話せる	試験対策	
31	定期試験	試験のみなおし	

	<p>テキスト・参考文献・資料など 新倉真矢子, 正木晶子, 中野有希子『シュピッツェ!1 コミュニケーションで学ぶドイツ語』(朝日出版, 2018, ISBN 978-4-255-25422-7) ドイツ語辞書についてはすぐに購入する必要はありません。授業のなかで説明します。</p>
学 び の 実 践	<p>学びの手立て いちど学んだだけですべてを理解でき、覚えられるとは限りません。でも忘れてしまったら、思い出せばいいのです。前期に学んだことを繰り返しながら、より深いドイツ語の世界を体験してください。発音ができるようになったら、語彙を増やしましょう。文章が理解できて、質問の受け答えができるようになれば、新しい世界が広がってきます。終わりよければ総てよし。せっかく学ぶのですから、どうせならがんばって、新しい知識と経験とを手に入れて一年を終えてください。</p>
	<p>評価 平常点(毎回の授業参加度, 課題提出, 小テスト) 30%, 試験(小テスト, 定期試験) 70%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 次のステージ: ドイツ語Ⅲ, 関連科目: 文学, ヨーロッパ研究</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-東江 貴子 [人福]	1年	基本的に授業時に受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	「ドイツ語Ⅰ」の受講者を対象とした授業です。授業の柱は、すらすらと文章を音読し、自由な意思の表現ができることです。前期で身につけた表現を活かして、後期はさらに語彙や表現を学び、独検4級に合格できる程度のドイツ語力を目指します。	必ず教科書を携帯して臨んでください。言語の学習を通じてドイツの文化を学んでください。なお、授業計画・評価についての詳細は、登録期間中の授業内で伝達します。

到達目標	この授業を受けた人は次の技能と知識を習得できます。 ①正しい発音で、日常生活に使う語彙を覚え、簡単な表現ができるようになる。 ②ドイツ語の基本構造を理解し、平易な文章を読み、短い作文ができるようになる。 ④ドイツ語圏について具体的なイメージをもち、それを説明することができるようになる。
------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイドダンスと前期の復習	復習に力をいれてください
	2	名詞の性を学ぶ	物の名前課題
	3	不定冠詞1格を使って話す	名詞と冠詞課題
	4	不定冠詞と否定冠詞を使って話す	名詞をsein動詞復習・課題
	5	定冠詞を使って物の色や形を表現しよう	冠詞の復習・課題
	6	副詞・形容詞・自分の意思を伝える	冠詞・形容詞の復習・課題
	7	不規則動詞、数字と買い物・注文しよう	数字の復習・復習
	8	人称代名詞を使って文章を書こう	人称代名詞の復習・課題
	9	その帽子は私の弟のものです」誰のものか伝えられる（所有冠詞）	所有冠詞の復習・課題
	10	家族について言おう	haben・sein動詞復習課題
	11	自分の好きなこと、友人の趣味を言おう	規則・不規則動詞の復習・課題
	12	「できる」、「しなくちゃ」表現の幅を広げられる（話法の助動詞）	話法の助動詞の復習・課題
	13	できること、してはいけないことなどを聞きとれる	聴解の復習・課題
	14	ホテルの予約ができる	予約の復習・課題、試験対策
	15	定期試験	試験のみなおし
	16	試験の返却と解説	試験のみなおしと復習
	17	第7課から第9課までの復習	前半の復習・課題
	18	物がどこにあるか言える（前置詞）	前置詞の復習・課題
	19	道を尋ね、道を教えられる	道案内の復習・課題
	20	交通手段、目的地やいる場所を伝えられる	交通手段の復習・課題
	21	どこに行くか話すことができる	場所の復習・課題
	22	時刻を言うことができる	時刻の復習・課題
	23	一日の活動を伝えられる	一日の活動の復習・課題
	24	時刻を聞きとれる	時刻の復習・課題
	25	観光の予定を立てられる	観光用語の復習・課題
	26	季節、月名を言える	季節・月名の復習・課題
	27	天候を表現できる	天候の復習・課題
	28	昨日のことを話せる（現在完了形）	現在完了形の復習・課題
	29	週末のできごとを話せる	できごとの復習
30	休暇中のできごとを話せる	試験対策	
31	定期試験	試験のみなおし	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 新倉真矢子, 正木晶子, 中野有希子『シュピッツェ!1 コミュニケーションで学ぶドイツ語』(朝日出版, 2018, ISBN 978-4-255-25422-7) 教科書は必ず持参してください。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て いちど学んだだけですべてを理解でき、覚えられるとは限りません。でも忘れてしまったら、思い出せばいいのです。前期に学んだことを繰り返しながら、より深いドイツ語の世界を体験してください。発音ができるようになったら、語彙を増やしましょう。文章が理解できて、質問の受け答えができるようになれば、新しい世界が広がってきます。終わりよければ総てよし。せっかく学ぶのですから、どうせならがんばって、新しい知識と経験とを手に入れて一年を終えてください。</p>
	<p>評価 平常点30% (課題提出、毎回の授業への参加)、試験70% (小テスト、定期試験)、詳細は授業時間内オリエンテーションで伝達します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 次のステージ：ドイツ語Ⅲ、関連科目：文学、ヨーロッパ研究</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-東江 貴子[経済・環政・企シ・産情・英米]	1年	基本的に授業時に受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	「ドイツ語Ⅰ」の受講者を対象とした授業です。授業の柱は、すらすらと文章を音読し、自由な意思の表現ができることです。前期で身につけた表現を活かして、後期はさらに語彙や表現を学び、独検4級に合格できる程度のドイツ語力を目指します。	必ず教科書を携帯して臨んでください。言語の学習を通じてドイツの文化を学んでください。詳細は授業内に伝達します。

到達目標	この授業を受けた人は次の技能と知識を習得できます。 ①正しい発音で、日常生活に使う語彙を覚え、簡単な表現ができるようになる。 ②ドイツ語の基本構造を理解し、平易な文章を読み、短い作文ができるようになる。 ④ドイツ語圏について具体的なイメージをもち、それを説明することができるようになる。
------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンスと前期の復習	復習に力をいれてください
	2	名詞の性を学ぶ	物の名前課題
	3	不定冠詞1格を使って話す	名詞と冠詞課題
	4	不定冠詞と否定冠詞を使って話す	名詞とsein動詞復習・課題
	5	詞を使って物の色や形を表現しよう	冠詞の復習・課題
	6	副詞、形容詞、自分の意思を伝える	冠詞・形容詞の復習・課題
	7	則動詞、数字と買い物・注文しよう	数字の復習・課題
	8	人称代名詞を使って文章を書こう	人称代名詞の復習・課題
	9	[その帽子は私の弟のものです] 誰のものか伝えられる (所有冠詞)	所有冠詞の復習・課題
	10	家族について言おう	haben・sein動詞の復習・課題
	11	自分の好きなこと、友人の趣味を言おう	規則・不規則動詞の復習・課題
	12	「できる」、「しなくちゃ」表現の幅を広げられる (話法の助動詞)	話法の助動詞の復習・課題
	13	できること、してはいけないことなどを聞きとれる	聴解の復習・課題
	14	ホテルの予約ができる	予約の復習・課題, 試験対策
	15	定期試験	試験のみなおし
	16	試験の返却と解説	試験のみなおしと復習
	17	第7課から第9課までの復習	前半の復習・課題
	18	物がどこにあるか言える (前置詞)	前置詞の復習・課題
	19	道を尋ね、道を教えられる	道案内の復習・課題
	20	交通手段、目的地やいる場所を伝えられる	交通手段の復習・課題
	21	どこに行くか話すことができる	場所の復習・課題
	22	時刻を(特)言うことができる	時刻の復習・課題
	23	一日の活動を伝えられる	一日の活動の復習・課題
	24	時刻を聞きとれる	時刻の復習・課題
	25	観光の予定を立てられる	観光用語の復習・課題
	26	季節、月名を言える	季節・月名の復習・課題
	27	天候を表現できる	天候の復習・課題
	28	昨日のことを話せる (現在完了形)	現在完了形の復習・課題
	29	週末のできごとを話せる	できごとの復習
30	休暇中のできごとを話せる	試験対策	
31	定期試験	試験のみなおし	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 新倉真矢子, 正木晶子, 中野有希子『シュピッツェ!1 コミュニケーションで学ぶドイツ語』(朝日出版, 2018, ISBN 978-4-255-25422-7) 教科書は必ず持参してください。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て いちど学んだだけですべてを理解でき、覚えられるとは限りません。でも忘れてしまったら、思い出せばいいのです。前期に学んだことを繰り返しながら、より深いドイツ語の世界を体験してください。発音ができるようになったら、語彙を増やしましょう。文章が理解できて、質問の受け答えができるようになれば、新しい世界が広がってきます。終わりよければ総てよし。せっかく学ぶのですから、どうせならがんばって、新しい知識と経験とを手に入れて一年を終えてください。</p>
	<p>評価 平常点30% (課題提出、毎回の授業への参加)、試験70% (小テスト、定期試験)、詳細は授業時間内オリエンテーションで伝達します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 次のステージ：ドイツ語Ⅲ、関連科目：文学、ヨーロッパ研究</p>

科目基本情報	科目名 ドイツ語Ⅱ	期別 後期	曜日・時限 月5・木5	単位 2
	担当者 岡野 薫 [全学科]	対象年次 全学年	授業に関する問い合わせ ptt953@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい ドイツ語Ⅰを受講済みの学生を対象としています。前期に引き続き、ドイツ語の基本構造を理解し、より多くの会話をドイツ語で出来るようになることを目指します。	メッセージ 前期で学んだ内容を基に、授業を行ないます。様々なシチュエーションにおける会話をペアワークやグループワークを通して練習します。積極的に会話練習に参加するようにしてください。ドイツやヨーロッパに対する興味を持って授業に取り組みましょう。なお、シラバスはクラスの状態、授業の進捗状況によって変更することがありますので、あらかじめご理解ください。
	到達目標 買い物やレストランなどでの簡単な会話ができるようになる。 ドイツ語文法の基礎を身に着けることができる。 ドイツ文化を知ることができる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		時間外学習の内容
	回	テーマ	
	1	オリエンテーション、前期の復習	前期の復習
	2	前期の復習、数字 (グループワーク)	数字の復習
	3	第9章 助動詞 möchten, mögen (グループワーク)	注文の復習
	4	第9章 助動詞 können, dürfen (グループワーク)	助動詞の復習
	5	第9章 助動詞 müssen, wollen (グループワーク)	助動詞の復習
	6	第9章 助動詞 sollen, werden	助動詞の復習
	7	第9章 助動詞のまとめ	テスト対策
	8	第9章 助動詞のまとめ、小テスト	テストの振り返り
	9	第10章 前置詞 (グループワーク)	前置詞の復習
	10	第10章 建物の名前 (グループワーク)	前置詞の復習
	11	第10章 道案内 (グループワーク)	道案内の作成
	12	第10章 交通手段 (グループワーク)	道案内の作成
	13	第10章 行き先を表す前置詞 (グループワーク)	道案内の作成
	14	第10章 道案内 (グループワーク)	道案内の作成
	15	第10章 小テスト	前置詞の復習
	16	第11章 数字、時刻の表現 (グループワーク)	数字の復習
	17	第11章 ドイツ語の時刻の表現 (グループワーク)	時刻の復習
	18	第11章 分離動詞Ⅰ	分離動詞の復習
	19	第11章 分離動詞Ⅱ	分離動詞の復習
	20	第11章 非分離動詞	時刻・分離動詞の復習
	21	第11章 小テスト	テストの振り返り
	22	第12章 過去の出来事 (グループワーク)	動詞の復習
	23	第12章 動詞の3基本形 (グループワーク)	三基本形の復習
	24	ドイツのクリスマスについて	三基本形の復習
	25	第12章 現在完了形 (グループワーク)	現在完了形の復習
	26	第12章 四季・月名 (グループワーク)	現在完了形の復習
	27	第12章 旅行・週末 (グループワーク)	現在完了形の復習
	28	第12章 天候 (グループワーク)	現在完了形の復習
	29	第12章 過去の出来事を話す (グループワーク)	現在完了形の復習
	30	現在完了のまとめ	現在完了形の復習
31	第12章 まとめ、小テスト	今までの復習	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：朝倉真矢子『シュピッツェ！ コミュニケーションで学ぶドイツ語』（朝日出版社）2700円 ISBN 978-4-255-25422-7</p> <p>参考文献：独和辞典 エクセル独和辞典（郁文堂）、アポロン独和辞典（同学社）、アクセス独和辞典（三修社）など。（電子辞書も可）</p> <p>授業では、Microsoft teamsを使用します。word , power pointも必要に応じて活用します。</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>学科指定を守ってください。</p> <p>授業をしっかりと聞いて、理解してください。わからない箇所は、授業内で聞くようにしてください。</p> <p>ペアワークやグループワークなどもしっかりと参加するようにしてください。</p>
	<p>評価</p> <p>小テスト（4回）60％ 平常点（課題の提出、積極的な授業参加、グループワークなど）40％</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>ドイツ語Ⅲ、ドイツ語Ⅳ、ドイツ語検定</p>

科目基本情報	科目名 ドイツ語Ⅱ	期別 後期	曜日・時限 月4・木4	単位 2
	担当者 岡野 薫 [法律・地行]	対象年次 1年	授業に関する問い合わせ ptt953@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 「ドイツ語Ⅰ」を履修した学生を対象とします。前期に引き続き、ドイツ語の基本構造を理解し、ドイツ語の会話の習得を目指します。また、ドイツ事情や文化の一端を知ることができます。	メッセージ 前期で学んだ内容を基に、授業を行ないます。様々なシチュエーションにおける会話をペアワークやグループワークを通して練習します。積極的に課題に参加するようにしてください。またドイツやヨーロッパに対する興味を持って、授業にのぞんでください。なお、シラバスはクラスの状況、授業の進捗状況によって変更することがありますので、あらかじめご理解ください。
	到達目標 買い物やレストラン、道案内などの簡単な会話ができるようになる。ドイツ語文法の基礎を習得できる。ドイツ文化を知ることが出来る。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		時間外学習の内容
	回	テーマ	
	1	オリエンテーション、前期の復習	前期の復習
	2	前期の復習、数字 (グループワーク)	数字の復習
	3	第9章 助動詞 möchten, mögen (グループワーク)	注文の復習
	4	第9章 助動詞 können, dürfen (グループワーク)	助動詞の復習
	5	第9章 助動詞 müssen, wollen (グループワーク)	助動詞の復習
	6	第9章 助動詞 sollen, werden	助動詞の復習
	7	第9章 助動詞のまとめ	テスト対策
	8	第9章 助動詞のまとめ、小テスト	テストの振り返り
	9	第10章 前置詞 (グループワーク)	前置詞の復習
	10	第10章 建物の名前 (グループワーク)	前置詞の復習
	11	第10章 道案内 (グループワーク)	道案内の作成
	12	第10章 交通手段 (グループワーク)	道案内の作成
	13	第10章 行き先を表す前置詞 (グループワーク)	道案内の作成
	14	第10章 道案内 (グループワーク)	道案内の作成
	15	第10章 小テスト	前置詞の復習
	16	第11章 数字、時刻の表現 (グループワーク)	数字の復習
	17	第11章 ドイツ語の時刻の表現 (グループワーク)	時刻の復習
	18	第11章 分離動詞Ⅰ	分離動詞の復習
	19	第11章 分離動詞Ⅱ	分離動詞の復習
	20	第11章 非分離動詞	時刻・分離動詞の復習
	21	第11章 小テスト	テストの振り返り
	22	第12章 過去の出来事 (グループワーク)	動詞の復習
	23	第12章 動詞の3基本形 (グループワーク)	三基本形の復習
	24	ドイツのクリスマスについて	三基本形の復習
	25	第12章 現在完了形 (グループワーク)	現在完了形の復習
	26	第12章 四季・月名 (グループワーク)	現在完了形の復習
	27	第12章 旅行・週末 (グループワーク)	現在完了形の復習
	28	第12章 天候 (グループワーク)	現在完了形の復習
	29	第12章 過去の出来事を話す (グループワーク)	現在完了形の復習
	30	現在完了のまとめ	現在完了形の復習
31	第12章 まとめ、小テスト	今までの復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：朝倉真矢子『シュピッツェ！ コミュニケーションで学ぶドイツ語』（朝日出版社）2700円 ISBN 978-4-255-25422-7</p> <p>参考文献：独和辞典 エクセル独和辞典（郁文堂）、アポロン独和辞典（同学社）、アクセス独和辞典（三修社）など。（電子辞書も可）</p> <p>授業では、Microsoft teamsを使用します。word , power pointも必要に応じて活用します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>学科指定を守ってください。</p> <p>授業をしっかりと聞いて理解してください。わからない箇所は授業内で質問するようにしてください。</p> <p>ペアワークやグループワークなどの授業内課題には、積極的に取り組むようにしましょう。</p>
	<p>評価</p> <p>小テスト（4回）60% 平常点（課題の提出、積極的な授業参加、グループワークなど）40%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>ドイツ語Ⅲ、ドイツ語Ⅳ、ドイツ語検定</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	岡野 薫 [日文・社文]	1年	k.okanoあつとまあくoku.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	「ドイツ語Ⅰ」の受講者を対象とした授業です。授業の柱は、語彙や表現の習得、ドイツ語の基本構造の理解、ドイツ語圏への理解の三つです。後期は語彙や表現を身につけて、独検4級に合格できる程度のドイツ語力を目指します。	ドイツ語の発音は基本的にローマ字読みなので難しくはありません。声に出して練習してください。言葉は文化の担い手でもあります。言語の学習を通じてドイツの文化を学んでください。

到達目標
この授業を受けた人は次の技能と知識を習得できます。 ①正しい発音で、日常生活に使う語彙を覚え、簡単な表現ができるようになる。 ②ドイツ語の基本構造を理解し、平易な文章を読み、短い作文ができるようになる。 ④ドイツ語圏について具体的なイメージをもち、それを説明することができるようになる。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンスと前期の復習	復習に力をいれてください
	2	趣味を言える	趣味の復習・課題
	3	曜日や頻度を伝えられる	曜日・頻度の復習・課題
	4	一週間の予定を話せる	1週間の予定の復習・課題
	5	自分や友人の行動について話せる（不規則変化動詞）	行動の表現の復習・課題
	6	メールを読み、必要な情報を得られる	読解の復習・課題
	7	服装、アクセサリの名前を言える	持ち物の復習・課題
	8	「その服が気に入った」服装などの好みを話せる（人称代名詞）	好みの表現の復習・課題
	9	「その帽子は私の弟のもんです」誰のものか伝えられる（所有冠詞）	所有冠詞の復習・課題
	10	宗教改革はいつ始まりましたか？西暦を言える（1000以上の数字）	数字の復習・課題
	11	休暇中にしたいことを言える	課外活動の復習・課題
	12	「できる」、「しなくちゃ」表現の幅を広げられる（話法の助動詞）	話法の助動詞の復習・課題
	13	できること、してはいけないことなどを聞きとれる	聴解の復習・課題
	14	ホテルの予約ができる	予約の復習・課題、試験対策
	15	定期試験	試験のみなおし
	16	試験の返却と解説	試験のみなおしと復習
	17	第7課から第9課までの復習	前半の復習・課題
	18	物がどこにあるか言える（前置詞）	前置詞の復習・課題
	19	道を尋ね、道を教えられる	道案内の復習・課題
	20	交通手段、目的地やいる場所を伝えられる	交通手段の復習・課題
	21	どこに行くか話することができる	場所の復習・課題
	22	時刻を言うことができる	時刻の復習・課題
	23	一日の活動を伝えられる	一日の活動の復習・課題
	24	時刻を聞きとれる	時刻の復習・課題
	25	観光の予定を立てられる	観光用語の復習・課題
	26	季節、月名を言える	季節・月名の復習・課題
	27	天候を表現できる	天候の復習・課題
	28	昨日のことを話せる（現在完了形）	現在完了形の復習・課題
	29	週末のできごとを話せる	できごとの復習
30	休暇中のできごとを話せる	試験対策	
31	定期試験	試験のみなおし	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 新倉真矢子, 正木晶子, 中野有希子『シュピッツェ!1 コミュニケーションで学ぶドイツ語』(朝日出版, 2018, ISBN 978-4-255-25422-7) ドイツ語辞書についてはすぐに購入する必要はありません。授業のなかで説明します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て いちど学んだだけですべてを理解でき、覚えられるとは限りません。でも忘れてしまったら、思い出せばいいのです。前期に学んだことを繰り返しながら、より深いドイツ語の世界を体験してください。発音ができるようになったら、語彙を増やしましょう。文章が理解できて、質問の受け答えができるようになれば、新しい世界が広がってきます。終わりよければ総てよし。せっかく学ぶのですから、どうせならがんばって、新しい知識と経験とを手に入れて一年を終えてください。</p>
学 び の 実 践	<p>評価 平常点(毎回の授業参加度, 課題提出, 小テスト) 30%, 試験(小テスト, 定期試験) 70%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 次のステージ: ドイツ語Ⅲ, 関連科目: 文学, ヨーロッパ研究</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語Ⅲ	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	岡野 薫 [全学科]	2年	k.okanoあつとまあくokuu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 「ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」を履修した学生のための授業です。「Ⅰ・Ⅱ」で学んだことを確認しながら、発展的にドイツ語能力を養ってゆきます。ドイツ語圏の文化や社会について具体的に学びます。	メッセージ ペアワーク、グループワークを中心としたコミュニケーション型の授業です。そのため、受講者ひとりひとりが参加することではじめて授業が成立します。みなさんが積極的に参加することで、受講者がたがいに成長できる授業にしましょう。
	到達目標 この授業の最終的な目標は、ドイツ語学習を自立して継続できること、ドイツ語圏の文化、社会についての情報を独力で得られるようになることのみならず、そのために、具体的に次の技能と知識を習得できます。 ①正しい発音で、日常生活に使える会話ができるようになる。 ②ドイツ語の基本構造を理解し、文章を読み、作文ができるようになる。 ③ドイツ語圏について関心のある事柄を調べ、他者に説明（発表）できる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：具体的な授業計画は初回の授業で配布する	教科書の購入
	2	新しい教科書へようこそ！受講者を知る、これまでの復習	復習ならびに課題
	3	受講者を知る、これまでの復習	復習ならびに課題
	4	第1課 旅行：ドイツの観光地	復習ならびに課題
	5	第1課 旅行：どこへ行くの？	復習ならびに課題
	6	第1課 旅行：ドイツ旅行	復習ならびに課題
	7	第1課 旅行：旅行計画	復習ならびに課題
	8	第1課 旅行：ホテルのレセプションで	復習ならびに課題
	9	第1課 旅行：問い合わせをする	復習ならびに課題
	10	第1課 旅行：ドイツ人はどこへ旅行する？	復習ならびに課題
	11	第2課 街で：友人に会う	復習ならびに課題
	12	第2課 街で：過去のことを言える	復習ならびに課題
	13	第2課 街で：昨日、ドイツ語を勉強しましたか？	試験準備
	14	中間試験	試験のみなおし
	15	試験返却と前半の復習	課題提出
	16	第2課 街で：建物の名前	復習ならびに課題
	17	第2課 街で：どうやって学校に来るの？	復習ならびに課題
	18	第2課 街で：友達を招待する	復習ならびに課題
	19	第2課 街で：切符はどこで買うの？	復習ならびに課題
	20	第3課 都会と田舎：どちらが好き？	復習ならびに課題
	21	第3課 都会と田舎：複合語	復習ならびに課題
	22	第3課 都会と田舎：生活を比較する	復習ならびに課題
	23	第3課 都会と田舎：どちらに住みたいです？	復習ならびに課題
	24	第3課 日本とドイツ	復習ならびに課題
	25	第3課 都会と田舎：人々の生活	復習ならびに課題
	26	第3課 都会と田舎：あなたの日	復習ならびに課題
	27	第3課 都会と田舎：ドイツの大学	復習ならびに課題
	28	第4課 スポーツ、健康と余暇：さまざまなスポーツ	復習ならびに課題
	29	第4課 スポーツ、健康と余暇：スポーツとフィットネス	復習ならびに課題
30	第4課 スポーツ、健康と余暇：体の部分	試験準備	
31	学期末試験	試験のみなおし	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：藤原三枝子ほか『スタート！2—コミュニケーション活動で学ぶドイツ語—』（三修社，2019，ISBN 978-4-384-13096-6 C1084）</p> <p>参考文献：ドイツ語Ⅰ・Ⅱで使用したテキストや辞書。 中島悠爾，平尾浩三，朝倉巧『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』（白水社，2003，ISBN4-560-00492-7）</p> <p>資料：授業時に随時紹介します。</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>発音，基本構造を復習しながら，聞く，話す，読む，書く力を養成します。日常生活で使われる定型文を覚えること，語彙を増やすこと（300語）に力を入れてください。復習をして授業に臨んでください。</p>
	<p>評価</p> <p>平常点（毎回の授業参加度，課題提出）30%，試験（小テスト，定期試験）70%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステージ：ドイツ語Ⅳ，外国語研究Ⅰ-A，Ⅱ-A 関連科目：文学，ヨーロッパ研究</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語Ⅳ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	岡野 薫 [全学科]	2年	k.okanoあつとまあくokiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	「ドイツ語Ⅲ」を履修した学生のための授業です。「Ⅰ～Ⅲ」で学んだことを確認しながら、発展的にドイツ語能力を養ってゆきます。ドイツ語圏の文化や社会について具体的に学びます。	ペアワーク、グループワークを中心としたコミュニケーション型の授業です。そのため、受講者ひとりひとりが参加することではじめて授業が成立します。みなさんが積極的に参加することで、受講者がたがいに成長できる授業にしましょう。

到達目標	この授業の最終的な目標は、ドイツ語学習を自立して継続できること、ドイツ語圏の文化、社会についての情報を独力で得られるようになることのみならず、そのために、具体的に次の技能と知識を習得できます。
①正しい発音で、日常生活に使える会話ができるようになる。	
②ドイツ語の基本構造を理解し、文章を読み、作文ができるようになる。	
③ドイツ語圏について関心のある事柄を調べ、他者に説明（発表）ができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：具体的な授業計画は初回の授業で配布する	ドイツ語Ⅲの復習
	2	第4課 スポーツ、健康と余暇：体調不良を治す	復習ならびに課題
	3	第4課 スポーツ、健康と余暇：運動と健康	復習ならびに課題
	4	第4課 スポーツ、健康と余暇：天候	復習ならびに課題
	5	第4課 スポーツ、健康と余暇：一緒にやらない？	復習ならびに課題
	6	第5課 学校と職業訓練：なりたい職業	復習ならびに課題
	7	第5課 学校と職業訓練：職業を選ぶ	復習ならびに課題
	8	第5課 学校と職業訓練：ドイツの学校システム	復習ならびに課題
	9	第5課 学校と職業訓練：フェーリクスの学生生活	復習ならびに課題
	10	第5課 学校と職業訓練：学生生活	復習ならびに課題
	11	第5課 学校と職業訓練：バイト探し	復習ならびに課題
	12	第5課 学校と職業訓練：面接	試験準備
	13	中間試験	試験のみなおし
	14	試験返却	課題提出
	15	第6課 日常生活のあれこれ：インフォメーションがほしい！	復習ならびに課題
	16	第6課 日常生活のあれこれ：語学学校に通う	復習ならびに課題
	17	第6課 日常生活のあれこれ：ダンスを習う	復習ならびに課題
	18	第6課 日常生活のあれこれ：いろいろな困りごと	復習ならびに課題
	19	第6課 日常生活のあれこれ：故障してしまった	復習ならびに課題
	20	第6課 日常生活のあれこれ：苦情を伝える	復習ならびに課題
	21	第6課 日常生活のあれこれ：ドイツのバイト事情	復習ならびに課題
	22	第7課 祝祭をお祝いする：ドイツの祝祭	復習ならびに課題
	23	第7課 祝祭をお祝いする：どのお祭りに興味がある？	復習ならびに課題
	24	第7課 祝祭をお祝いする：パーティーの衣装	復習ならびに課題
	25	第7課 祝祭をお祝いする：コスプレ・パーティ	復習ならびに課題
	26	第7課 祝祭をお祝いする：パーティを企画する	復習ならびに課題
	27	第7課 祝祭をお祝いする：パーティに招待する	復習ならびに課題
	28	第7課 祝祭をお祝いする：ドイツのクリスマス	復習ならびに課題
	29	第8課 ドイツの試験を受けてみよう	復習ならびに課題
30	第8課 ドイツの試験を受けてみよう	試験準備	
31	学期末試験	試験のみなおし	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：藤原三枝子ほか『スタート！2—コミュニケーション活動で学ぶドイツ語—』（三修社，2019，ISBN 978-4-384-13096-6 C1084）</p> <p>参考文献：ドイツ語Ⅰ・Ⅱで使用したテキストや辞書。</p> <p>中島悠爾，平尾浩三，朝倉巧『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』（白水社，2003，ISBN4-560-00492-7）</p> <p>資料：授業時に随時紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>発音，基本構造を復習しながら，聞く，話す，読む，書く力を養成します。日常生活で使われる定型文を覚えること，語彙を増やすこと（ドイツ語Ⅲと併せて600語）に力を入れてください。復習をして授業に臨んでください。</p>
	<p>評価</p> <p>平常点（毎回の授業参加度，課題提出）30%，試験（小テスト，定期試験）70%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステージ：外国語研究Ⅰ-A，Ⅱ-A，独検 関連科目：文学，ヨーロッパ研究</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語 I	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-サジュ ジェレミ[全学科]	全学年	授業終了後に教室で可能 jeremysajous.uni@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この授業は4月からフランス語を学び始める1年生を対象にします。文法を中心に学ぶことの多い従来の授業をおぎない、発音と会話の基本的な力を身につけることが目的です。さまざまな場面での会話の練習とディスカッションを通じて表現と語彙の力をのびし、また音声教材を使って聴き取りの力をつけることをめざします。	外国語の学習は難しいものですが、動力と熱意をもって取り組めば、無理なものではありません。フランス語を勉強するモチベーションが見つかれば、だれでも楽しく勉強できるようになります。

到達目標	挨拶から自分の体験について話せるようになることを目標とします。また、フランス語の簡単な文章が読めるようにもなります。
------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	フランス語の発音の基本	教科書の購入
	2	フランス語の発音の基本(続き)	発音の復習
	3	挨拶をする	発音の復習
	4	自己紹介をする	挨拶の復習
	5	名前を聞く	自己紹介の復習
	6	名前、職業、国籍を言う 数字(1~10) 第1課終了	名前の復習
	7	人について描写する	名前、職業、国籍と数字の復習
	8	住んでいるところを詳しく言う(1)	人の描写の復習
	9	住んでいるところを詳しく言う(2)	住所の復習
	10	年齢を言う 数字(11~20) 第2課終了	街角のフランス語を探す
	11	自分のことを話す	年齢と数字の復習
	12	他の人について話す	自分のことの復習
	13	職業を聞く 否定する	他人の話の復習
	14	質問する 数字(21~30) 第3課終了	職業と否定形の復習
	15	自分の好みについて話す	質問と数字の復習
	16	他の人の好みについて聞く	好みの復習
	17	意見を言う	他人の好みの復習
	18	数字(31~69) 第4課終了	意見の復習
	19	家族について話す	数字の復習
	20	理由を言う、尋ねる	家族の復習
	21	尋ねる(2)	理由の復習
	22	何かについて肯定的、否定的に話す 数字(60~99) 第5課終了	質問の復習
	23	物の位置を言う(dans / sur)	否定形・肯定形と数字の復習
	24	物の位置を聞く、質問に答える(単数形)	位置の復習
	25	物の位置を聞く、質問に答える(単数形)(2)	位置の復習
	26	鼻母音の区別を覚える: 「an」と「on」の違い 第6課終了	位置の復習
	27	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習
	28	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習
	29	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習
30	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習	
31	期末試験	試験の見直し	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>教科書：Méthode de français フランス語の方法-コミュニケーションと文法の基礎-(改訂版) 著者：DURRENBERGER Vincent ; ISBN:978-4411011176 ; 駿河台出版社(改訂版)参考文献： ウェブサイト、「フランス語の動詞の活用が簡単に使えるサイト」フラ動： http://www.litterature.jp/numerique/verbe.html? 文法、語彙、会話、発音など、フランス語を全面的に勉強できるネットサイト：https://www.podcastfrançaisfacile.com</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①毎回出席をチェックします。8回目の欠席で単位がもらえなくなりますので気を付けてください。②授業内に、わからないとき質問を積極的にすることが望ましいです。授業内だけでなく、授業外の自律学習も大切です。次回の授業に出る前に、前々回と前回勉強されたものを復習して、ちゃんと身につけることも大切です。教科書の会話や例文などを暗記することも構文や語彙を覚えることに効果があるでしょう。宿題を定期的にも大切です。</p>
	<p>評価</p> <p>小テスト（口頭＋筆記）：25% ・ 口頭参加：25% ・ 期末テスト：50%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期の授業の予習のためには夏休みの間前期で学んだ内容を復習することをおすすめします。また、いつもと違う形で勉強するのも大事なので、フランス映画を観たりフランス語の歌を聞いたりして耳を慣らすなど、様々な工夫を凝らして頑張りましょう！</p>

科目基本情報	科目名 フランス語 I	期 別	曜日・時限	単 位
		前期	月 3・木 3	2
	担当者 上江洲 律子[経済・環政・企シ・産情・日文]	対象年次	授業に関する問い合わせ	
		1 年	沖国大ポータルGmailにて質問してください。	

学びの準備	ねらい フランス語の基本的なつくりや会話を身につけて、フランスの文化についての関心の糸口をつかんでもらうことを目的とします。	メッセージ 他者を知るには、その人たちが生きる「土地」に立つことが何よりも重要です。まず、フランス（語圏）を旅するために必要なフランス語から学んでいきましょう。
	到達目標 フランス語での挨拶や自己紹介ができることを目標とします。また、日常生活に溶け込んだフランス的なものを汲み取れる感性を磨いていきます。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	発音の練習と語彙・表現の暗記
	2	Introduction：フランスについて確認してみよう！	発音の練習と語彙・表現の暗記
	3	Initiation1：フランス語はどんな言葉？とInitiation2：お元気ですか？	発音の練習と語彙・表現の暗記
	4	Leçon1：あなたは日本人ですか？（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	5	Leçon1：あなたは日本人ですか？（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	6	Leçon1：あなたは日本人ですか？（3）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	7	Leçon2：何歳ですか？（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	8	Leçon2：何歳ですか？（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	9	Leçon2：何歳ですか？（3）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	10	Leçon3：フランス語を話しますか？（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	11	Leçon3：フランス語を話しますか？（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	12	Leçon3：フランス語を話しますか？（3）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	13	Leçon4：スポーツが好き？（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	14	Leçon4：スポーツが好き？（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	15	Leçon4：スポーツが好き？（3）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	16	復習とまとめ（1）	発音と文法の復習
	17	Leçon5：これは何ですか？（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	18	Leçon5：これは何ですか？（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	19	Leçon5：これは何ですか？（3）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	20	Leçon6：これはトマのズボンです。（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	21	Leçon6：これはトマのズボンです。（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	22	Leçon6：これはトマのズボンです。（3）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	23	復習とまとめ（2）	発音と文法の復習
	24	Leçon7：ユゴーって、どんな人？（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	25	Leçon7：ユゴーって、どんな人？（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	26	Leçon7：ユゴーって、どんな人？（3）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	27	Leçon8：彼は黒いカバンを持っています。（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	28	Leçon8：彼は黒いカバンを持っています。（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	29	Leçon8：彼は黒いカバンを持っています。（3）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	30	復習とまとめ（3）	発音と文法の復習
31	筆記試験	文法の復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：上江洲律子、宮里厚子、金城豪著『C'est parti! さあ、フランス語をはじめよう!』（2022年4月出版予定）。出版されるまでは、授業内でテキストのコピーを配付します。 ※参考書と辞書については授業内で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>言語を学ぶことはスポーツをすることと似ています。スポーツのためにランニングや筋力アップトレーニングを自主練習として行うように、授業で学んだフランス語の会話表現などを教室以外でも自分なりに練習してください。日々の少しずつの積み重ねが皆さんのフランス語力を育ててくれます。</p>
学 び の 継 続	<p>評価</p> <p>授業の理解度を確認するために、筆記試験（「読む」「書く」力の確認）と発音試験（「聞く」「話す」力の確認）を実施します。また、課題を得点化して総合的に評価します。 ・計算式＝筆記試験の得点（40％）＋発音試験の得点（40％）＋課題の得点（20％） ※ただし、単位修得のためには授業における3分の2以上の出席を義務づけます。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>前期のフランス語Ⅰでフランス語に慣れた後、後期のフランス語Ⅱで日常生活に関する様々な表現を学びます。フランス語ⅠとⅡを通してフランス語の基礎を身につけることとなりますので、フランス語Ⅰの単位を修得した方はフランス語Ⅱを継続して受講してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-金城 豪 [英米・社文]	1年	kinjogo@yahoo.co.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	フランス語の初心者を対象とします。アルファベットと発音の基礎から始め、当言語を理解するために必要な文法事項を解説していくと共に、反復練習を行います。「読む」「書く」「聞く」「話す」という4つの力を総合的に養成することを目標とします。フランスへのより深い理解と、興味を高めるために、フランスやフランス語圏の文化・芸術・音楽の紹介、映画鑑賞等を予定しています。	外国語は継続して繰り返し粘り強く学習していくことが大変重要です。英語以外の外国語を初めて学ぶ学生が多いと思いますが、初心者でも取り組みやすいように丁寧な指導を心がけていきます。わからないことがあれば遠慮なく質問してください。また授業への積極的な参加は必須ですので、毎回遅れずに講義に参加してください。
到達目標	①フランス語で簡単な会話ができる。 ②フランス語の基礎的な文法事項を理解する。 ③文部科学省認定実用フランス語検定試験5～4級程度の実力を身につけ、実際に取得を目指す。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	フランスに関して各自調べる
	2	Introduction：フランスについて確認してみよう！	発音と表現の反復練習
	3	Initiation1：フランス語はどんな言葉？・Initiation2：お元気ですか？	発音と表現の反復練習
	4	Leçon1：あなたは日本人ですか？（1）	発音と表現の反復練習
	5	Leçon1：あなたは日本人ですか？（2）	発音と表現の反復練習
	6	Leçon1：あなたは日本人ですか？（3）	発音と表現の反復練習
	7	Leçon2：何歳ですか？（1）	発音と表現の反復練習
	8	Leçon2：何歳ですか？（2）	発音と表現の反復練習
	9	Leçon2：何歳ですか？（3）	発音と表現の反復練習
	10	Leçon3：フランス語を話しますか？（1）	発音と表現の反復練習
	11	Leçon3：フランス語を話しますか？（2）	発音と表現の反復練習
	12	Leçon3：フランス語を話しますか？（3）	発音と表現の反復練習
	13	Leçon4：スポーツが好き？（1）	発音と表現の反復練習
	14	Leçon4：スポーツが好き？（1）	発音と表現の反復練習
	15	Leçon4：スポーツが好き？（1）・フランス文化紹介（1）	発音と表現の反復練習
	16	中間試験（筆記）	Leçon1～Leçon4の復習
	17	Leçon5：これは何ですか？（1）	発音と表現の反復練習
	18	Leçon5：これは何ですか？（2）	発音と表現の反復練習
	19	Leçon5：これは何ですか？（3）	発音と表現の反復練習
	20	Leçon6：これはトマのズボンです。（1）	発音と表現の反復練習
	21	Leçon6：これはトマのズボンです。（2）	発音と表現の反復練習
	22	Leçon6：これはトマのズボンです。（3）	発音と表現の反復練習
	23	Leçon7：ユゴーって、どんな人？（1）	発音と表現の反復練習
	24	Leçon7：ユゴーって、どんな人？（2）	発音と表現の反復練習
	25	Leçon7：ユゴーって、どんな人？（3）	発音と表現の反復練習
	26	Leçon8：彼は黒いカバンを持っています。（1）	発音と表現の反復練習
	27	Leçon8：彼は黒いカバンを持っています。（2）	発音と表現の反復練習
	28	Leçon8：彼は黒いカバンを持っています。（3）・フランス文化紹介（2）	発音と表現の反復練習
	29	前期のまとめ	前期の復習
30	期末試験（口頭）	前期の復習	
31	期末試験（筆記）	前期の復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト： 上江洲律子、宮里厚子、金城豪著『C'est parti! さあ、フランス語をはじめよう!』（2022年4月出版予定）。出版されるまでは、授業内でテキストのコピーを配付する。</p> <p>参考文献： 講義内で教示する。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>毎回出席確認をするので授業には遅れないように参加すること。やむを得ず欠席する場合は必ず欠席届を提出すること。</p> <p>各自学習用のノートを持参ししっかりとメモを取ること。</p> <p>発音や会話の練習を毎回行うので、積極的に授業内のコミュニケーションに参加すること。</p> <p>フランス語やフランス文化に興味を持ち、自主的に研究に励むこと。</p>
	<p>評価</p> <p>授業態度・参加状況 (20%)</p> <p>小テスト・課題 (30%)</p> <p>中間試験・期末試験 (50%)</p> <p>出席は得点に加えないが、8回の欠席で評価の対象にならない。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステージ：フランス語検定試験4～5級取得</p> <p>関連科目：フランス語Ⅱ、ヨーロッパ研究</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-金城 豪 [全学科]	2年	kinjogo@yahoo.co.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>フランス語の初心者を対象とします。アルファベットと発音の基礎から始め、当言語を理解するために必要な文法事項を解説していくと共に、反復練習を行います。「読む」「書く」「聞く」「話す」という4つの力を総合的に養成することを目標とします。フランスへのより深い理解と、興味を高めるために、フランスやフランス語圏の文化・芸術・音楽の紹介、映画鑑賞等を予定しています。</p>	<p>外国語は継続して繰り返し粘り強く学習していくことが大変重要です。英語以外の外国語を初めて学ぶ学生が多いと思いますが、初心者でも取り組みやすいように丁寧な指導を心がけていきます。わからないことがあれば遠慮なく質問してください。また授業への積極的な参加は必須ですので、毎回遅れずに講義に参加してください。</p>
	到達目標	
	<p>①フランス語で簡単な会話ができる。 ②フランス語の基礎的な文法事項を理解する。 ③文部科学省認定実用フランス語検定試験5～4級程度の実力を身につけ、実際に取得を目指す。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	フランスに関して各自調べる
	2	Introduction：フランスについて確認してみよう！	発音と表現の反復練習
	3	Initiation1：フランス語はどんな言葉？・Initiation2：お元気ですか？	発音と表現の反復練習
	4	Leçon1：あなたは日本人ですか？（1）	発音と表現の反復練習
	5	Leçon1：あなたは日本人ですか？（2）	発音と表現の反復練習
	6	Leçon1：あなたは日本人ですか？（3）	発音と表現の反復練習
	7	Leçon2：何歳ですか？（1）	発音と表現の反復練習
	8	Leçon2：何歳ですか？（2）	発音と表現の反復練習
	9	Leçon2：何歳ですか？（3）	発音と表現の反復練習
	10	Leçon3：フランス語を話しますか？（1）	発音と表現の反復練習
	11	Leçon3：フランス語を話しますか？（2）	発音と表現の反復練習
	12	Leçon3：フランス語を話しますか？（3）	発音と表現の反復練習
	13	Leçon4：スポーツが好き？（1）	発音と表現の反復練習
	14	Leçon4：スポーツが好き？（2）	発音と表現の反復練習
	15	Leçon4：スポーツが好き？（3）・フランス文化紹介（1）	発音と表現の反復練習
	16	中間試験（筆記）	Leçon1～Leçon4の復習
	17	Leçon5：これは何ですか？（1）	発音と表現の反復練習
	18	Leçon5：これは何ですか？（2）	発音と表現の反復練習
	19	Leçon5：これは何ですか？（3）	発音と表現の反復練習
	20	Leçon6：これはトマのズボンです。（1）	発音と表現の反復練習
	21	Leçon6：これはトマのズボンです。（2）	発音と表現の反復練習
	22	Leçon6：これはトマのズボンです。（3）	発音と表現の反復練習
	23	Leçon7：ユゴーって、どんな人？（1）	発音と表現の反復練習
	24	Leçon7：ユゴーって、どんな人？（2）	発音と表現の反復練習
	25	Leçon7：ユゴーって、どんな人？（3）	発音と表現の反復練習
	26	Leçon8：彼は黒いカバンを持っています。（1）	発音と表現の反復練習
	27	Leçon8：彼は黒いカバンを持っています。（2）	発音と表現の反復練習
	28	Leçon8：彼は黒いカバンを持っています。（3）・フランス文化紹介（2）	発音と表現の反復練習
	29	前期のまとめ	前期の復習
30	期末試験（口頭）	前期の復習	
31	期末試験（筆記）	前期の復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト： 上江洲律子、宮里厚子、金城豪著『C'est parti! さあ、フランス語をはじめよう!』（2022年4月出版予定）。出版されるまでは、授業内でテキストのコピーを配付する。</p> <p>参考文献： 講義内で教示する。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>毎回出席確認をするので授業には遅れないように参加すること。やむを得ず欠席する場合は必ず欠席届を提出すること。</p> <p>各自学習用のノートを持参ししっかりとメモを取ること。</p> <p>発音や会話の練習を毎回行うので、積極的に授業内のコミュニケーションに参加すること。</p> <p>フランス語やフランス文化に興味を持ち、自主的に研究に励むこと。</p>
	<p>評価</p> <p>授業態度・参加状況 (20%)</p> <p>小テスト・課題 (30%)</p> <p>中間試験・期末試験 (50%)</p> <p>出席は得点に加えないが、8回の欠席で評価の対象にならない。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期のフランス語Ⅱへのステップとなるので、本講義の内容を見直し基礎をしっかりと固めた上で、フランス語検定取得やフランス留学も視野に入れた取り組みを行っていく。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	ゲルハール フランク [地行・人福]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。メールでも受け取っています。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この授業はフランス語とフランス文化（二次的にはフランス語圏の文化）の習得を目的とします。一年でフランス語の基礎会話に必要な基本的な語彙や文法項目を身につけられます。話す・聞く・書く・読むというコミュニケーション能力を練習します。	外国語の学習は大変なものと言われていますが、動力と熱心を持ちやっけて行けば、無理なものではありません。前回の授業で学んだものの予習をすることが非常に大事な作業です。テキストの内容を自分で読んでおくのもよい予習になります。
到達目標	挨拶から自分について話せるようになることを目標とします。フランス語の簡単な文も読めるようになります。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	フランス語のアルファベットと発音	毎回予習が必要です。
	2	フランス語の日常挨拶	同上
	3	名前を言う・聞く	同上
	4	国籍・出身地を言う・聞く	同上
	5	形容詞や名詞の性	同上
	6	職業を言う・聞く	同上
	7	日常の様々な礼儀表現	同上
	8	物を渡す・頼む	同上
	9	話す言語や国について話す	同上
	10	所有を表す	同上
	11	動詞venirの使い方	同上
	12	規則動詞の現在形	同上
	13	自己紹介のまとめ	同上
	14	別人を紹介する	同上
	15	プレゼントをする」	同上
	16	所有形容詞	同上
	17	親の話	同上
	18	兄弟の話	同上
	19	したいことを言う	同上
	20	数字	同上
	21	時間を言う	同上
	22	年齢を言う	同上
	23	義務を言う	同上
	24	駅の窓口	同上
	25	値段を言う	同上
	26	日付を言う	同上
	27	道を聞く	同上
	28	場所の位置	同上
	29	お天気	同上
30	天気予報	同上	
31	期末試験	同上	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 教科書：Passe-Partout, 駿河台出版社、ISBN 9784411011091C1085 教科書を毎回持ち込んでください</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 外国語を学ぶときは出席するが大事なので、毎回出席をチェックします。学びを深めるためには大学のフランス人留学生と会ったりフランス関係の書物を読んだりするのは大事です。またフランス留学を目指すことも動機が増えます。 達成目標に達するのに、次のようにすればいいです：① 毎回予習すること、② 家でCDを聞くこと、③ ダヤログなどを暗記すること、④ 自らクラスで活動することなど ⑤教科書の内容を読んでおくこと</p>
学 び の 継 続	<p>評価 小テストや宿題：80%、期末試験：20%</p> <p>次のステージ・関連科目 この授業だけではなくて、大学で提供されているフランス文化や世界史を紹介する授業を履修することもフランスとフランス人の知識を深めることができます。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-サジュ ジェレミ [法律・人福]	1年	授業終了後に教室で可能 jeremysajous.uni@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この授業は4月からフランス語を学び始める1年生を対象にします。文法を中心に学ぶことの多い従来の授業をおぎない、発音と会話の基本的な力を身につけることが目的です。さまざまな場面での会話の練習とディスカッションを通じて表現と語彙の力をのびし、また音声教材を使って聴き取りの力をつけることをめざします。	外国語の学習は難しいものですが、動力と熱意をもって取り組めば、無理なものではありません。フランス語を勉強するモチベーションが見つかれば、だれでも楽しく勉強できるようになります。

到達目標	挨拶から自分の体験について話せるようになることを目標とします。また、フランス語の簡単な文章が読めるようにもなります。
------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	フランス語の発音の基本	教科書の購入
	2	フランス語の発音の基本(続き)	発音の復習
	3	挨拶をする	発音の復習
	4	自己紹介をする	挨拶の復習
	5	名前を聞く	自己紹介の復習
	6	名前、職業、国籍を言う 数字(1~10) 第1課終了	名前の復習
	7	人について描写する	名前、職業、国籍と数字の復習
	8	住んでいるところを詳しく言う(1)	人の描写の復習
	9	住んでいるところを詳しく言う(2)	住所の復習
	10	年齢を言う 数字(11~20) 第2課終了	街角のフランス語を探す
	11	自分のことを話す	年齢と数字の復習
	12	他の人について話す	自分のことの復習
	13	職業を聞く 否定する	他人の話の復習
	14	質問する 数字(21~30) 第3課終了	職業と否定形の復習
	15	自分の好みについて話す	質問と数字の復習
	16	他の人の好みについて聞く	好みの復習
	17	意見を言う	他人の好みの復習
	18	数字(31~69) 第4課終了	意見の復習
	19	家族について話す	数字の復習
	20	理由を言う、尋ねる	家族の復習
	21	尋ねる(2)	理由の復習
	22	何かについて肯定的、否定的に話す 数字(60~99) 第5課終了	質問の復習
	23	物の位置を言う(dans / sur)	否定形・肯定形と数字の復習
	24	物の位置を聞く、質問に答える(単数形)	位置の復習
	25	物の位置を聞く、質問に答える(単数形)(2)	位置の復習
	26	鼻母音の区別を覚える: 「an」と「on」の違い 第6課終了	位置の復習
	27	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習
	28	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習
29	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習	
30	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習	
31	期末試験	試験の見直し	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>教科書：Méthode de français フランス語の方法-コミュニケーションと文法の基礎-(改訂版) 著者：DURRENBERGER Vincent ; ISBN:978-4411011176 ; 駿河台出版社(改訂版)参考文献：ウェブサイト、「フランス語の動詞の活用が簡単に使えるサイト」フラ動：http://www.litterature.jp/numerique/verbe.html? 文法、語彙、会話、発音など、フランス語を全面的に勉強できるネットサイト：https://www.podcastfrançaisfacile.com</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>①毎回出席をチェックします。8回目の欠席で単位がもらえなくなりますので気を付けてください。②授業内に、わからないとき質問を積極的にすることが望ましいです。授業内だけでなく、授業外の自律学習も大切です。次回の授業に出る前に、前々回と前回勉強されたものを復習して、ちゃんと身につけることも大切です。教科書の会話や例文などを暗記することも構文や語彙を覚えることに効果があるでしょう。宿題を定期的にも大切です。</p>
	<p>評価</p> <p>小テスト（口頭＋筆記）：25% ・ 口頭参加：25% ・ 期末テスト：50%</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期の授業の予習のためには夏休みの間前期で学んだ内容を復習することをおすすめします。また、いつもと違う形で勉強するのも大事なので、フランス映画を観たりフランス語の歌を聞いたりして耳を慣らすなど、様々な工夫を凝らして頑張りましょう！</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語Ⅱ	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-サジュ ジェレミ[全学科]	全学年	授業終了後に教室で可能 jeremysajous.uni@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この授業は4月からフランス語を学び始める1年生を対象にします。文法を中心に学ぶことの多い従来の授業をおぎない、発音と会話の基本的な力を身につけることが目的です。さまざまな場面での会話の練習とディスカッションを通じて表現と語彙の力をのばし、また音声教材を使って聴き取りの力をつけることをめざします。	外国語の学習は難しいものですが、動力と熱意をもって取り組めば、無理なものではありません。フランス語を勉強するモチベーションが見つかれば、だれでも楽しく勉強できるようになります。

到達目標	挨拶から自分の体験について話せるようになることを目標とします。また、フランス語の簡単な文章が読めるようにもなります。
------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の復習	前期の総合復習
	2	前期の復習	前期の総合復習
	3	物を描写する	前期の総合復習
	4	物の位置を聞く、質問に答える	物の描写の復習
	5	物の色を聞く	物の位置の復習
	6	着ている物について話す 第7課終了	物の色の復習
	7	物の位置関係を言う	服の復習
	8	冠詞の細かいルールを学ぶ：冠詞の縮約（1）	位置関係の復習
	9	冠詞の細かいルールを学ぶ：冠詞の縮約（2）	冠詞の復習
	10	数、量を聞く表現を使う 第8課終了	冠詞の復習
	11	カフェで注文する	数と量の復習
	12	市場で買い物をする	注文の復習
	13	パン屋で買い物をする	市場での買い物の復習
	14	欲しい物を言う（数字100-1000） 第9課終了	パン屋での買い物の復習
	15	食生活について話す	数字と欲しいものの復習
	16	統計について話す	食生活の復習
	17	自分の意見を言う（1）	統計の復習
	18	自分の意見を言う（2） 第10課終了	意見の復習
	19	国について話す（1）	意見の復習
	20	国について話す（2）	国の復習
	21	天気を言う（1）	国の復習
	22	天気を言う（2） 第11課終了	天気の復習
	23	誰が、どこへ行くかを言う	天気の復習
	24	誰が、いつ、なぜ行くかを言う	行く動詞の復習
	25	誰が、どうやって行くかを言う	行く動詞の復習
	26	道を尋ねる（数字10万まで） 第12課終了	行く動詞の復習
	27	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習
	28	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習
	29	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習
30	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習	
31	期末試験	試験の見直し	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>教科書：Méthode de français フランス語の方法-コミュニケーションと文法の基礎-(改訂版) 著者：DURRENBERGER Vincent ; ISBN:978-4411011176 ; 駿河台出版社(改訂版)参考文献： ウェブサイト、「フランス語の動詞の活用が簡単に使えるサイト」フラ動： http://www.litterature.jp/numerique/verbe.html? 文法、語彙、会話、発音など、フランス語を全面的に勉強できるネットサイト：https://www.podcastfrançaisfacile.com</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①毎回出席をチェックします。8回目の欠席で単位がもらえなくなりますので気を付けてください。②授業内に、わからないとき質問を積極的にすることが望ましいです。授業内だけでなく、授業外の自律学習も大切です。次回の授業に出る前に、前々回と前回勉強されたものを復習して、ちゃんと身につけることも大切です。教科書の会話や例文などを暗記することも構文や語彙を覚えることに効果があるでしょう。宿題を定期的にも大切です。</p>
	<p>評価</p> <p>小テスト（口頭＋筆記）：25% ・ 口頭参加：25% ・ 期末テスト：50%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期の授業の予習のためには夏休みの間前期で学んだ内容を復習することをおすすめします。また、いつもと違う形で勉強するのも大事なので、フランス映画を観たりフランス語の歌を聞いたりして耳を慣らすなど、様々な工夫を凝らして頑張りましょう！</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-サジュ ジェレミ [法律・人福]	1年	授業終了後に教室で可能 jeremysajous.uni@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この授業は4月からフランス語を学び始める1年生を対象にします。文法を中心に学ぶことの多い従来の授業をおぎない、発音と会話の基本的な力を身につけることが目的です。さまざまな場面での会話の練習とディスカッションを通じて表現と語彙の力をのびし、また音声教材を使って聴き取りの力をつけることをめざします。	外国語の学習は難しいものですが、動力と熱意をもって取り組めば、無理なものではありません。フランス語を勉強するモチベーションが見つかれば、だれでも楽しく勉強できるようになります。

到達目標	挨拶から自分の体験について話せるようになることを目標とします。また、フランス語の簡単な文章が読めるようにもなります。
------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の復習	前期の総合復習
	2	前期の復習	前期の総合復習
	3	物を描写する	前期の総合復習
	4	物の位置を聞く、質問に答える	物の描写の復習
	5	物の色を聞く	物の位置の復習
	6	着ている物について話す 第7課終了	物の色の復習
	7	物の位置関係を言う	服の復習
	8	冠詞の細かいルールを学ぶ：冠詞の縮約（1）	位置関係の復習
	9	冠詞の細かいルールを学ぶ：冠詞の縮約（2）	冠詞の復習
	10	数、量を聞く表現を使う 第8課終了	冠詞の復習
	11	カフェで注文する	数と量の復習
	12	市場で買い物をする	注文の復習
	13	パン屋で買い物をする	市場での買い物の復習
	14	欲しい物を言う（数字100-1000） 第9課終了	パン屋での買い物の復習
	15	食生活について話す	数字と欲しいものの復習
	16	統計について話す	食生活の復習
	17	自分の意見を言う（1）	統計の復習
	18	自分の意見を言う（2） 第10課終了	意見の復習
	19	国について話す（1）	意見の復習
	20	国について話す（2）	国の復習
	21	天気を言う（1）	国の復習
	22	天気を言う（2） 第11課終了	天気の復習
	23	誰が、どこへ行くかを言う	天気の復習
	24	誰が、いつ、なぜ行くかを言う	行く動詞の復習
	25	誰が、どうやって行くかを言う	行く動詞の復習
	26	道を尋ねる（数字10万まで） 第12課終了	行く動詞の復習
	27	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習
	28	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習
29	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習	
30	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習	
31	期末試験	試験の見直し	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>教科書：Méthode de français フランス語の方法-コミュニケーションと文法の基礎-(改訂版) 著者：DURRENBERGER Vincent ; ISBN:978-4411011176 ; 駿河台出版社(改訂版)参考文献： ウェブサイト、「フランス語の動詞の活用が簡単に使えるサイト」フラ動： http://www.litterature.jp/numerique/verbe.html? 文法、語彙、会話、発音など、フランス語を全面的に勉強できるネットサイト：https://www.podcastfrançaisfacile.com</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①毎回出席をチェックします。8回目の欠席で単位がもらえなくなりますので気を付けてください。②授業内に、わからないとき質問を積極的にすることが望ましいです。授業内だけでなく、授業外の自律学習も大切です。次回の授業に出る前に、前々回と前回勉強されたものを復習して、ちゃんと身につけることも大切です。教科書の会話や例文などを暗記することも構文や語彙を覚えることに効果があるでしょう。宿題を定期的にも大切です。</p>
	<p>評価</p> <p>小テスト（口頭＋筆記）：25% ・ 口頭参加：25% ・ 期末テスト：50%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期の授業の予習のためには夏休みの間前期で学んだ内容を復習することをおすすめします。また、いつもと違う形で勉強するのも大事なので、フランス映画を観たりフランス語の歌を聞いたりして耳を慣らすなど、様々な工夫を凝らして頑張りましょう！</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-金城 豪 [全学科]	2年	kinjogo@yahoo.co.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>前期に引き続き、フランス語の基礎を学んでいきます。フランス語Ⅰと同じテキストを使用します。ビデオやCDなどの視聴覚教材を用いながら、日常会話やよく使われる表現を繰り返し練習します。フランス語Ⅲ、Ⅳに進むための確実な文法力を身につけることを目標とします。また文部科学省認定実用フランス語検定試験4～5級取得を目指します。</p> <p>到達目標</p> <p>①フランス語で旅行できる程度の会話力を身につける。 ②フランス語のより体系的な文法事項を理解する。 ③文部科学省認定実用フランス語検定試験5～4級程度の実力を身につけ、実際に取得を目指す。</p>	<p>外国語は継続して繰り返し粘り強く学習していくことが大変重要です。英語以外の外国語を初めて学ぶ学生が多いと思いますが、初心者でも取り組みやすいように丁寧な指導を心がけていきます。わからないことがあれば遠慮なく質問してください。また授業への積極的な参加は必須ですので、毎回遅れずに講義に参加してください。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	前期内容の復習
	2	前期の復習（1）	前期内容の復習
	3	前期の復習（2）	前期内容の復習
	4	Leçon9：何人家族ですか？（1）	発音と表現の反復練習
	5	Leçon9：何人家族ですか？（2）	発音と表現の反復練習
	6	Leçon9：何人家族ですか？（3）	発音と表現の反復練習
	7	Leçon10：毎朝パンを食べます。（1）	発音と表現の反復練習
	8	Leçon10：毎朝パンを食べます。（2）	発音と表現の反復練習
	9	Leçon10：毎朝パンを食べます。（3）	発音と表現の反復練習
	10	小テスト（1）	Leçon9～Leçon10の復習
	11	Leçon11：どこに行くの？（1）	発音と表現の反復練習
	12	Leçon11：どこに行くの？（2）	発音と表現の反復練習
	13	Leçon11：どこに行くの？（3）	発音と表現の反復練習
	14	Leçon12：どこから来たの？（1）	発音と表現の反復練習
	15	Leçon12：どこから来たの？（2）	発音と表現の反復練習
	16	Leçon12：どこから来たの？（3）・フランス文化紹介（1）	発音と表現の反復練習
	17	小テスト（2）	Leçon11～Leçon12の復習
	18	Leçon13：何時ですか？（1）	発音と表現の反復練習
	19	Leçon13：何時ですか？（2）	発音と表現の反復練習
	20	Leçon13：何時ですか？（3）	発音と表現の反復練習
	21	Leçon14：天気はどうですか？（1）	発音と表現の反復練習
	22	Leçon14：天気はどうですか？（2）	発音と表現の反復練習
	23	Leçon14：天気はどうですか？（3）	発音と表現の反復練習
	24	小テスト（3）	Leçon13～Leçon14の復習
	25	Leçon15：郵便局はどこですか？（1）	発音と表現の反復練習
	26	Leçon15：郵便局はどこですか？（2）	発音と表現の反復練習
	27	Leçon15：郵便局はどこですか？（3）	発音と表現の反復練習
	28	Leçon16：週末の予定は？（1）	発音と表現の反復練習
	29	Leçon16：週末の予定は？（2）	発音と表現の反復練習
30	Leçon16：週末の予定は？（3）・フランス文化紹介（2）	発音と表現の反復練習	
31	小テスト（4）	Leçon15～Leçon16の復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト： 上江洲律子、宮里厚子、金城豪著『C'est parti! さあ、フランス語をはじめよう!』</p> <p>参考文献： 講義内で教示する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>毎回出席確認をするので授業には遅れないように参加すること。 各自学習用のノートを持参ししっかりとメモを取ること。 発音や会話の練習を毎回行うので、積極的に授業内のコミュニケーションに参加すること。 フランス語やフランス文化に興味を持ち、自主的に研究に励むこと。</p>
	<p>評価</p> <p>授業態度・参加状況 (20%) 小テスト (全4回) (80%) 出席は得点に加えないが、8回の欠席で評価の対象にならない。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>フランス語Ⅲ・Ⅳに進むために必要な語学力と知識を身につけ、更なるレベルアップを目指す。 今後国際社会に必要な言語の一つとして、各自継続的に学んでいく方法と能力を獲得する。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-金城 豪 [英米・社文]	1年	kinjogo@yahoo.co.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>前期に引き続き、フランス語の基礎を学んでいきます。フランス語Ⅰと同じテキストを使用します。ビデオやCDなどの視聴覚教材を用いながら、日常会話やよく使われる表現を繰り返し練習します。フランス語Ⅲ、Ⅳに進むための確実な文法力を身につけることを目標とします。また文部科学省認定実用フランス語検定試験4～5級取得を目指します</p>	<p>外国語は継続して繰り返し粘り強く学習していくことが大変重要です。英語以外の外国語を初めて学ぶ学生が多いと思いますが、初心者でも取り組みやすいように丁寧な指導を心がけていきます。わからないことがあれば遠慮なく質問してください。また授業への積極的な参加は必須ですので、毎回遅れずに講義に参加してください。</p>
	到達目標	
	<p>①フランス語で旅行できる程度の会話を身につける。 ②フランス語のより体系的な文法事項を理解する。 ③文部科学省認定実用フランス語検定試験5～4級程度の実力を身につけ、実際に取得を目指す。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	前期内容の復習
	2	前期の復習(1)	前期内容の復習
	3	前期の復習(2)	前期内容の復習
	4	Leçon9:何人家族ですか?(1)	発音と表現の反復練習
	5	Leçon9:何人家族ですか?(2)	発音と表現の反復練習
	6	Leçon9:何人家族ですか?(3)	発音と表現の反復練習
	7	Leçon10:毎朝パンを食べます。(1)	発音と表現の反復練習
	8	Leçon10:毎朝パンを食べます。(2)	発音と表現の反復練習
	9	Leçon10:毎朝パンを食べます。(3)	発音と表現の反復練習
	10	小テスト(1)	Leçon9～Leçon10の復習
	11	Leçon11:どこに行くの?(1)	発音と表現の反復練習
	12	Leçon11:どこに行くの?(2)	発音と表現の反復練習
	13	Leçon11:どこに行くの?(3)	発音と表現の反復練習
	14	Leçon12:どこから来たの?(1)	発音と表現の反復練習
	15	Leçon12:どこから来たの?(2)	発音と表現の反復練習
	16	Leçon12:どこから来たの?(3)・フランス文化紹介(1)	発音と表現の反復練習
	17	小テスト(2)	Leçon11～Leçon12の復習
	18	Leçon13:何時ですか?(1)	発音と表現の反復練習
	19	Leçon13:何時ですか?(2)	発音と表現の反復練習
	20	Leçon13:何時ですか?(3)	発音と表現の反復練習
	21	Leçon14:天気はどうですか?(1)	発音と表現の反復練習
	22	Leçon14:天気はどうですか?(2)	発音と表現の反復練習
	23	Leçon14:天気はどうですか?(3)	発音と表現の反復練習
	24	小テスト(3)	Leçon13～Leçon14の復習
	25	Leçon15:郵便局はどこですか?(1)	発音と表現の反復練習
	26	Leçon15:郵便局はどこですか?(2)	発音と表現の反復練習
	27	Leçon15:郵便局はどこですか?(3)	発音と表現の反復練習
	28	Leçon16:週末の予定は?(1)	発音と表現の反復練習
	29	Leçon16:週末の予定は?(2)	発音と表現の反復練習
30	Leçon16:週末の予定は?(3)・フランス文化紹介(2)	発音と表現の反復練習	
31	小テスト(4)	Leçon15～Leçon16の復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト： 上江洲律子、宮里厚子、金城豪著『C'est parti! さあ、フランス語をはじめよう!』</p> <p>参考文献： 講義内で教示する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>毎回出席確認をするので授業には遅れないように参加すること。 各自学習用のノートを持参ししっかりとメモを取ること。 発音や会話の練習を毎回行うので、積極的に授業内のコミュニケーションに参加すること。 フランス語やフランス文化に興味を持ち、自主的に研究に励むこと。</p>
	<p>評価</p> <p>授業態度・参加状況 (20%) 小テスト (全4回) (80%) 出席は得点に加えないが、8回の欠席で評価の対象にならない。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>フランス語Ⅲ・Ⅳに進むために必要な語学力と知識を身につけ、更なるレベルアップを目指す。 今後国際社会に必要な言語の一つとして、各自継続的に学んでいく方法と能力を獲得する。</p>

※ポリシーとの関連性 フランス語を学ぶことは、日本とは異なる文化を受け入れる素地を育むことを通して国際的な視点を獲得する可能性を高めます。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名 フランス語Ⅱ	期別 後期	曜日・時限 月3・木3	単位 2
	担当者 上江洲 律子[経済・環政・企シ・産情・日文]	対象年次 1年	授業に関する問い合わせ	
			沖国大ポータルGmailにて質問してください。	

学びの準備	ねらい フランス語Ⅰに引き続き、フランス語の基本的なつくりや会話を身につけて、フランスの文化についての関心の糸口をつかんでもらうことを目的とします。	メッセージ 人々が実際の生活を営む「土地」は、風景、におい、音、肌触り、味を通して、多くのことを伝えてくれます。その生きた知識に触れられるよう、フランス（語圏）を旅するために必要なフランス語から学んでいきましょう。
	到達目標 フランス語Ⅰに引き続き、フランス語での挨拶や自己紹介ができることを目標とします。また、日常生活に溶け込んだフランス的なものを汲み取れる感性が磨かれることを目指します。	

学びの準備	到達目標 フランス語Ⅰに引き続き、フランス語での挨拶や自己紹介ができることを目標とします。また、日常生活に溶け込んだフランス的なものを汲み取れる感性が磨かれることを目指します。
-------	---

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	発音の練習と語彙・表現の暗記
	2	復習（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	3	復習（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	4	Leçon9：何人家族ですか？（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	5	Leçon9：何人家族ですか？（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	6	Leçon9：何人家族ですか？（3）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	7	Leçon10：毎朝パンを食べます。（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	8	Leçon10：毎朝パンを食べます。（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	9	Leçon10：毎朝パンを食べます。（3）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	10	復習とまとめ（1）	発音と文法の復習
	11	Leçon11：どこに行くの？（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	12	Leçon11：どこに行くの？（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	13	Leçon11：どこに行くの？（3）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	14	Leçon12：どこから来たの？（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	15	Leçon12：どこから来たの？（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	16	Leçon12：どこから来たの？（3）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	17	Leçon13：何時ですか？（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	18	Leçon13：何時ですか？（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	19	Leçon13：何時ですか？（3）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	20	復習とまとめ（2）	発音と文法の復習
	21	Leçon14：天気はどうですか？（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	22	Leçon14：天気はどうですか？（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	23	Leçon14：天気はどうですか？（3）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	24	Leçon15：郵便局はどこですか？（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	25	Leçon15：郵便局はどこですか？（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	26	Leçon15：郵便局はどこですか？（3）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	27	Leçon16：週末の予定は？（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	28	Leçon16：週末の予定は？（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	29	Leçon16：週末の予定は？（3）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	30	復習とまとめ（3）	発音と文法の復習
31	筆記試験	文法の復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など フランス語Ⅰで使用したテキストを引き続き使用します。自分のクラスで活用した教科書を持参してください。 ※参考書と辞書については授業内で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 繰り返しになりますが、語学学習はスポーツです。基礎力を高めて実力をつけるためには、毎日のトレーニングが必要です。授業で学んだ会話表現や動詞の活用、語彙などを、授業以外でも繰り返し練習してください。日々のほんのささやかな努力が時の経過という仲間を得て揺るぎない力を育ててくれます。</p>
	<p>評価 フランス語Ⅰと同様です。授業の達成度を確認するために、筆記試験（「読む」「書く」力の確認）と発音試験（「聞く」「話す」力の確認）を実施します。また、課題を得点化して総合的に評価します。 ・計算式＝筆記試験の得点（40％）＋発音試験の得点（40％）＋課題の得点（20％） ※ただし、単位修得のためには授業における3分の2以上の出席を義務づけます。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 フランス語の中級クラスとしてフランス語Ⅲ（前期）とフランス語Ⅳ（後期）があります。フランス語ⅢとⅣではフランスへの留学を視野に入れながら、さらに実践的な場面で活用するためのフランス語力を身につけることを目標に学んでいきます。フランス語Ⅱの単位を修得した方はフランス語ⅢとⅣを継続して受講してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	ゲルハール フランク [地行・人福]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。 メールでも受け取っています。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この授業はフランス語とフランス文化（二次的にはフランス語圏の文化）の習得を目的とします。一年でフランス語の基礎会話に必要な基本的な語彙や文法項目を身につけられます。話す・聞く・書く・読むというコミュニケーション能力を練習します。	外国語の学習はとても難しいとよく言われていますが、興味と熱心を持ってやっていけば、無理なタスクではありません。毎回の授業の中身を次回までに復習すれば、段階的にその知識と言語能力と築くことができます。
到達目標	フランス語Ⅰという授業に続き、挨拶などの復習から自分について話せるようになることを目標とします。またさまざまな日常的な場面においてうまく簡単な会話ができるようになることも目指します。フランス語の簡単な文も読めるようになります。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の復習	毎回予習が必要です。
	2	複合過去形・上動詞avoirを使う動詞	同上
	3	複合過去形・上動詞êtreを使う動詞	同上
	4	過去の体験について話す】	同上
	5	代名動詞の現在形：日常について語る	同上
	6	代名動詞の複合過去形：昨日したことについて語る	同上
	7	趣味について話す	同上
	8	服を買う	同上
	9	意見を言う	同上
	10	物を比較する	同上
	11	直接目的語代名詞の使用	同上
	12	疑問詞quelを使う疑問文	同上
	13	指示詞の使用	同上
	14	最上級の使用	同上
	15	動詞pouvoir	同上
	16	間接目的語代名詞の使用	同上
	17	礼儀を表す・条件法現在形	同上
	18	レストランで注文する	同上
	19	部分冠詞	同上
	20	習慣について話す	同上
	21	助言を言う	同上
	22	条件を表す	同上
	23	近接過去形	同上
	24	近接未来形	同上
	25	進行を表す	同上
	26	単純未来形	同上
	27	代名詞on	同上
	28	êtreの半過去形	同上
	29	普通動詞の半過去形	同上
30	状態を表す	同上	
31	期末試験	同上	

	<p>テキスト・参考文献・資料など 教科書：Passe-Partout, 駿河台出版社、ISBN 9784411011091C1085 教科書を毎回持ち込んでください</p>
学 び の 実 践	<p>学びの手立て 外国語を学ぶときは出席するが大事なので、毎回出席をチェックします。学びを深めるためには大学のフランス人留学生と会ったりフランス関係の書物を読んだりするのは大事です。またフランス留学を目指すことも動機が増えます。 達成目標に達するのに、次のようにすることが望ましいです：① 毎回予習すること、② 家でCDを聞くこと、③ ダヤログなどを暗記すること、④ 自らクラスで活動することなど ⑤教科書を読んでおくこと</p>
	<p>評価 小テストや宿題：80%、期末試験：20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 この授業だけではなくて、大学で提供されているフランス文化や世界史を紹介する授業を履修することもフランスとフランス人の知識を深めることができます。</p>

※ポリシーとの関連性 フランス語を学ぶことは、日本とは異なる文化を受け入れる素地を育むことを通して、国際的な視点を獲得する可能性を高めます。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名 フランス語Ⅲ	期別	曜日・時限	単位
		前期	火2・金2	2
	担当者 上江洲 律子[全学]	対象年次	授業に関する問い合わせ	
		2年	沖国大ポータルGmailにて質問してください。	

学びの準備	ねらい フランス語の文法や会話を身につけながら、フランス語圏の文化に関わる場面において、実践的に活用できるようになることを目的とします。	メッセージ フランス語が使われている「土地」を旅したり、留学することを思い浮かべながら、フランス語圏の文化に直接触れることを通して、実践的にフランス語を身に付けていきましょう。
	到達目標 フランス語で自分の日々の生活について話すことができるようになることを目標とします。また、物語を読んだり、音楽を聞いたり、映画を観たり、フランス（語圏）の文化に触れることを通して、日本とは異なる文化を受容する感性が磨かれることを目指します。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイドダンスと復習（1）挨拶の表現	発音の練習と語彙・表現の暗記
	2	復習（2）自己紹介の表現①	発音の練習と語彙・表現の暗記
	3	復習（3）自己紹介の表現②	発音の練習と語彙・表現の暗記
	4	復習（4）好きなものを言う表現①	発音の練習と語彙・表現の暗記
	5	復習（5）好きなものを言う表現②	発音の練習と語彙・表現の暗記
	6	復習（6）まとめ	発音と文法の復習
	7	これからすることを言う表現（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	8	これからすることを言う表現（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	9	終わったばかりのことを言う表現（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	10	終わったばかりのことを言う表現（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	11	復習とまとめ（1）	発音と文法の復習
	12	時間・天候・気温を言う表現（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	13	時間・天候・気温を言う表現（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	14	時間・天候・気温を言う表現（3）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	15	食事について言う表現（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	16	食事について言う表現（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	17	食事について言う表現（3）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	18	復習とまとめ（2）	発音と文法の復習
	19	人やものについて言いかえる表現（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	20	人やものについて言いかえる表現（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	21	人やものについて言いかえる表現（3）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	22	人やものについて言いかえる表現（4）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	23	人やものについて言いかえる表現（5）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	24	復習とまとめ（3）	発音と文法の復習
	25	道案内の表現（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	26	道案内の表現（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	27	道案内の表現（3）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	28	復習とまとめ（4）	発音と文法の復習
	29	模擬試験と復習	文法の復習
	30	筆記試験	文法の復習
31	まとめ	文法の復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキストは授業内で配付します。 ※ただし、フランス語ⅠとⅡを受講する際に使用していたテキストを毎回授業に持参してください。 ※参考書や辞書については授業内で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>言語の習得において何よりも重要なものはフランス語で表現されたものを何としても理解したいという強いモチベーションです。小説や音楽、映画や歴史、スポーツや料理、ファッションなど対象は何であって構いません。興味のあるテーマを見つけて取り組む対象を決め、自分のフランス語を駆使して理解に努めてください。こうした努力が実践的なフランス語力を培います。</p>
	<p>評価</p> <p>授業の理解度を確認するために、筆記試験（「読む」「書く」力の確認）と発音試験（「聞く」「話す」力の確認）を実施します。また、自主学習を推進し、その努力を評価するために、課題の提出状況を得点化し、前述の2つの試験の結果に加えて総合的に評価します。</p> <p>・計算式＝筆記試験の得点（40％）＋発音試験の平均得点（40％）＋課題の得点（20％） ※ただし、単位修得のためには授業における3分の2以上の出席を義務づけます。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>前期のフランス語Ⅲで日常生活について話すためのさまざまな表現を身に付けた後、後期のフランス語Ⅳでは未来や過去の語り方を始め、仮定の表現や感情を伝える表現など、コミュニケーションの機微に関わる表現に取り組みます。フランス語ⅢとⅣを通して、フランス語の基礎を網羅的に学ぶこととなりますので、フランス語Ⅲの単位を修得した方は、フランス語Ⅳを継続して受講してください。</p>

※ポリシーとの関連性 フランス語を学ぶことは、日本とは異なる文化を受け入れる素地を
育むことを通して、国際的な視点を獲得する可能性を高めます。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名 フランス語Ⅳ	期別	曜日・時限	単位
		後期	火2・金2	2
	担当者 上江洲 律子[全学]	対象年次	授業に関する問い合わせ	
		2年	沖国大ポータルGmailにて質問してください。	

学びの準備	ねらい フランス語Ⅲから引き続き、フランス語の基本的な文法や会話を学びながら、身に付けたフランス語を実践的に活用して、フランス語圏の文化を受容することができるようになることを目的とします。	メッセージ フランス語圏を旅することや留学することを具体的な目標として、フランス語を実践的に活用しながら、生きたフランス語を身に付けていきましょう。
	到達目標 フランス語で自分の未来や過去について語ったり、自分の気持ちを伝えたりできるようになることを目標とします。また、さまざまなメディアを通して、自らフランス語圏の文化を吸収する自主性と、そこから多くのことを汲み取ることでできる感受性が高まることを目指します。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンスと復習（1）前期のまとめ①	発音の練習と語彙・表現の暗記
	2	復習（2）前期のまとめ②	発音の練習と語彙・表現の暗記
	3	日課を言う表現（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	4	日課を言う表現（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	5	日課を言う表現（3）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	6	日課を言う表現（4）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	7	復習とまとめ（1）	発音と文法の復習
	8	過去を語る表現Ⅰ（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	9	過去を語る表現Ⅰ（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	10	過去を語る表現Ⅰ（3）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	11	過去を語る表現Ⅰ（4）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	12	過去を語る表現Ⅰ（5）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	13	復習とまとめ（2）	発音と文法の復習
	14	受け身の表現	発音の練習と語彙・表現の暗記
	15	過去を語る表現Ⅱ（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	16	過去を語る表現Ⅱ（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	17	過去を語る表現Ⅱ（3）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	18	人やものについて語る表現（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	19	人やものについて語る表現（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	20	比較する表現（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	21	比較する表現（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	22	比較する表現（3）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	23	比較する表現（4）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	24	復習とまとめ（3）	発音と文法の復習
	25	未来を語る表現（1）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	26	未来を語る表現（2）	発音の練習と語彙・表現の暗記
	27	仮定を語る表現	発音の練習と語彙・表現の暗記
	28	感情を語る表現	発音の練習と語彙・表現の暗記
	29	模擬試験と復習	文法の復習
30	筆記試験	文法の復習	
31	まとめ	文法の復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキストは授業内で配付します。 ※ただし、フランス語ⅠとⅡを受講する際に使用していたテキストを毎回授業に持参してください。 ※参考書や辞書については授業内で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>具体的な目標は語学学習のモチベーションを高めて言語の習得を後押しします。フランス語において、その具体的な目標の1つとなるのが、フランス語の検定試験だと言えるでしょう。検定試験は、その受験を通して自分のフランス語力を確認しながら高めることができますからです。自分のフランス語を磨く1つの機会として検定試験の受験に挑戦してみましょう。</p>
	<p>評価</p> <p>授業の理解度を確認するために、筆記試験（「読む」「書く」力の確認）と発音試験（「聞く」「話す」力の確認）を実施します。また、自主学習を推進し、その努力を評価するために、課題の提出状況を得点化し、前述の2つの試験の結果に加えて総合的に評価します。</p> <p>・計算式＝筆記試験の得点（40%）＋発音試験の平均得点（40%）＋課題の得点（20%） ※ただし、単位修得のためには授業における3分の2以上の出席を義務づけます。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>フランス語の上級クラスとして外国語研究Ⅰ-A（前期）および外国語研究Ⅰ-B（後期）があります。外国語研究Ⅰ-AとⅠ-Bでは交換留学の準備としての学習や交換留学の後の継続学習が行われます。これまで以上に実践的なフランス語の授業となるので、フランス語力をさらに高めるために、フランス語Ⅳの単位を修得した方は、外国語研究Ⅰ-AとⅠ-Bを継続して受講して下さい。</p>